

**結城市 在宅医療に関する
アンケート調査
報告書**

令和2年3月

結城市

<目次>

I	調査の概要.....	1
1	調査の概要	3
II	調査の結果.....	5
1	調査の結果	7
2	記述編	40
III	調査票.....	77

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査の目的

結城市では市民が、住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らし続けることが出来るように、在宅医療の推進に取り組んでいます。

在宅医療について、市民の意向や考えを聞き、今後の取り組みの参考にするため、アンケート調査を実施しました。

(2) 調査方法

結城市にお住まいで、令和元年10月1日現在で満20歳以上の方の中から、4,000人を年代別に無作為抽出し、返信用封筒を同封し、郵送配布・郵送回収しました。

(3) 実施時期

発送 令和元年12月5日(木) ~ 回収 令和元年12月31日(火)

(4) 回収状況

	配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
市民	4,000	1,660	41.5%	1,660	100.0%

※ 報告書を見る際の注意事項

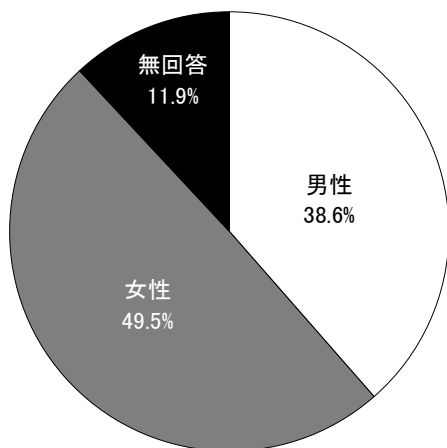
- 図表中の「n」は、設問への回答者数を示しています。
- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位以下を四捨五入して算出し、小数点第1位までを表示しています。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合があります。
- 複数回答形式の設問については、その設問の回答者数を基数として比率を算出しています。したがって、すべての回答比率が100%を超えることがあります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文や図表中では省略した表現を用いている場合があります。

II 調査の結果

1 調査の結果

性別

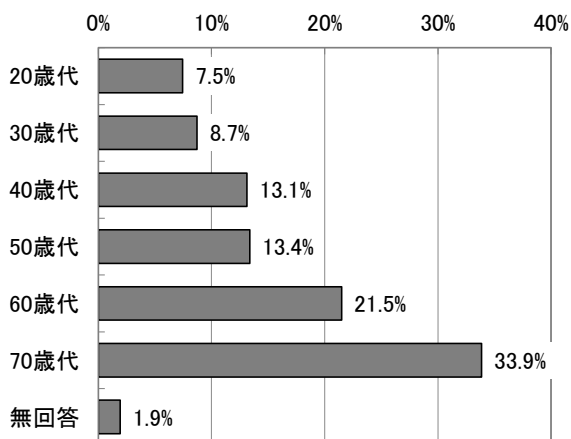
性別では、「男性」が38.6%、「女性」が49.5%となっています。



項目	度数	構成比
男性	640	38.6%
女性	822	49.5%
無回答	198	11.9%
合計	1,660	100.0%

年齢

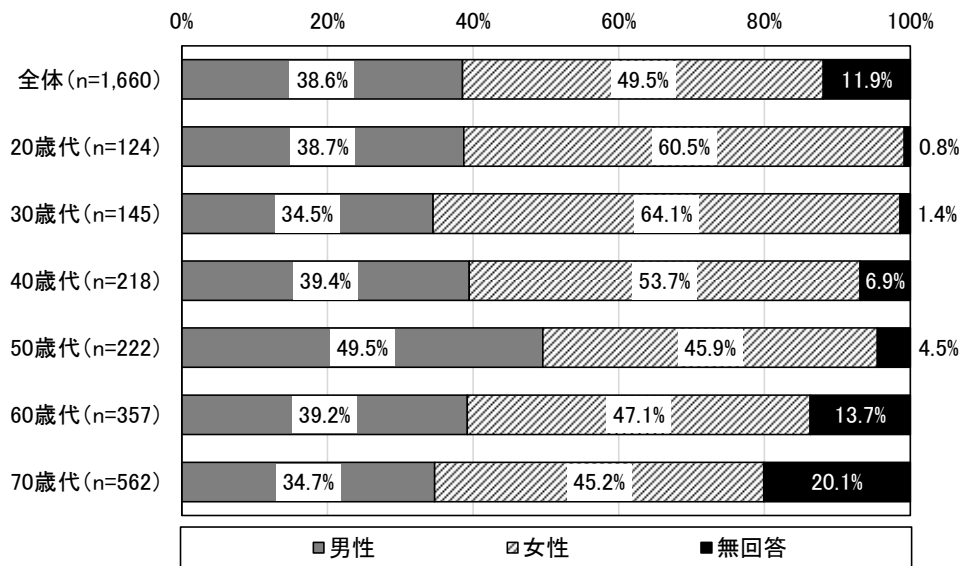
年齢では、「70歳代」が33.9%と最も多く、次いで「60歳代」が21.5%、「50歳代」が13.4%となっています。



項目	度数	構成比
20歳代	124	7.5%
30歳代	145	8.7%
40歳代	218	13.1%
50歳代	222	13.4%
60歳代	357	21.5%
70歳代	562	33.9%
無回答	32	1.9%
合計	1,660	100.0%

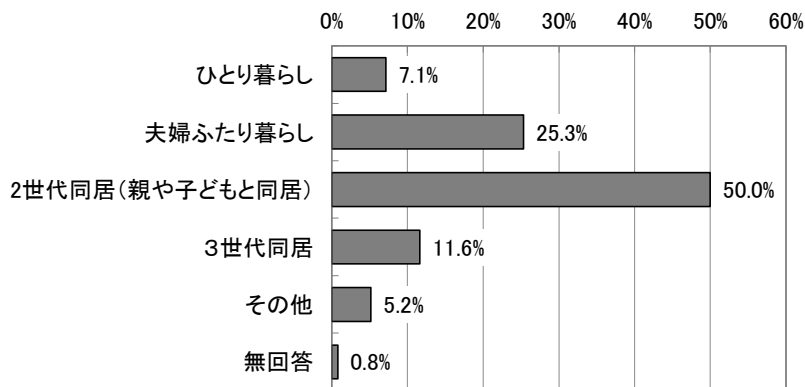
【年代別 クロス集計】

年齢で比較すると、「30 歳代」が男性よりも女性の方が 29.6 ポイント多く、次いで、「20 歳代」が 21.8 ポイント多くなっています。



問1 あなたの家族構成について伺います(○はひとつ)

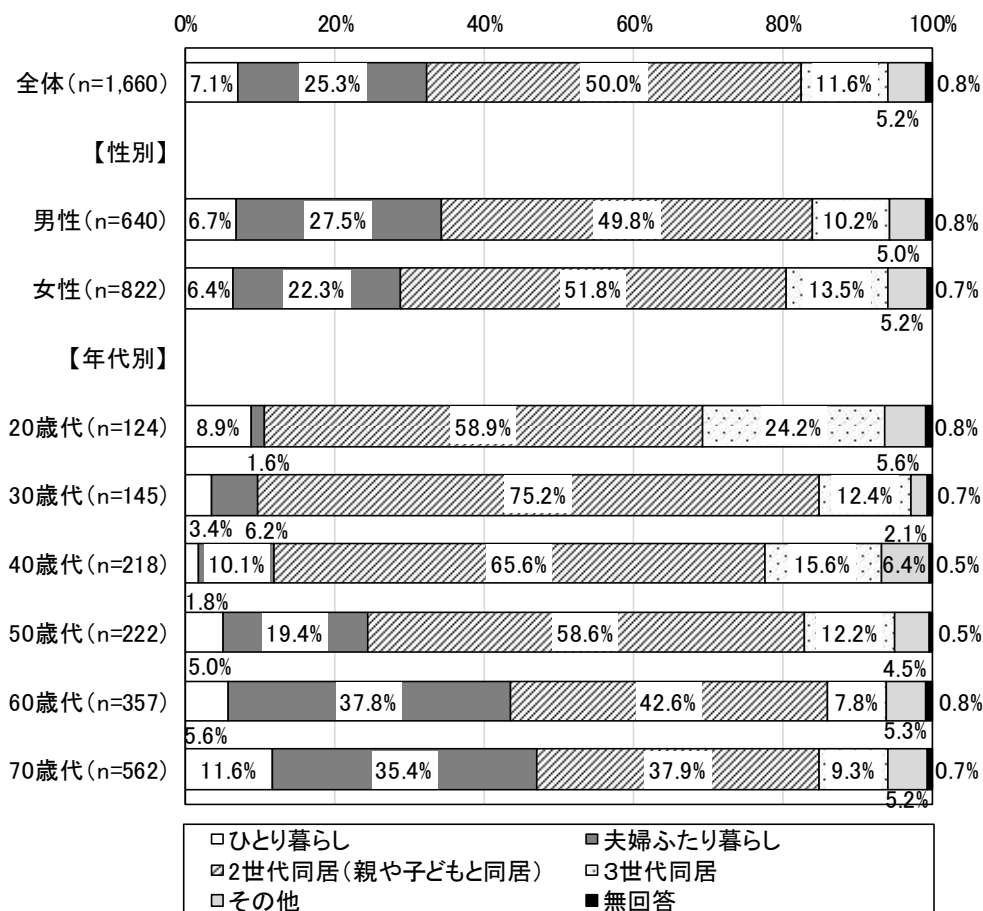
家族構成については、「2 世代同居 (親や子どもと同居)」が 50.0%と最も多く、次いで「夫婦ふたり暮らし」が 25.3%、「3 世代同居」が 11.6%となっています。



項目	度数	構成比
ひとり暮らし	118	7.1%
夫婦ふたり暮らし	420	25.3%
2世代同居 (親や子どもと同居)	830	50.0%
3世代同居	193	11.6%
その他	86	5.2%
無回答	13	0.8%
合計	1,660	100.0%

【性別・年代別 クロス集計】

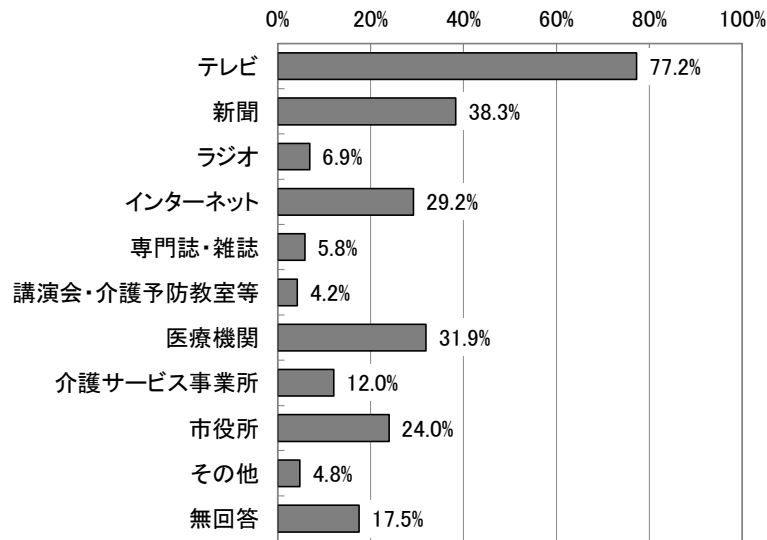
性別で比較すると、「夫婦ふたり暮らし」が女性よりも男性の方が5.2ポイント多くなっています。
 年齢で比較すると、「夫婦ふたり暮らし」が「60歳代」で37.8%と最も多く、次いで「70歳代」が35.4%、「50歳代」が19.4%となっています。



		ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	2世代同居 (親や子どもと同居)	3世代同居	その他	無回答	回答者計
全体		118	420	830	193	86	13	1,660
男性	20歳代	5	0	26	13	3	1	48
	30歳代	3	1	38	5	2	1	50
	40歳代	4	9	49	15	9	0	86
	50歳代	5	17	72	13	3	0	110
	60歳代	10	49	64	7	8	2	140
	70歳代	16	94	68	10	6	1	195
	無回答	0	6	2	2	1	0	11
	女性	20歳代	6	2	46	17	4	0
30歳代		1	8	70	13	1	0	93
40歳代		0	12	84	16	4	1	117
50歳代		5	25	51	14	6	1	102
60歳代		7	64	72	15	9	1	168
70歳代		33	69	100	34	16	2	254
無回答		1	3	3	2	3	1	13
無回答		20歳代	0	0	1	0	0	0
	30歳代	1	0	1	0	0	0	2
	40歳代	0	1	10	3	1	0	15
	50歳代	1	1	7	0	1	0	10
	60歳代	3	22	16	6	2	0	49
	70歳代	16	36	45	8	7	1	113
	無回答	1	1	5	0	0	1	8

問2 あなたは日頃、医療や介護についての知識や情報を何から得ていますか(〇は3つまで)

日頃、医療や介護についての知識や情報源では、「テレビ」が77.2%と最も多く、次いで「新聞」が38.3%、「医療機関(病院・診療所・薬局など)」が31.9%となっています。

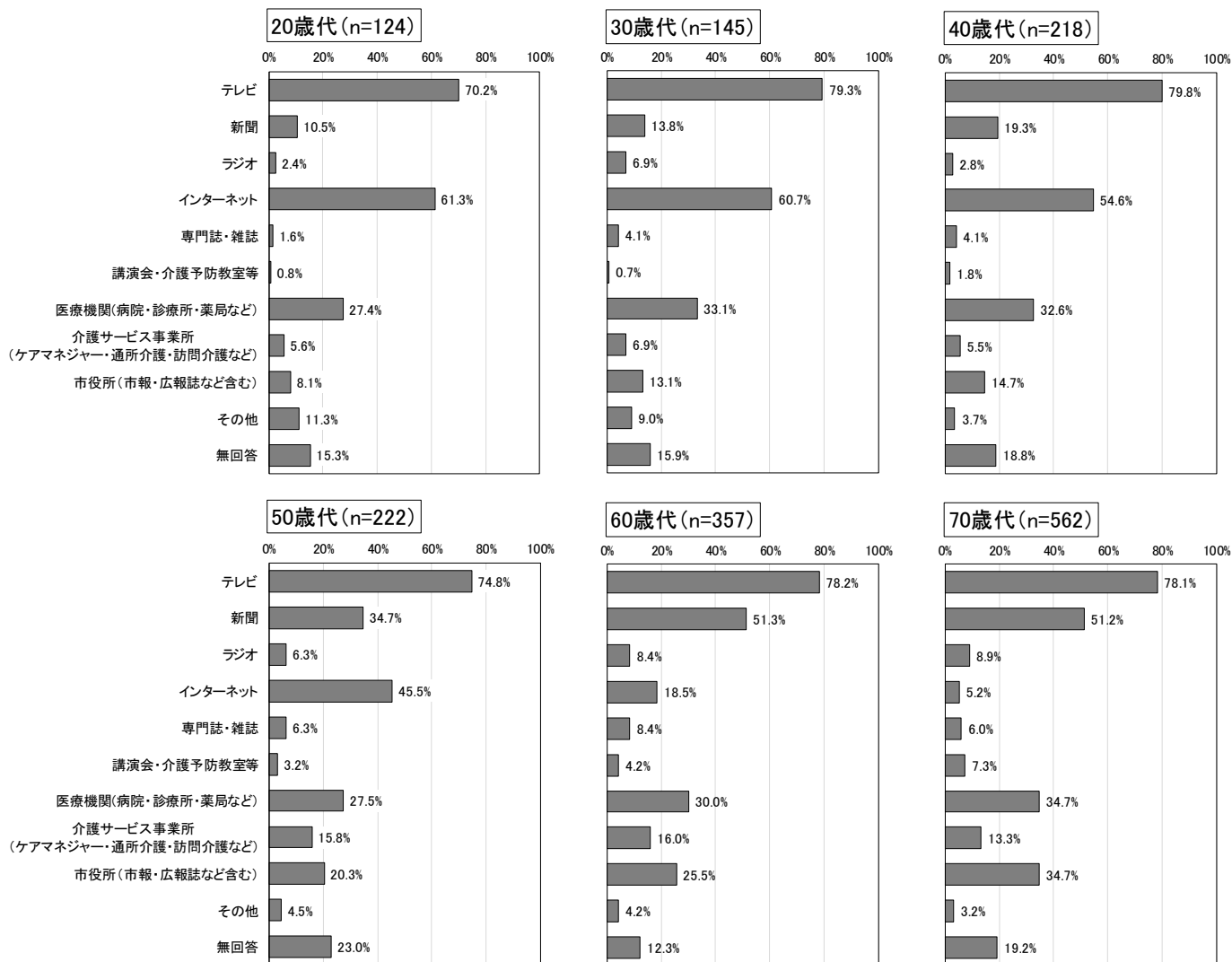


項目	度数	構成比
テレビ	1,282	77.2%
新聞	636	38.3%
ラジオ	114	6.9%
インターネット	485	29.2%
専門誌・雑誌	97	5.8%
講演会・介護予防教室等	70	4.2%
医療機関 (病院・診療所・薬局など)	530	31.9%
介護サービス事業所 (ケアマネジャー・通所介護・訪問介護など)	200	12.0%
市役所(市報・広報誌など含む)	398	24.0%
その他	79	4.8%
無回答	290	17.5%
回答者数	1,660	

【年代別 クロス集計】

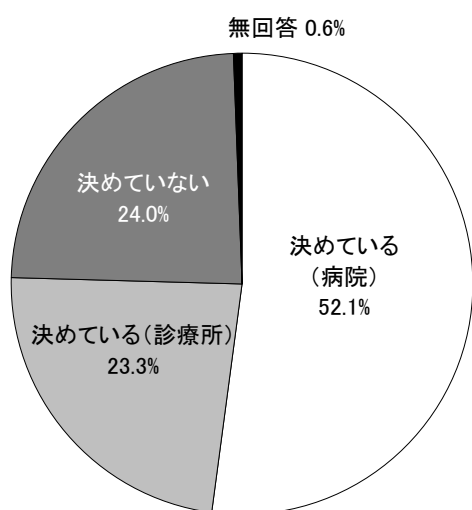
年齢で比較すると、「インターネット」が「20 歳代」,「30 歳代」で6割を超えています。年齢が上がるに従い、減少傾向になり、「70 歳代」で5.2%となっています。

逆に、「新聞」が「20 歳代」,「30 歳代」で10.5%, 13.8%と少なくなっており、年齢が上がるに従い、上昇傾向になり、「60 歳代」,「70 歳代」で5割を超えています。



問3 あなたはかかりつけ医を決めていますか(○はひとつ)

かかりつけ医を決めているかでは、「決めている(病院)」が 52.1%、「決めている(診療所)」が 23.3%、「決めていない」が 24.0%となっています。

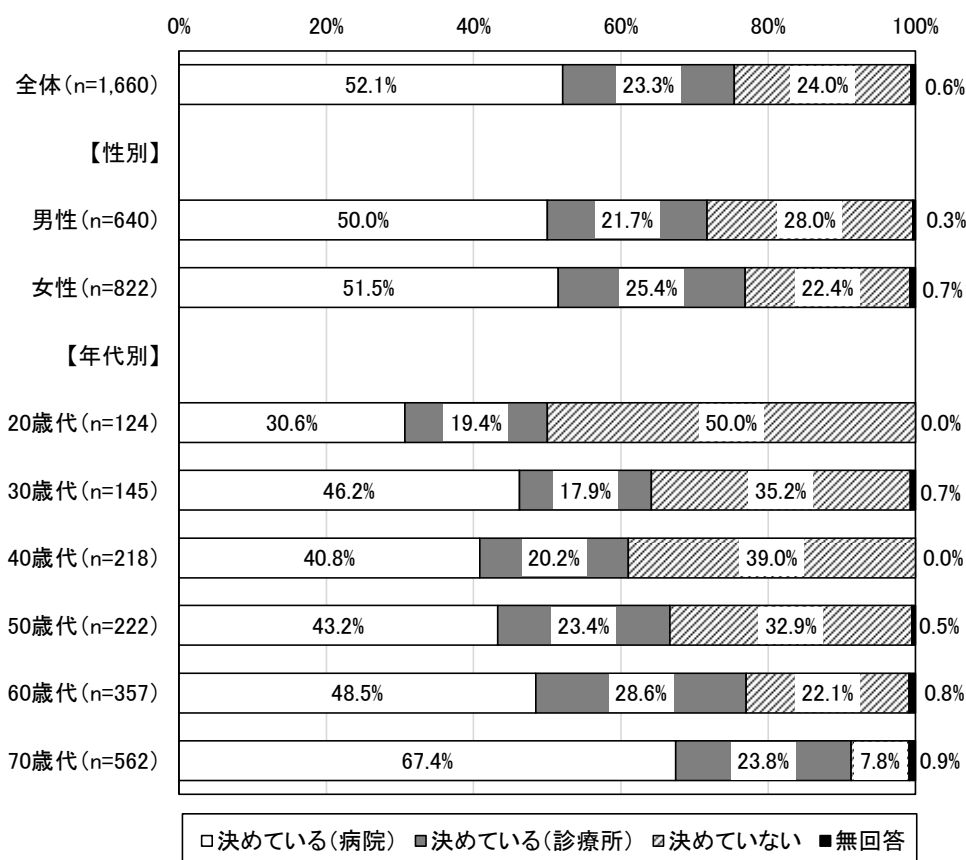


項目	度数	構成比
決めている(病院)	865	52.1%
決めている(診療所)	387	23.3%
決めていない	398	24.0%
無回答	10	0.6%
合計	1,660	100.0%

【性別・年代別 クロス集計】

性別で比較すると、「決めている(診療所)」が男性よりも女性の方が 3.7 ポイント多くなっています。また、「決めていない」が女性よりも男性の方が 5.6 ポイント多くなっています。

年代別で比較すると、「決めている(病院)」では、「70歳代」が 67.4%と最も多くなっています。

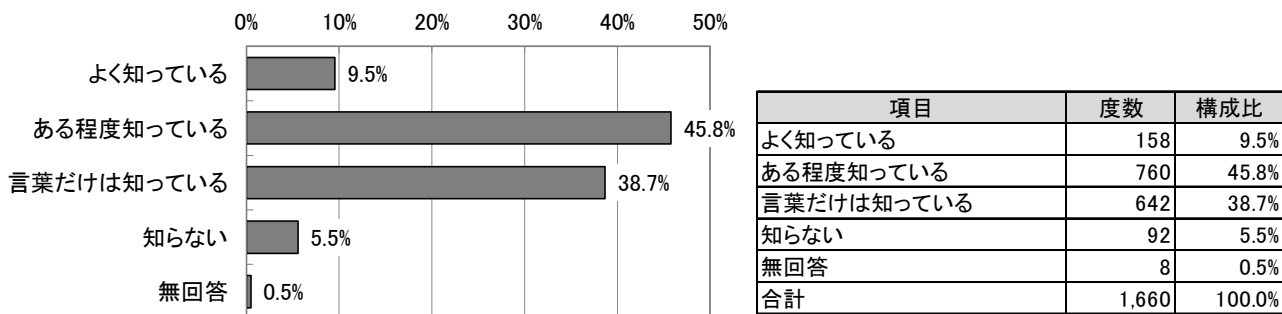


問4 あなたは、「在宅医療」についてご存知ですか(〇はひとつ)

※「在宅医療」とは医師や看護師などの訪問を受けながらお住いのところ(自宅・有料老人ホームなど)で治療や療養する医療のあり方です

「在宅医療」を知っているかについては、「ある程度知っている」が45.8%と最も多く、「よく知っている」「言葉だけは知っている」と合わせると9割以上の方が知っていると回答しています。

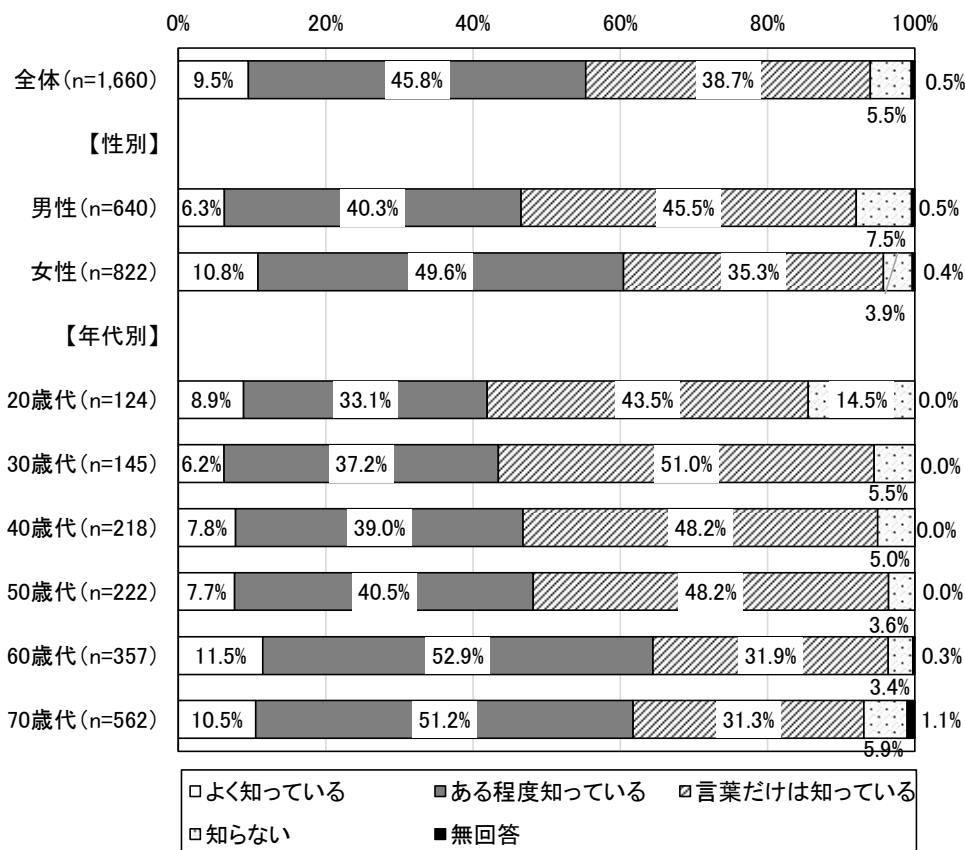
また、「知らない」は5.5%となっています。



【性別・年代別 クロス集計】

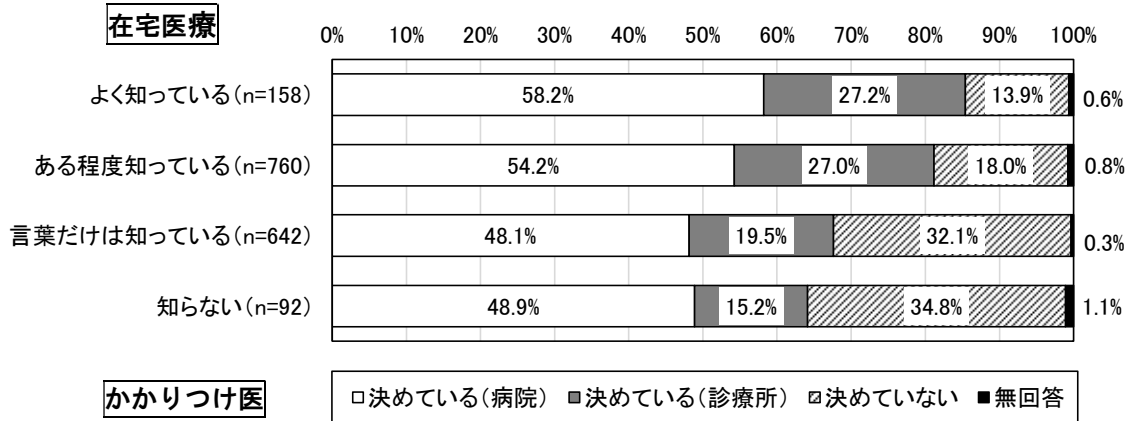
性別で比較すると、「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせた回答が、男性よりも女性の方が13.8ポイント多くなっています。

年齢で比較すると、「よく知っている」「ある程度知っている」を合わせた回答が、「60歳代」、「70歳代」で6割を超えています。



【問3×問4 クロス集計】

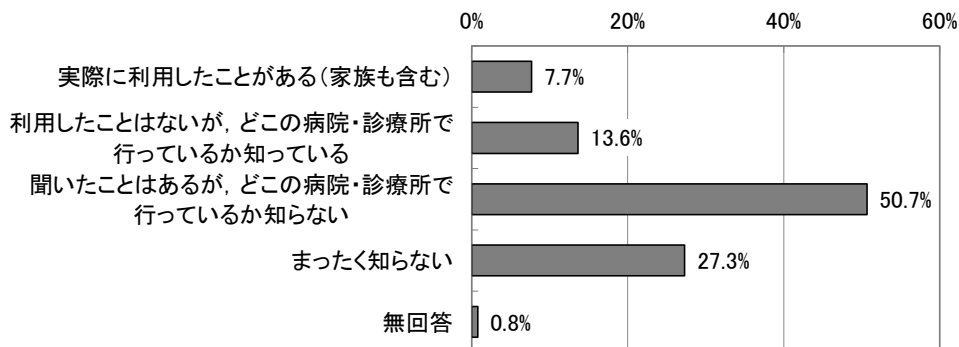
問3×問4のクロスで比較すると、問4で「(在宅医療)をよく知っている」と回答した方は「(かかりつけ医を)決めている(病院)」「(かかりつけ医を)決めている(診療所)」を合わせた回答が85.4%となっています。



問5 あなたは、在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所についてご存知ですか(○はひとつ)

※在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所とは、24時間365日体制で往診を行う

在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所について知っているかでは、「聞いたことはあるが、どこの病院・診療所で行っているか知らない」が50.7%と最も多く、次いで「まったく知らない」が27.3%、「利用したことはないが、どこの病院・診療所で行っているか知っている」が13.6%、「実際に利用したことがある(家族も含む)」が7.7%、「聞いたことはないが、どこの病院・診療所で行っているか知らない」が13.6%となっています。

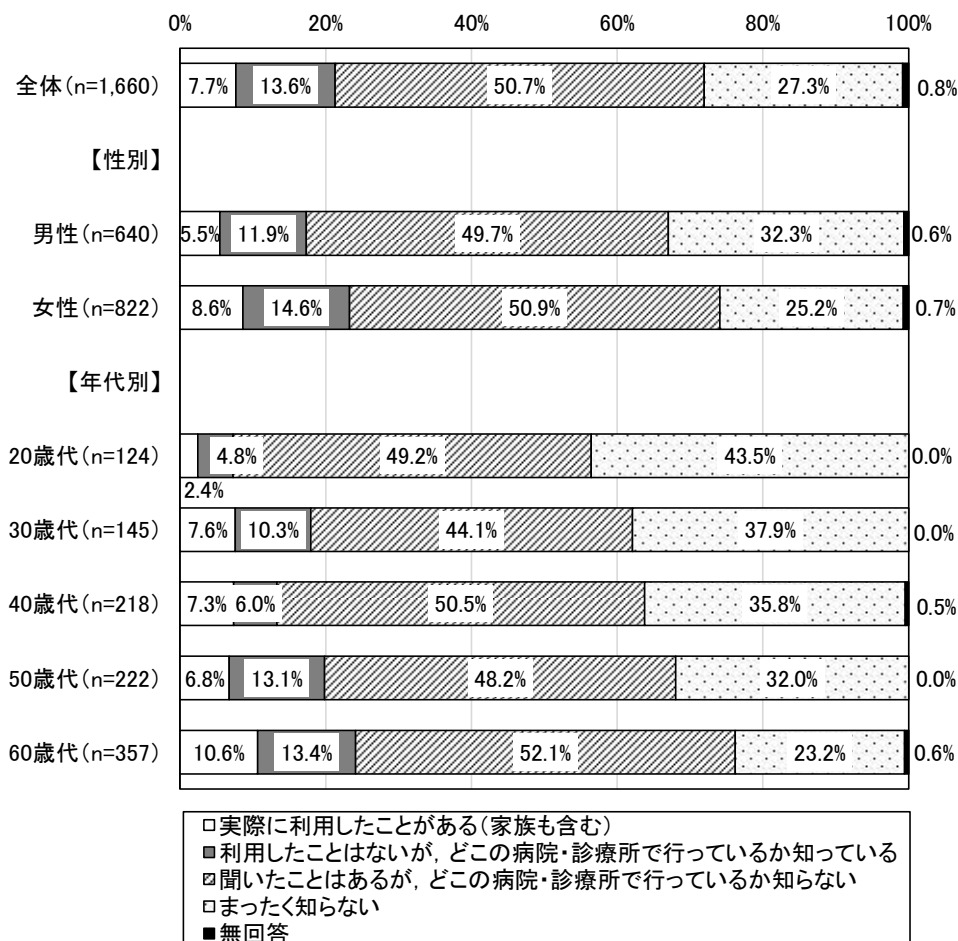


項目	度数	構成比
実際に利用したことがある(家族も含む)	127	7.7%
利用したことはないが、どこの病院・診療所で行っているか知っている	226	13.6%
聞いたことはあるが、どこの病院・診療所で行っているか知らない	841	50.7%
まったく知らない	453	27.3%
無回答	13	0.8%
合計	1,660	100.0%

【性別・年代別 クロス集計】

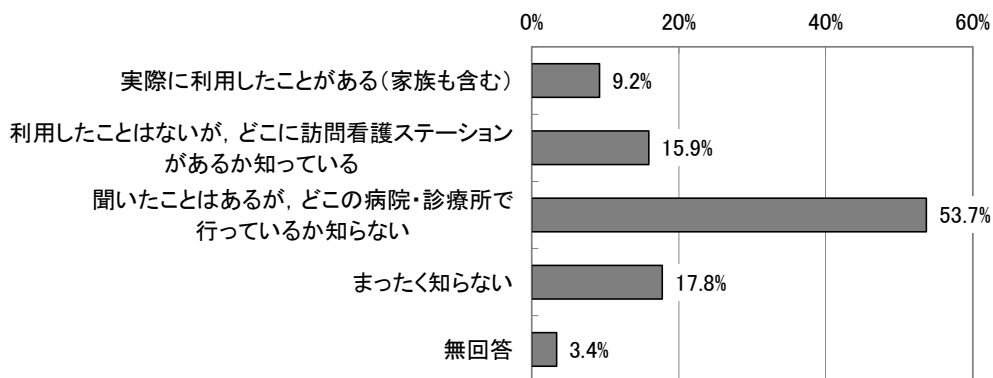
性別で比較すると、「実際に利用したことがある（家族も含む）」「利用したことはないが、どこの病院・診療所で行っているか知っている」を合わせた回答が、男性よりも女性の方が 5.8 ポイント多くなっています。

年齢で比較すると、「実際に利用したことがある（家族も含む）」「利用したことはないが、どこの病院・診療所で行っているか知っている」を合わせた回答が、「60 歳代」で 24.0% となっています。



問6 自宅で療養する高齢者などに訪問看護サービスを提供する訪問看護ステーションがあることをご存知ですか(○はひとつ)

自宅で療養する高齢者などに訪問看護サービスを提供する訪問看護ステーションがあることを知っているかでは、「聞いたことはあるが、どこの病院・診療所で行っているか知らない」が53.7%と最も多く、次いで「まったく知らない」が17.8%、「利用したことはないが、どこに訪問看護ステーションがあるか知っている」が15.9%、「実際に利用したことがある(家族も含む)」が9.2%、「無回答」が3.4%となっています。

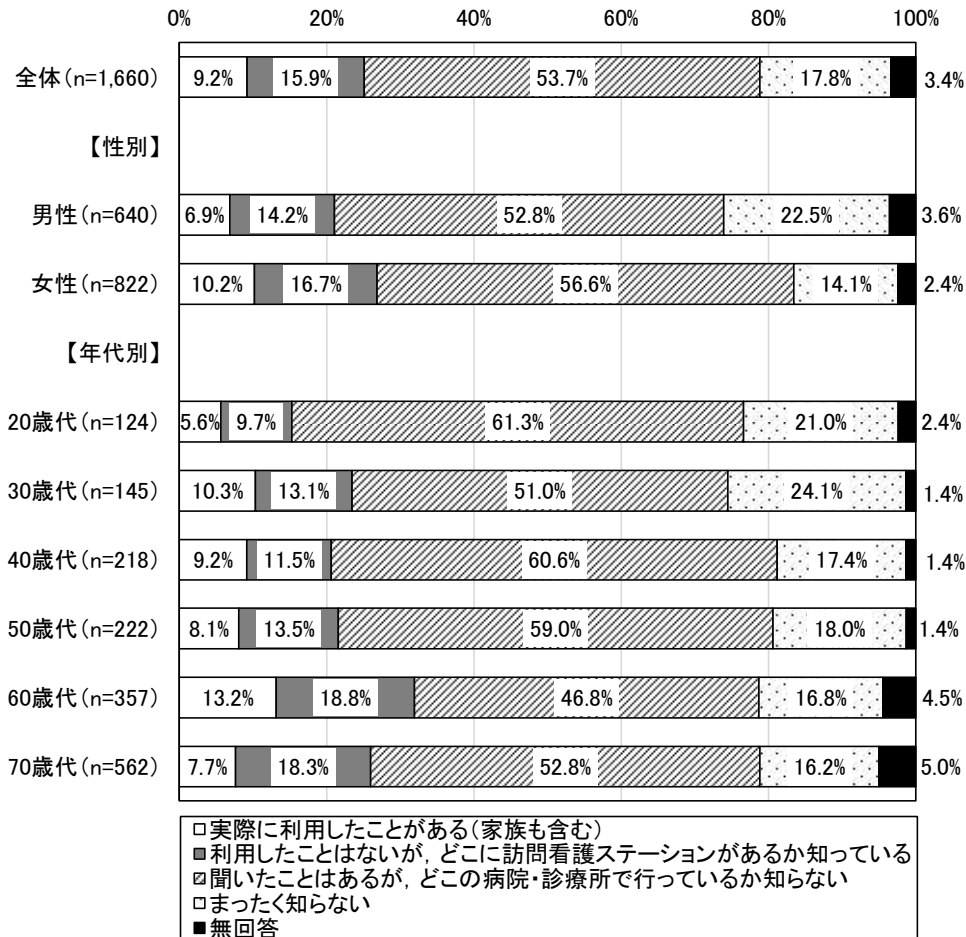


項目	度数	構成比
実際に利用したことがある(家族も含む)	153	9.2%
利用したことはないが、どこに訪問看護ステーションがあるか知っている	264	15.9%
聞いたことはあるが、どこの病院・診療所で行っているか知らない	892	53.7%
まったく知らない	295	17.8%
無回答	56	3.4%
合計	1,660	100.0%

【性別・年代別 クロス集計】

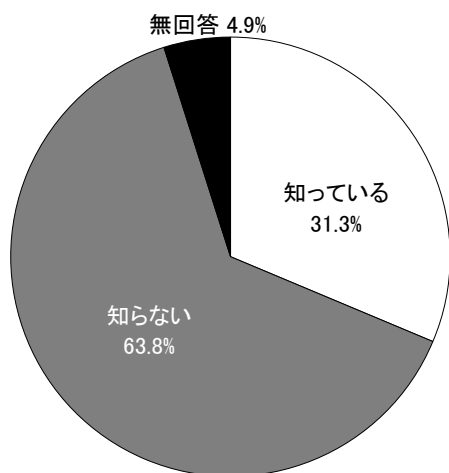
性別で比較すると、「実際に利用したことがある（家族も含む）」「利用したことはないが、どこに訪問看護ステーションがあるか知っている」を合わせた回答が、男性よりも女性の方が 5.8 ポイント高くなっています。

年齢で比較すると、「実際に利用したことがある（家族も含む）」「利用したことはないが、どこに訪問看護ステーションがあるか知っている」を合わせた回答が、「60 歳代」で 3 割を超えています。



問7 訪問看護サービスの内容について知っていますか(○はひとつ)

訪問看護サービスの内容について知っているかでは、「知っている」が31.3%、「知らない」が63.8%となっています。

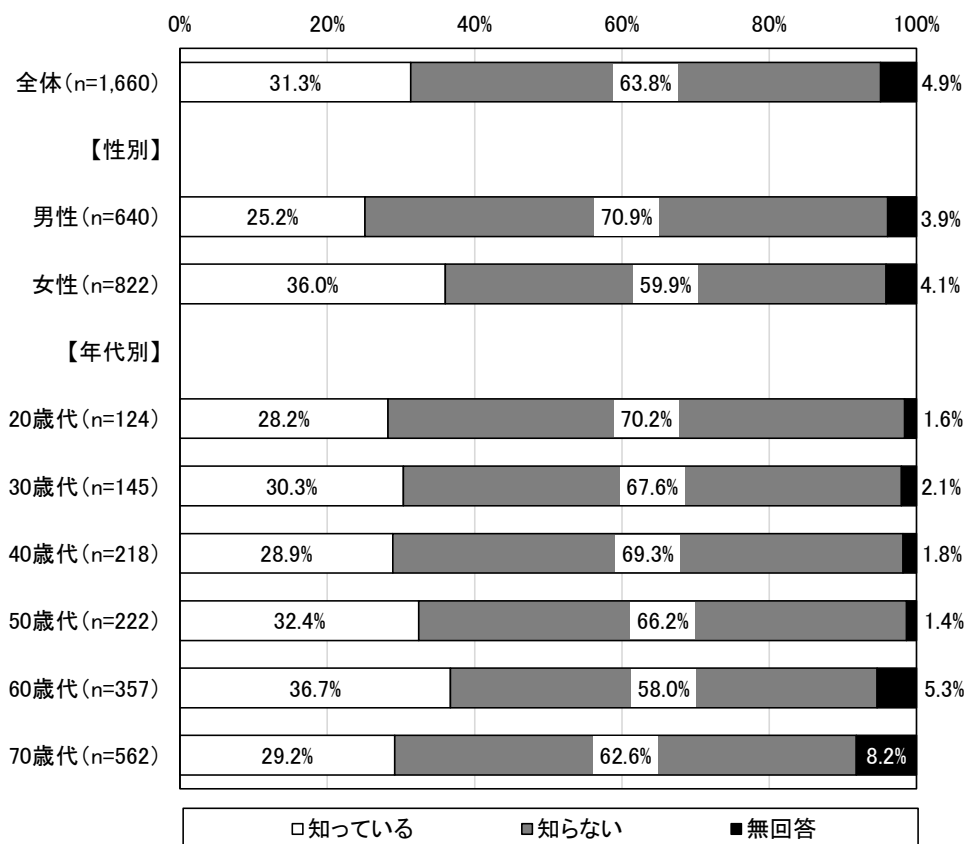


項目	度数	構成比
知っている	520	31.3%
知らない	1,059	63.8%
無回答	81	4.9%
合計	1,660	100.0%

【性別・年代別 クロス集計】

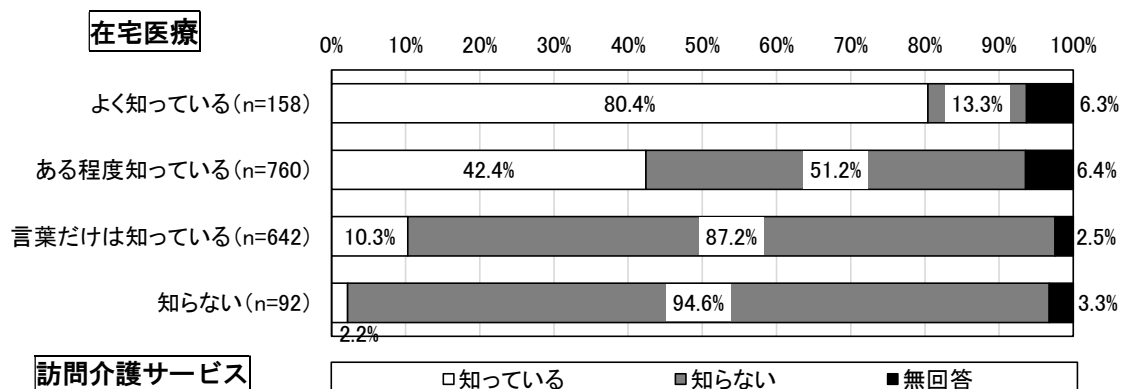
性別で比較すると、「知っている」が男性よりも女性の方が10.8ポイント多くなっています。

年齢で比較すると、「知っている」が「60歳代」で36.7%と最も多く、次いで「50歳代」が32.4%となっています。



【問4×問7 クロス集計】

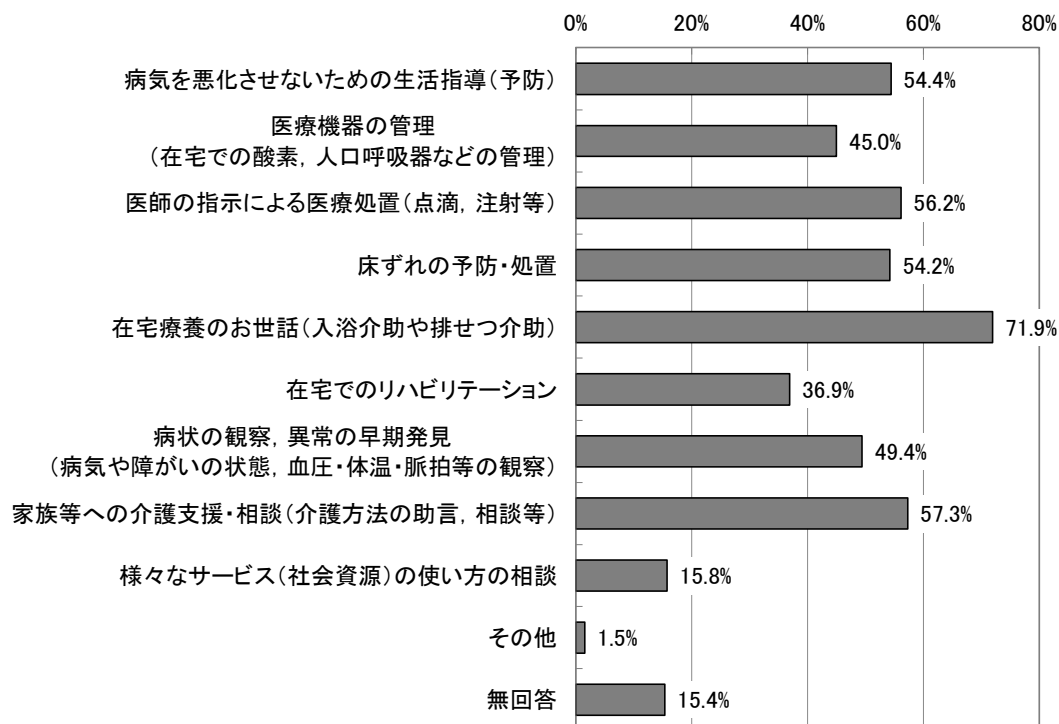
問4×問7のクロスで比較すると、問4で「(在宅医療を)よく知っている」と回答した方は「(訪問看護サービスを)知っている」が80.4%となっており、在宅医療をよく知っている方は訪問看護サービスも知っているという結果となっています。



問7で「1. 知っている」と回答された方

問8 知っているサービスの内容は何ですか(〇はいくつでも)

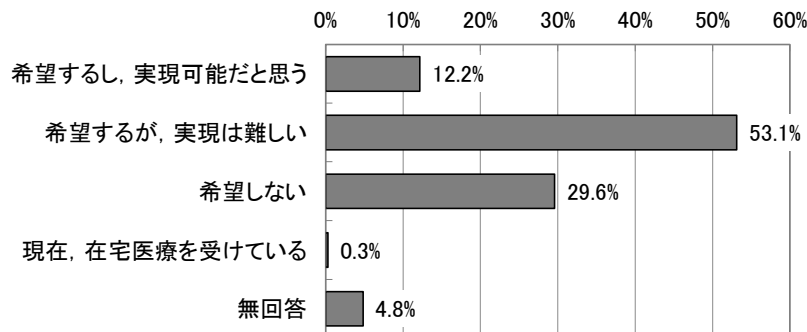
訪問看護サービスの内容については、「在宅療養のお世話(入浴介助や排せつ介助)」が71.9%と最も多く、次いで「家族等への介護支援・相談(介護方法の助言, 相談等)」が57.3%, 「医師の指示による医療処置(点滴, 注射等)」が56.2%となっています。



項目	度数	構成比
病気を悪化させないための生活指導(予防)	283	54.4%
医療機器の管理 (在宅での酸素, 人口呼吸器などの管理)	234	45.0%
医師の指示による医療処置(点滴, 注射等)	292	56.2%
床ずれの予防・処置	282	54.2%
在宅療養のお世話(入浴介助や排せつ介助)	374	71.9%
在宅でのリハビリテーション	192	36.9%
病状の観察, 異常の早期発見 (病気や障がいの状態, 血圧・体温・脈拍等の観察)	257	49.4%
家族等への介護支援・相談(介護方法の助言, 相談等)	298	57.3%
様々なサービス(社会資源)の使い方の相談	82	15.8%
その他	8	1.5%
無回答	80	15.4%
回答者数	520	
非該当	1,140	
合計	1,660	

問9 仮に、あなたが、病気やケガで長期の治療・療養が必要になった場合、在宅医療を希望しますか。また、その実現は可能だと思いますか(○はひとつ)

病気やケガで長期の治療・療養が必要になった場合、在宅医療を希望するかでは、「希望するが、実現は難しい」が53.1%と最も多く、次いで「希望しない」が29.6%、「希望するし、実現可能だと思う」が12.2%となっています。



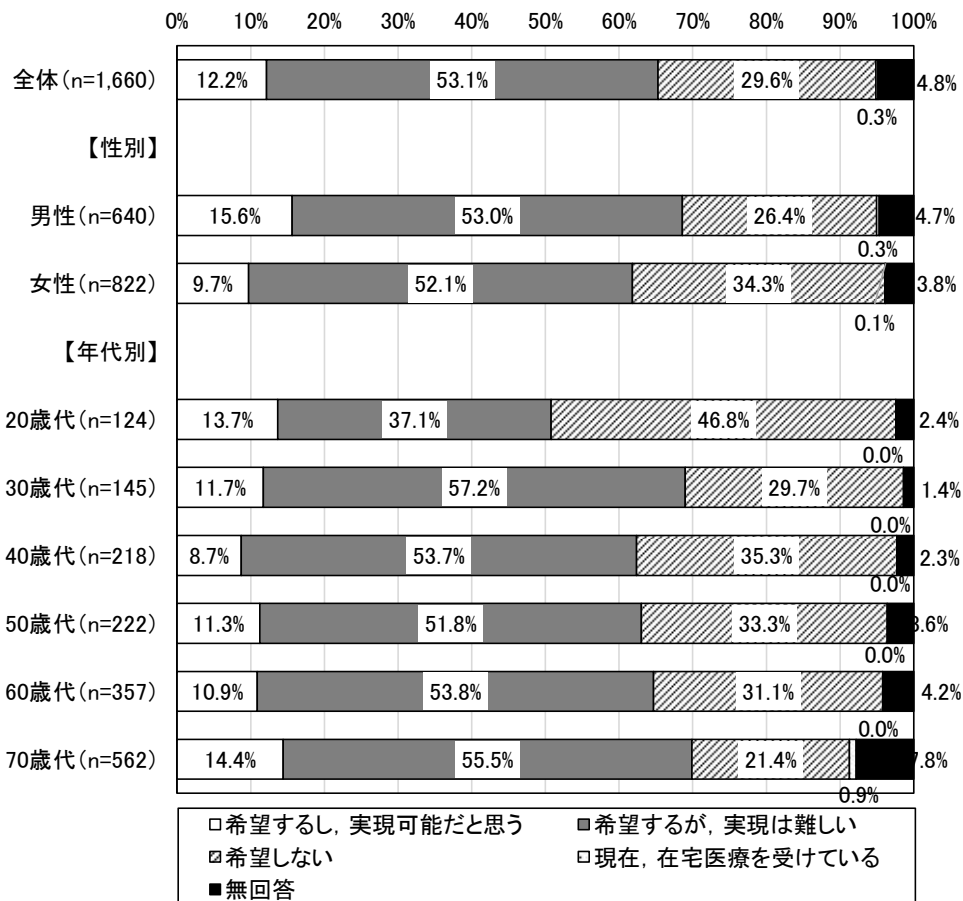
項目	度数	構成比
希望するし、実現可能だと思う	202	12.2%
希望するが、実現は難しい	882	53.1%
希望しない	491	29.6%
現在、在宅医療を受けている	5	0.3%
無回答	80	4.8%
合計	1,660	100.0%

【性別・年代別 クロス集計】

性別で比較すると、「希望するし、実現可能だと思う」が女性より男性の方が5.9ポイント多くなっています。

年齢で比較すると、「希望するし、実現可能だと思う」が「70歳代」が14.4%と最も多く次いで「20歳代」が13.7%となっています。

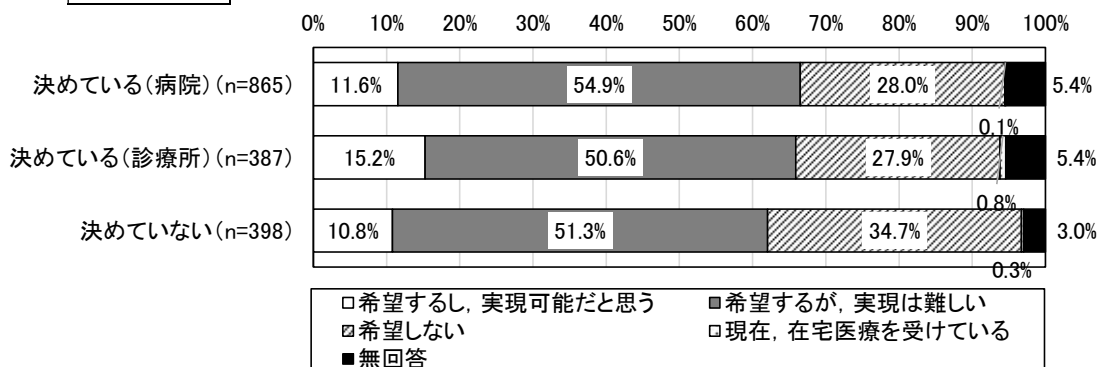
また、「希望するが、実現は難しい」では、「30歳代」が57.2%と最も多く、次いで「70歳代」が55.5%となっています。



【問3×問9 クロス集計】

問3×問9のクロスで比較すると、「(かかりつけ医を) 決めている (病院)」「(かかりつけ医を) 決めている (診療所)」と回答した方は「(かかりつけ医を) 決めていない」と回答した方よりも「(在宅医療を) 希望するし、実現可能だと思う」と回答した割合は多くなっています。

かかりつけ医

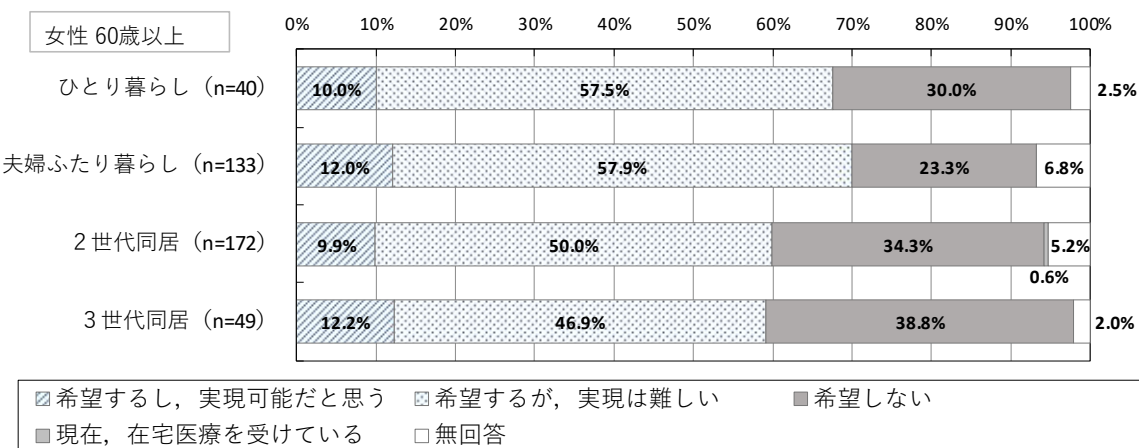
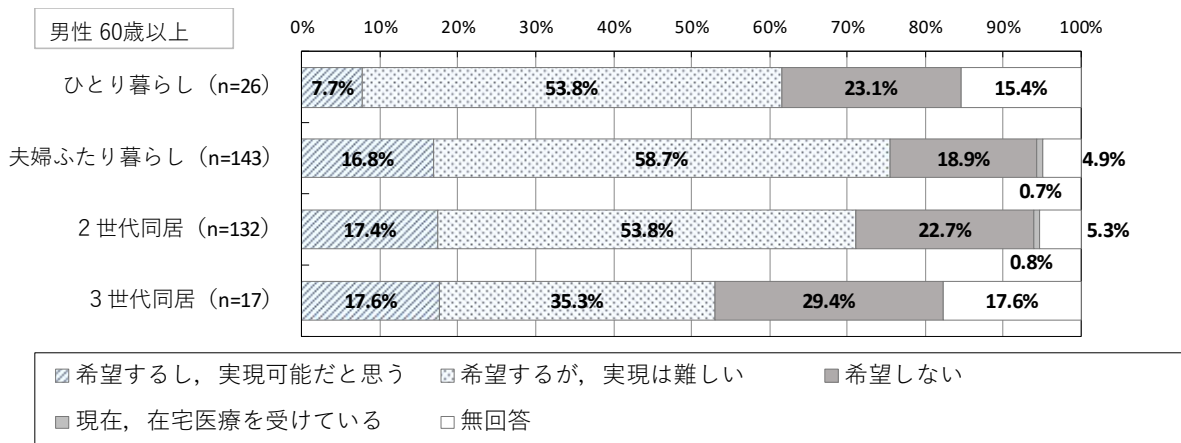


【家族構成－高齢者×問9 クロス集計】

60歳代と70歳以上の高齢者について問1の家族構成で男女別にクロスしました。

「(在宅医療を)希望するが、実現は難しい」は「夫婦ふたり暮らし」が男性58.7%、女性57.9%と最も高く、次いで「ひとり暮らし」が男性53.8%、女性57.5%となっています。

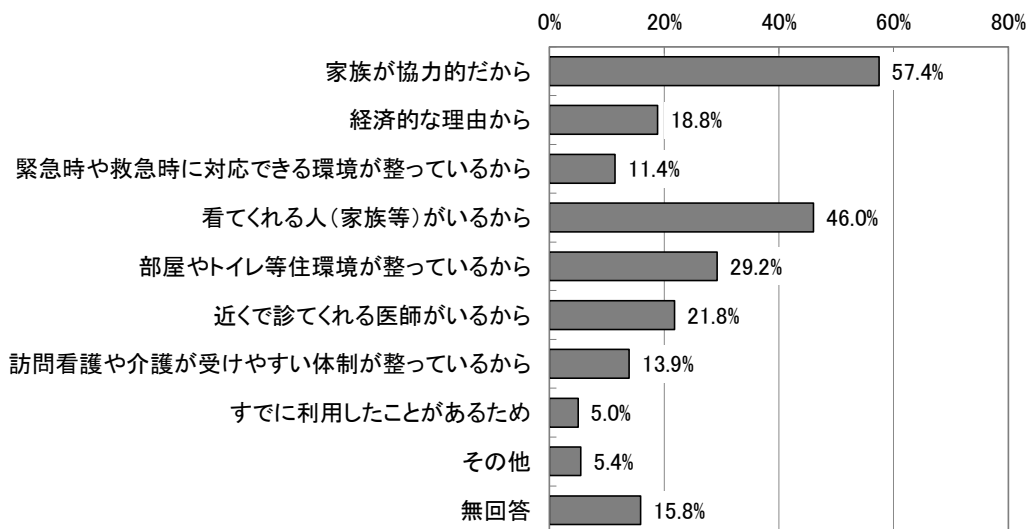
また「希望しない」は家族構成に関わらず、男性より女性の方が高い傾向にあります。



問9で「1. 希望するし、実現可能だと思う」と回答された方

問10 あなたが、自宅で療養生活を送る場合、実現可能だと思う理由は何ですか(〇は3つまで)

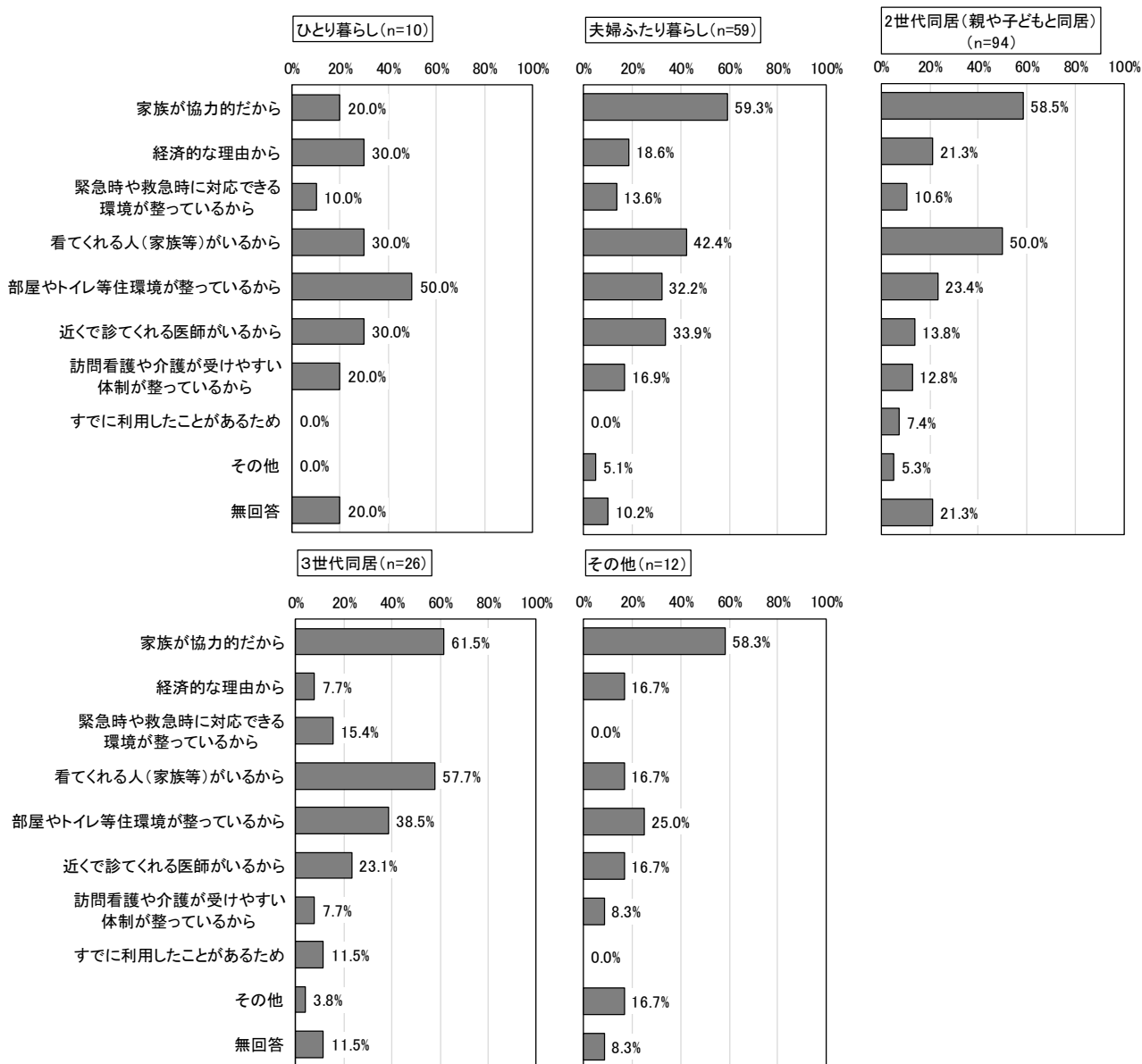
自宅で療養生活を送る場合、実現可能だと思う理由については、「家族が協力的だから」が57.4%と最も多く、次いで「見てくれる人(家族等)がいるから」が46.0%、「部屋やトイレ等住環境が整っているから」が29.2%となっています。



項目	度数	構成比
家族が協力的だから	116	57.4%
経済的な理由から	38	18.8%
緊急時や救急時に対応できる環境が整っているから	23	11.4%
見てくれる人(家族等)がいるから	93	46.0%
部屋やトイレ等住環境が整っているから	59	29.2%
近くで診てくれる医師がいるから	44	21.8%
訪問看護や介護が受けやすい体制が整っているから	28	13.9%
すでに利用したことがあるため	10	5.0%
その他	11	5.4%
無回答	32	15.8%
回答者数	202	
非該当	1,458	
合計	1,660	

【家族構成別 クロス集計】

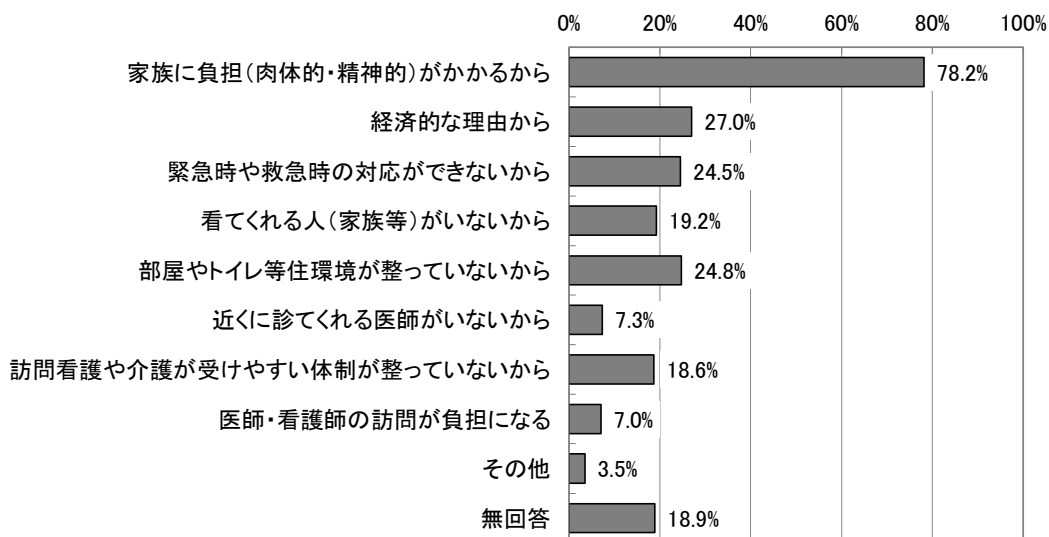
家族構成で比較すると、「家族が協力的だから」が「3世代同居」が最も高く61.5%、次いで「夫婦ふたり暮らし」が59.3%、「2世代同居」が58.5%となっています。



問9で「2. 希望するが、実現は難しい」「3. 希望しない」と回答された方

問 11 あなたが、自宅で療養生活を送る場合、実現は難しいまたは希望しない理由は何ですか (〇は3つまで)

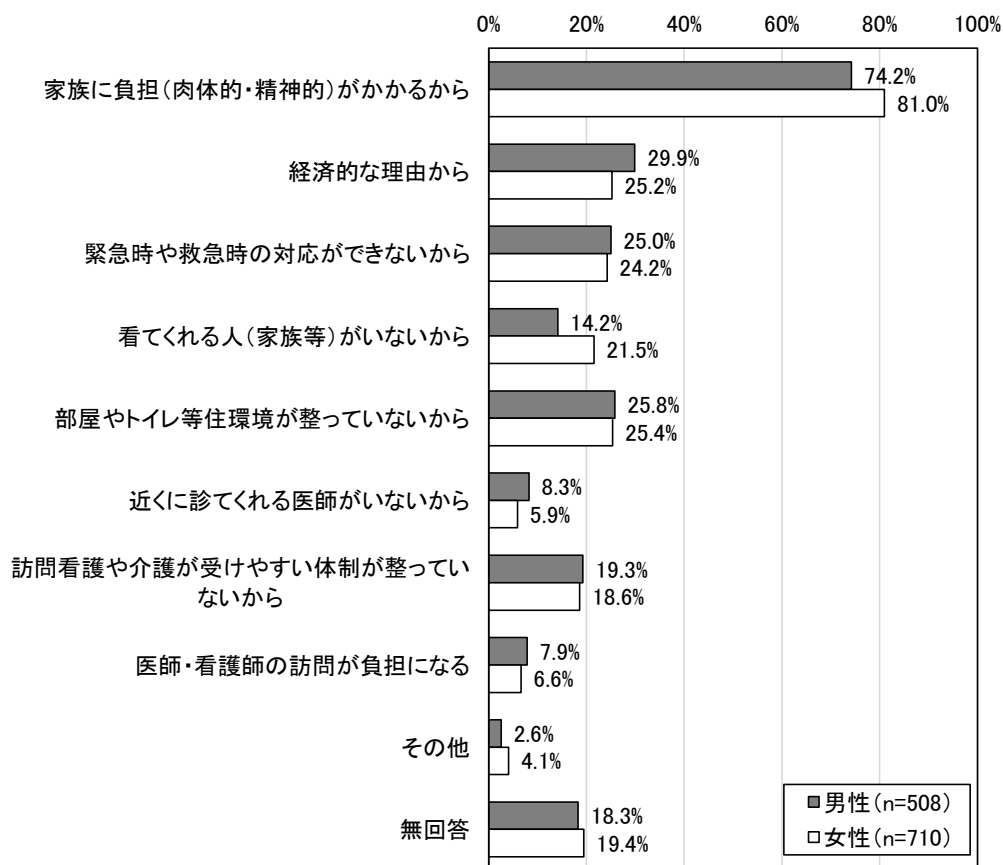
自宅で療養生活を送る場合、実現は難しいまたは希望しない理由については、「家族に負担（肉体的・精神的）がかかるから」が78.2%と最も多く、次いで「経済的な理由から」が27.0%、「部屋やトイレ等住環境が整っていないから」が24.8%となっています。



項目	度数	構成比
家族に負担(肉体的・精神的)がかかるから	1,073	78.2%
経済的な理由から	371	27.0%
緊急時や救急時の対応ができないから	337	24.5%
見てくれる人(家族等)がいないから	264	19.2%
部屋やトイレ等住環境が整っていないから	340	24.8%
近くに診てくれる医師がいないから	100	7.3%
訪問看護や介護が受けやすい体制が整っていないから	256	18.6%
医師・看護師の訪問が負担になる	96	7.0%
その他	48	3.5%
無回答	259	18.9%
回答者数	1,373	
非該当	287	
合計	1,660	

【性別 クロス集計】

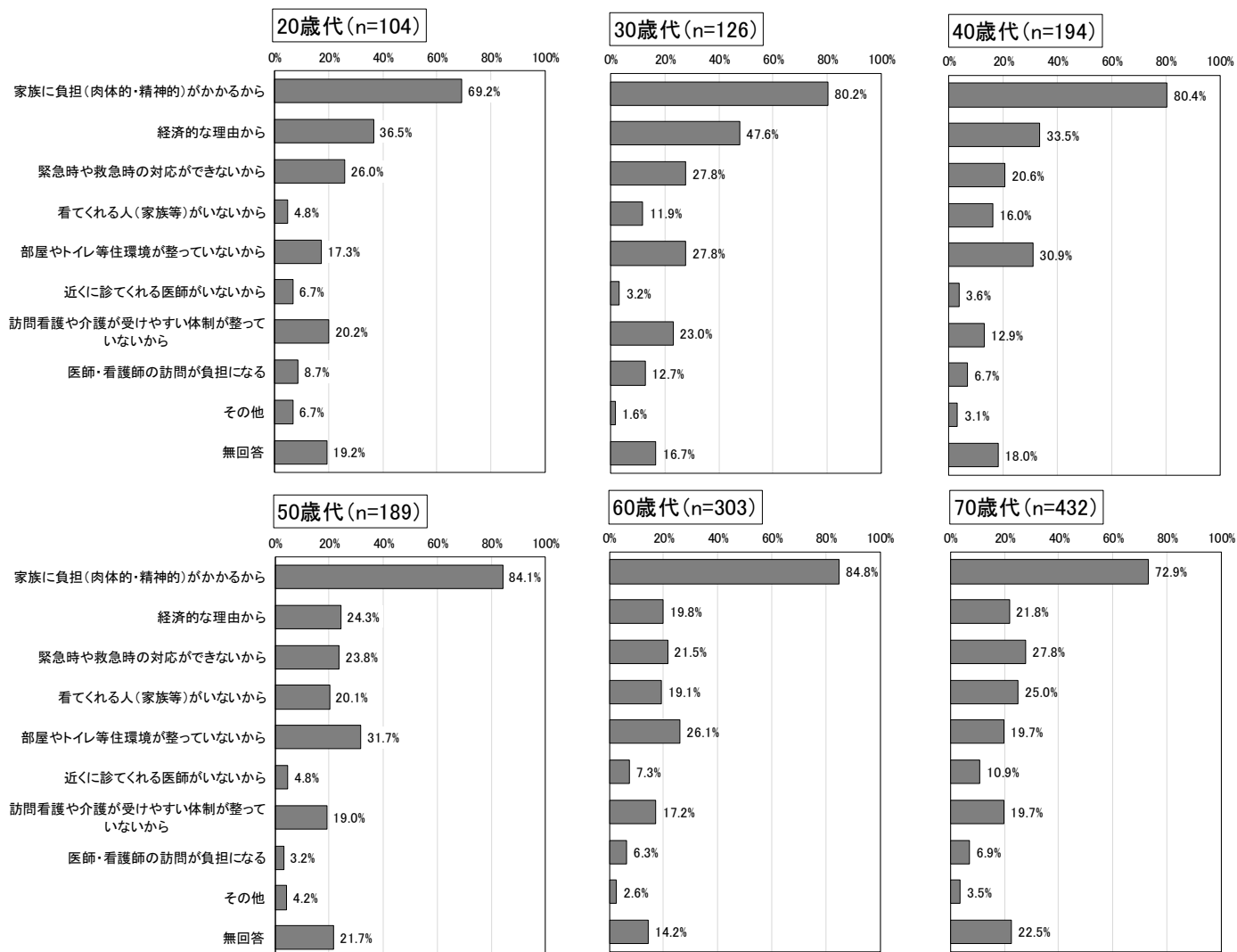
性別で比較すると、「見てくれる人（家族等）がないから」が女性より男性の方が7.3ポイント多くなっています。



【年代別 クロス集計】

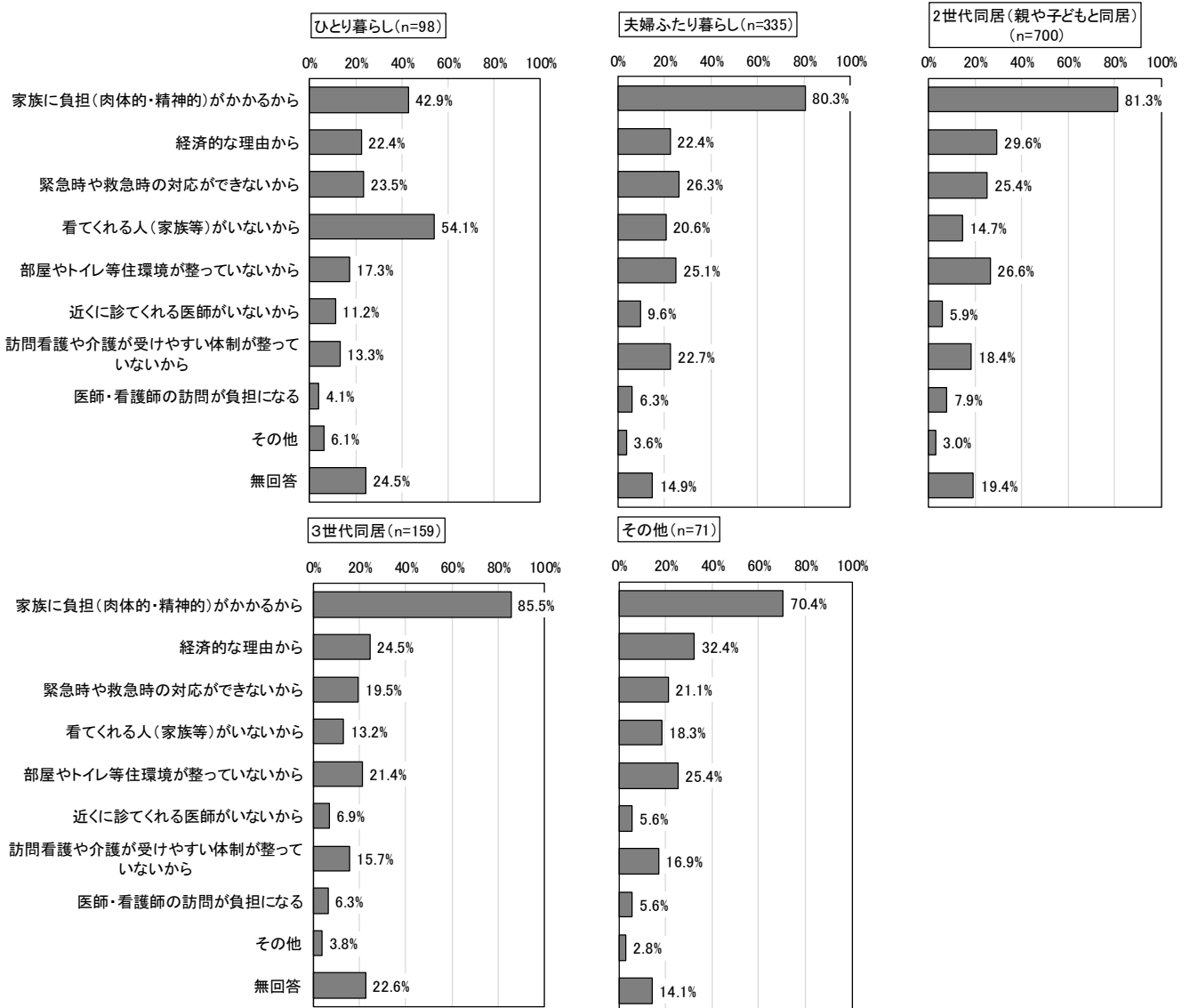
年齢で比較すると、「経済的な理由から」が「30歳代」で47.6%と最も多くなっています。

また、「見てくれる人（家族等）がないから」では、年齢が上がるに従い、上昇傾向となり、「70歳代」で25.0%と最も多くなっています。



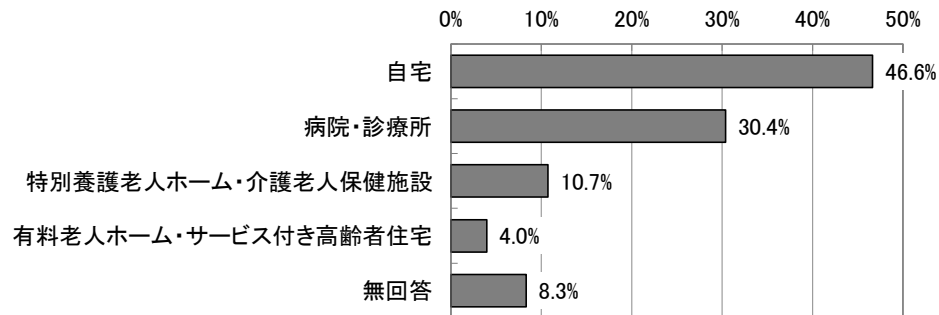
【家族構成別 クロス集計】

家族構成で比較すると、「家族に負担（肉体的・精神的）がかかるから」が「3世代同居」が最も高く85.5%、次いで「2世代同居（親や子どもと同居）」が81.3%、「夫婦ふたり暮らし」が80.3%となっています。



問 12 あなた自身が将来、最期を迎える場所として、居住の場(自宅やグループホーム)と医療機関(病院や診療所)のどこを希望しますか(○はひとつ)

将来、最期を迎える場所として、居住の場(自宅やグループホーム)と医療機関(病院や診療所)のどこを希望するかでは、「自宅」が46.6%と最も多く、次いで「病院・診療所」が30.4%、「特別養護老人ホーム・介護老人保健施設」が10.7%、「有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅」が4.0%、「無回答」が8.3%となっています。

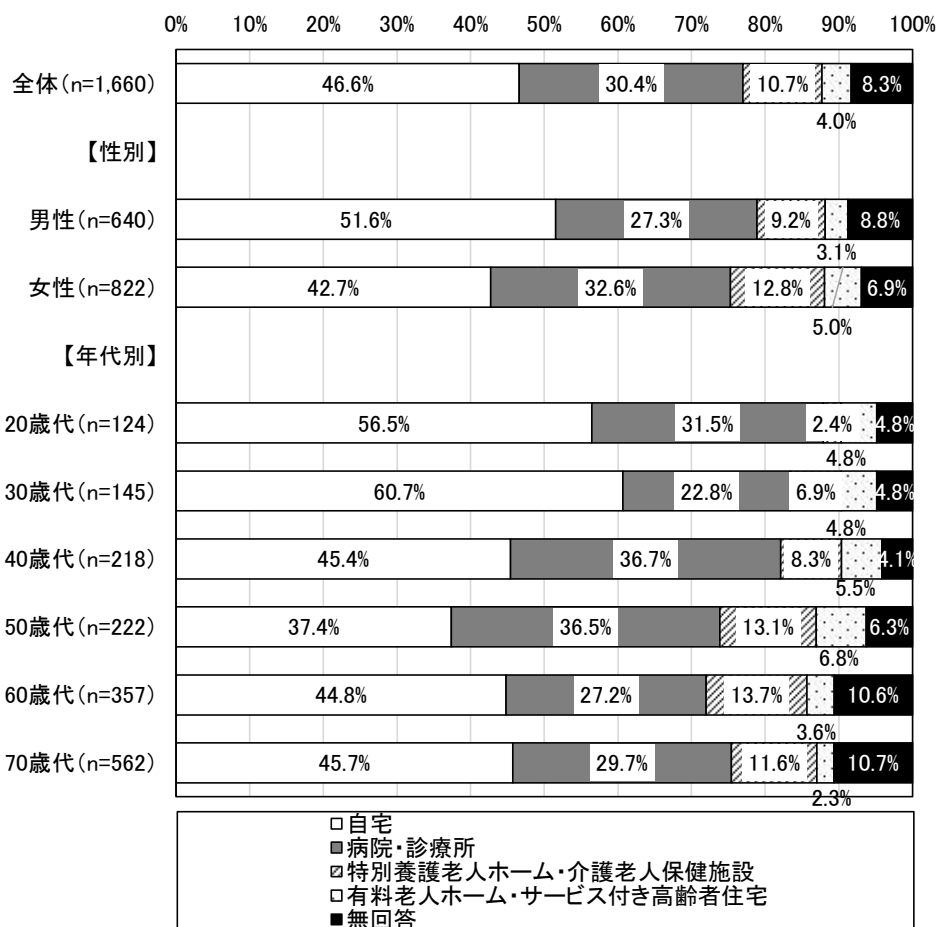


項目	度数	構成比
自宅	774	46.6%
病院・診療所	504	30.4%
特別養護老人ホーム・介護老人保健施設	178	10.7%
有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅	66	4.0%
無回答	138	8.3%
合計	1,660	100.0%

【性別・年代別 クロス集計】

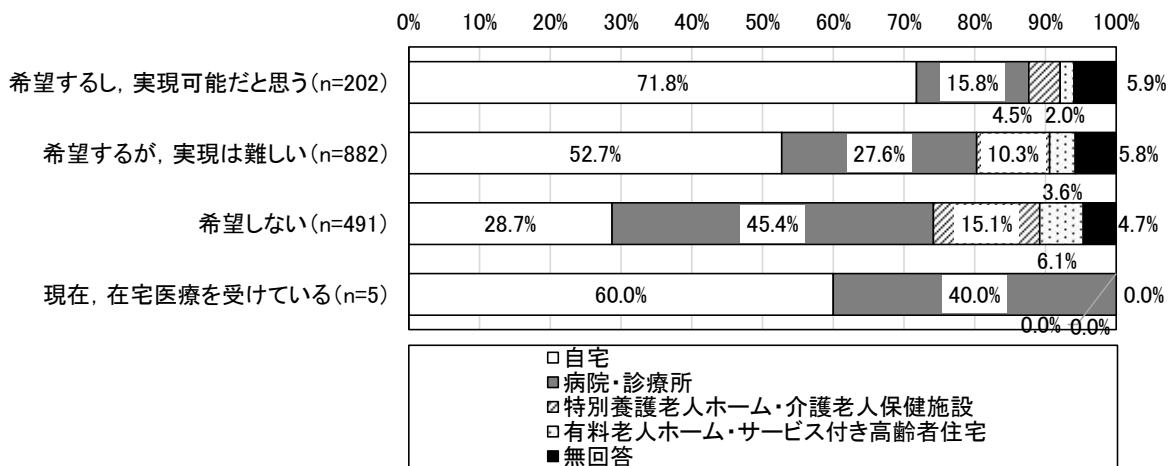
性別で比較すると、「自宅」が女性よりも男性の方が8.9ポイント多くなっています。

年齢で比較すると、「自宅」が「30歳代」で60.7%と最も多く、次いで「20歳代」で56.5%となっています。



【問9×問12 クロス集計】

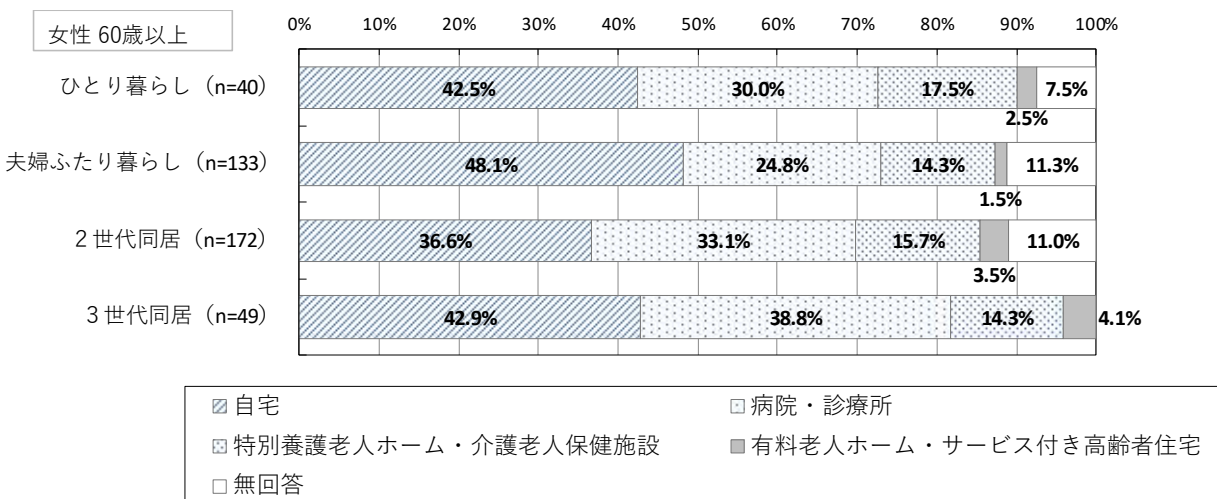
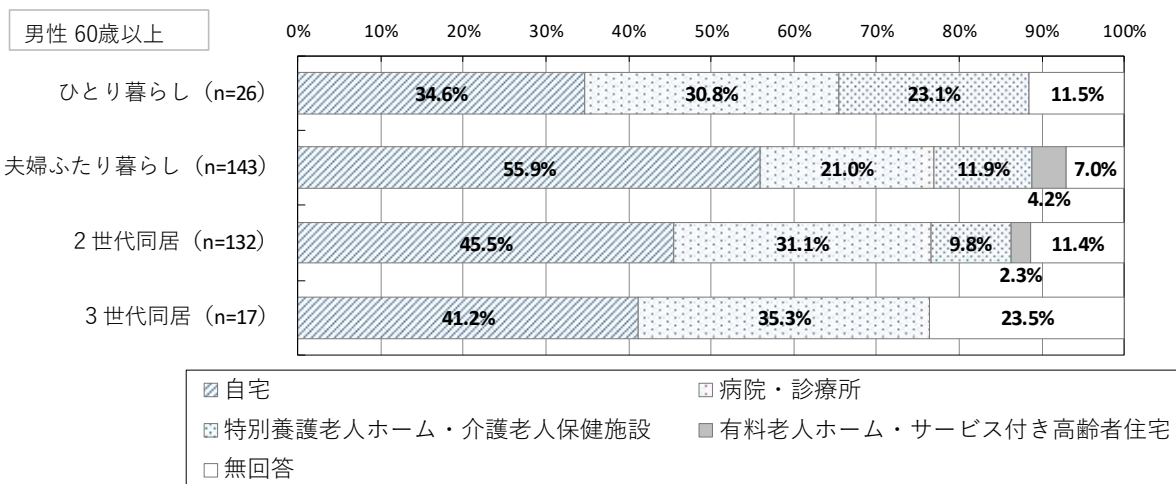
問9×問12のクロスで比較すると、「(在宅医療を) 希望するし、実現可能だと思う」と回答した方は、問12で「自宅」と回答した割合が71.8%と他の回答をした方よりも多くなっています



【家族構成－高齢者×問1 2 クロス集計】

60歳代と70歳以上の高齢者について問1の家族構成で男女別にクロスしました。

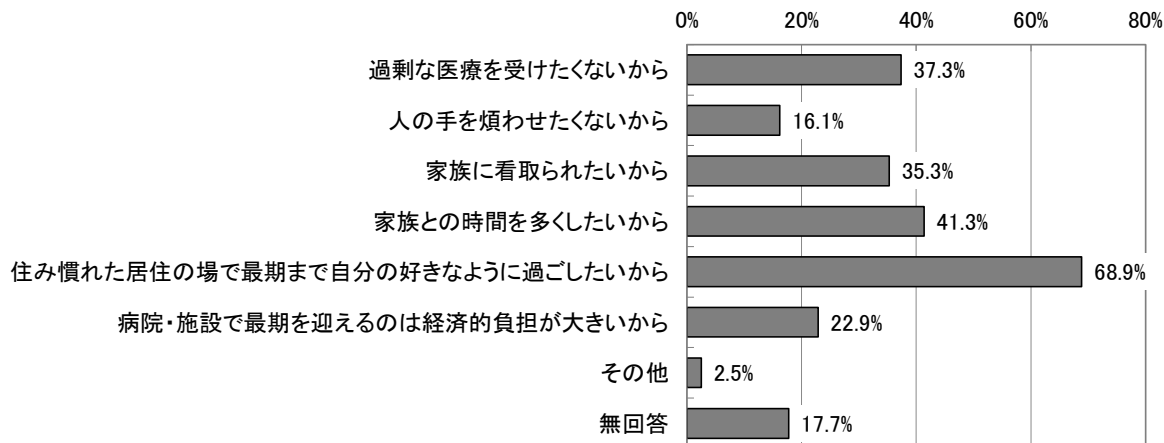
「(将来、最後を迎える場所として) 自宅」は「夫婦ふたり暮らし」が男性 55.9%、女性 48.1%と最も多く、次いで「2世代同居」の男性で 45.5%、「3世代同居」の女性で 42.9%となっています。また、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設は男性、女性とも「ひとり暮らし」が高い傾向にあります。



問12で「1. 自宅」と回答された方

問13 それはなぜですか。今のお考えに近いものを選んでください(〇は3つまで)

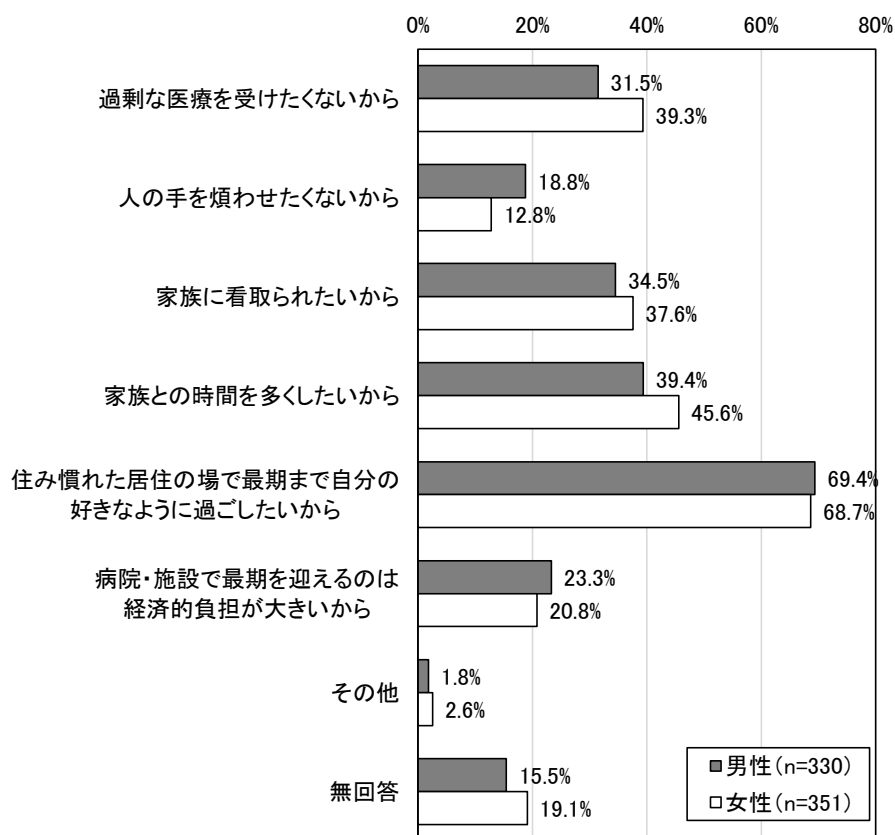
自宅と回答された理由では、「住み慣れた居住の場で最期まで自分の好きなように過ごしたいから」が68.9%と最も多く、次いで「家族との時間を多くしたいから」が41.3%、「過剰な医療を受けたくないから」が37.3%となっています。



項目	度数	構成比
過剰な医療を受けたくないから	289	37.3%
人の手を煩わせたくないから	125	16.1%
家族に看取られたいから	273	35.3%
家族との時間を多くしたいから	320	41.3%
住み慣れた居住の場で最期まで自分の好きなように過ごしたいから	533	68.9%
病院・施設で最期を迎えるのは経済的負担が大きいから	177	22.9%
その他	19	2.5%
無回答	137	17.7%
回答者数	774	
非該当	886	
合計	1,660	

【性別 クロス集計】

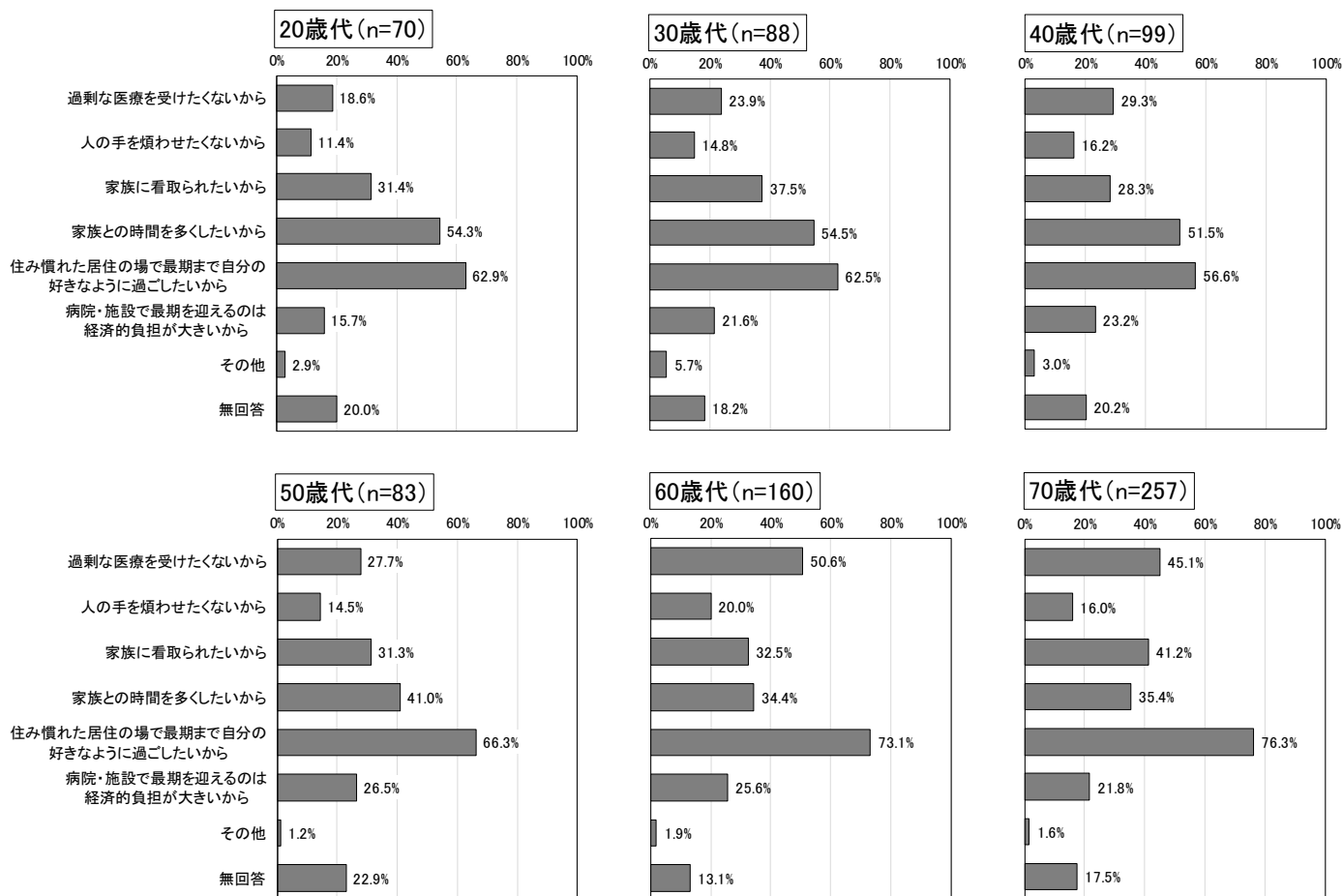
性別で比較すると、「過剰な医療を受けたくないから」が男性よりも女性の方が7.8ポイント多くなっています。



【年代別 クロス集計】

年齢で比較すると、「家族に看取られたいから」、「家族との時間を多くしたいから」、「住み慣れた居住の場で最期まで自分の好きなように過ごしたいから」が全体を通して多くなっていますが、その中でも「住み慣れた居住の場で最期まで自分の好きなように過ごしたいから」が、年齢が上がるに従い、上昇傾向となっており、「70歳代」で76.3%と最も多くなっています。

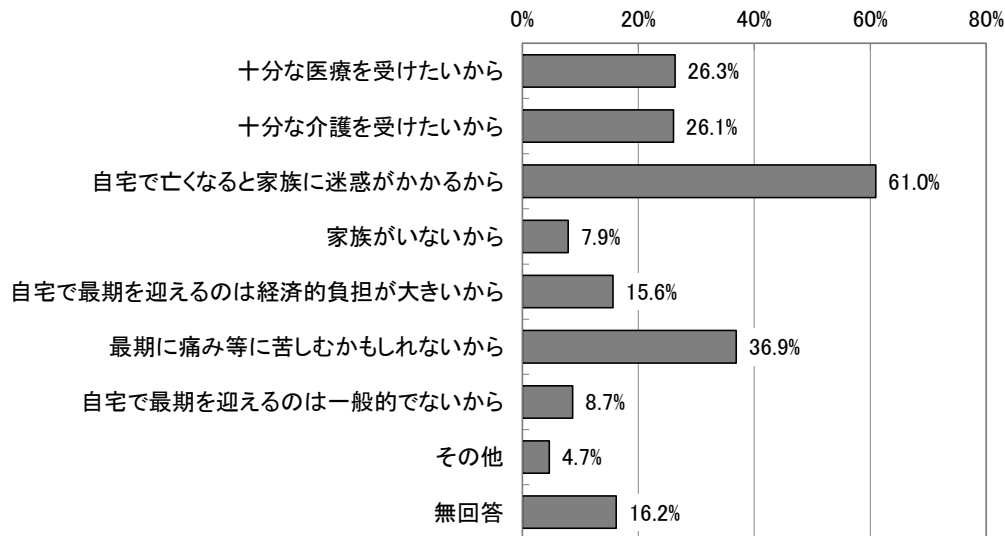
また、「過剰な医療を受けたくないから」も年齢が上がるに従い、上昇傾向となっており、「60歳代」で50.6%と最も多くなっています。



問 12 で「2. 病院・診療所」, 「3. 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設」, 「4. 有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅」と回答された方

問 14 それはなぜですか。今のお考えに近いものを選んでください(○は3つまで)

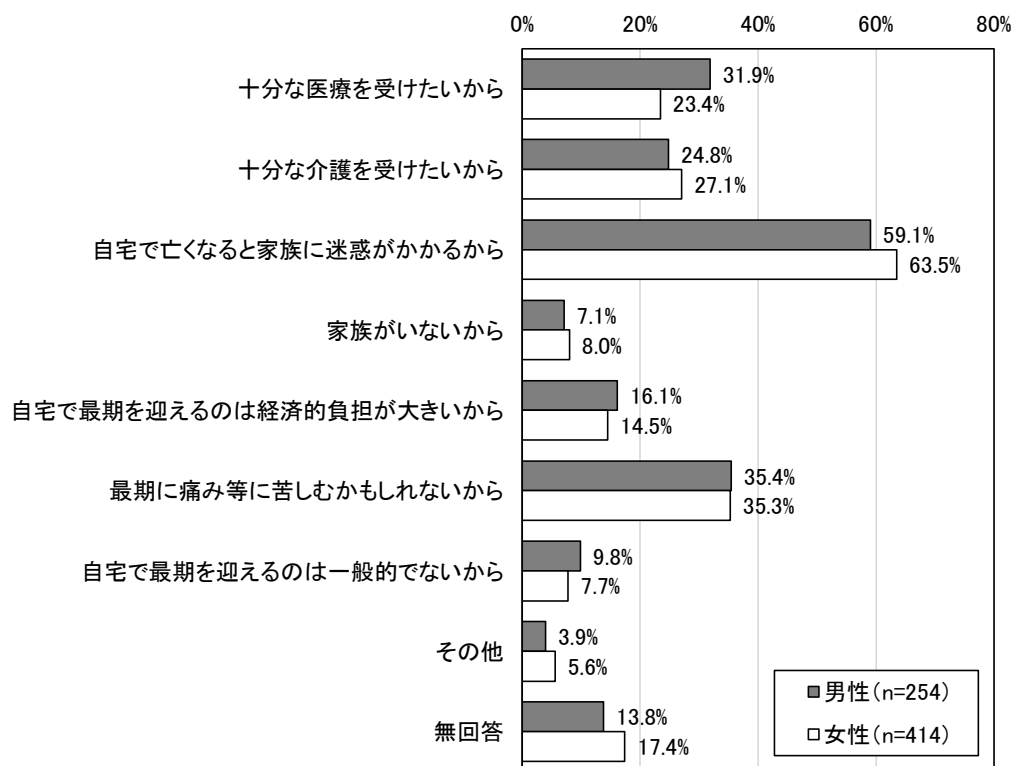
今のお考えに近いものでは、「自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから」が 61.0%と最も多く、次いで「最期に痛み等に苦しむかもしれないから」が 36.9%, 「十分な医療を受けたいから」が 26.3%となっています。



項目	度数	構成比
十分な医療を受けたいから	197	26.3%
十分な介護を受けたいから	195	26.1%
自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから	456	61.0%
家族がいないから	59	7.9%
自宅で最期を迎えるのは経済的負担が大きいから	117	15.6%
最期に痛み等に苦しむかもしれないから	276	36.9%
自宅で最期を迎えるのは一般的でないから	65	8.7%
その他	35	4.7%
無回答	121	16.2%
回答者数	748	
非該当	912	
合計	1,660	

【性別 クロス集計】

性別で比較すると、「十分な医療を受けたいから」が女性よりも男性の方が8.5ポイント多くなっています。

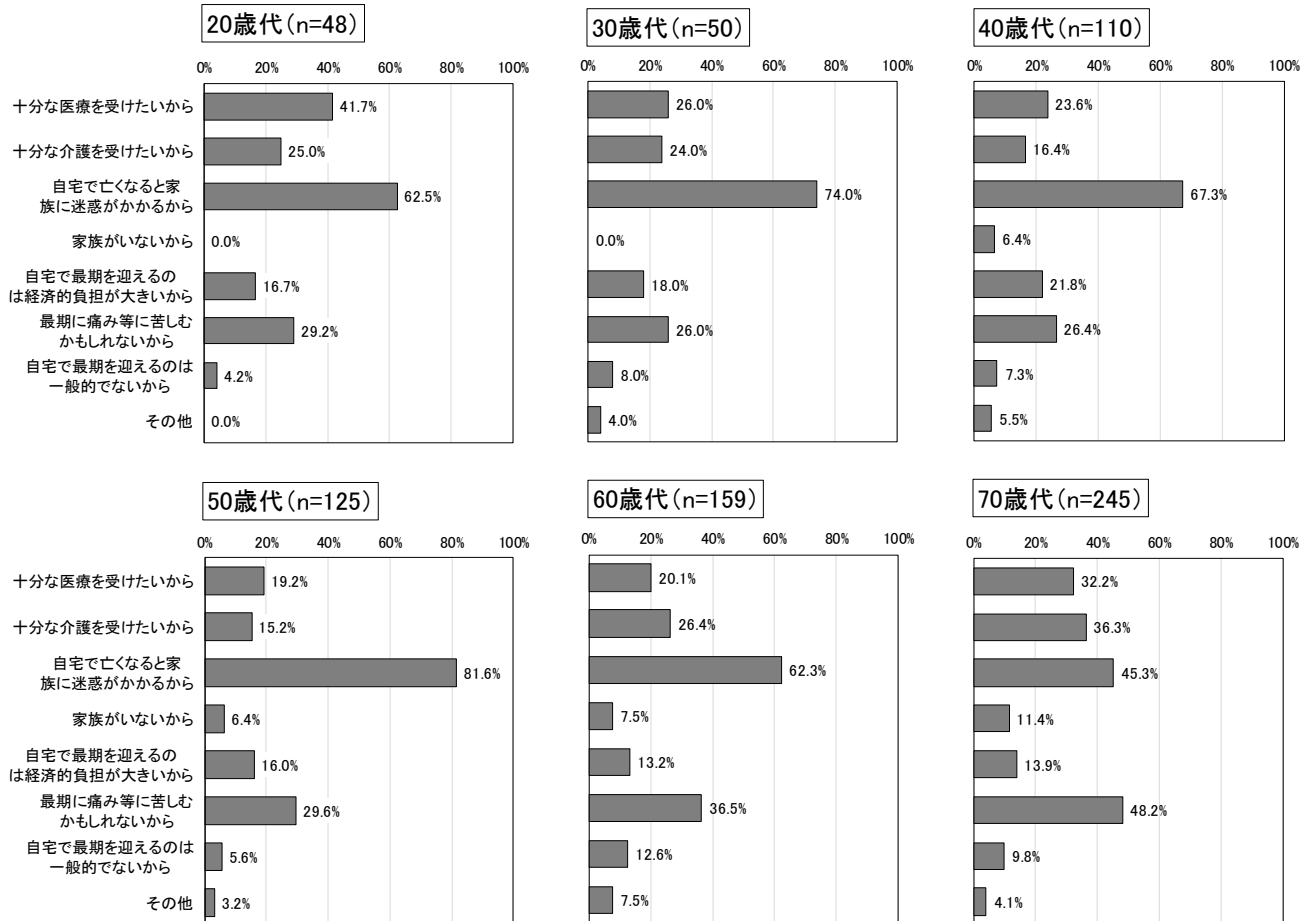


【年代別 クロス集計】

年齢で比較すると、「自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから」が「30 歳代」から「60 歳代」までは6割以上となっていますが、「70 歳代」で45.3%と少なくなっています。

また、「最期に痛み等に苦しむかもしれないから」が、年齢が上がるに従い、上昇傾向となっており、「70 歳代」で48.2%と最も多くなっています。

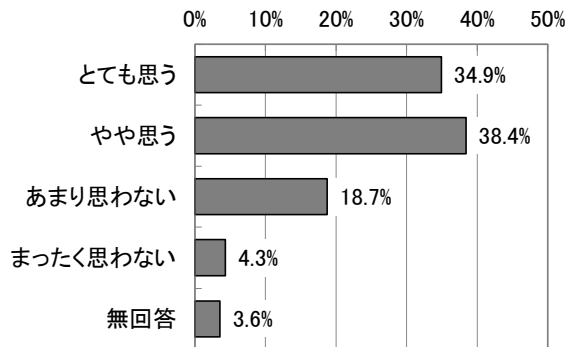
※20 歳代については、分母が少ないのでコメントから除外しています。



問 15 老衰や後遺症等で通院が困難になった場合に、病院には入院せず、自宅で療養を継続できる体制を社会全体で進めていくべきだと思いますか(○はひとつ)

老衰や後遺症等で通院が困難になった場合に、病院には入院せず、自宅で療養を継続できる体制を社会全体で進めていくべきだと思うかでは、「やや思う」が38.4%と最も多く、「とても思う」と合わせると7割以上の方が社会全体で進めていくべきだと思っていると回答しています。

また、「あまり思わない」「まったく思わない」と合わせると23.0%となっています。

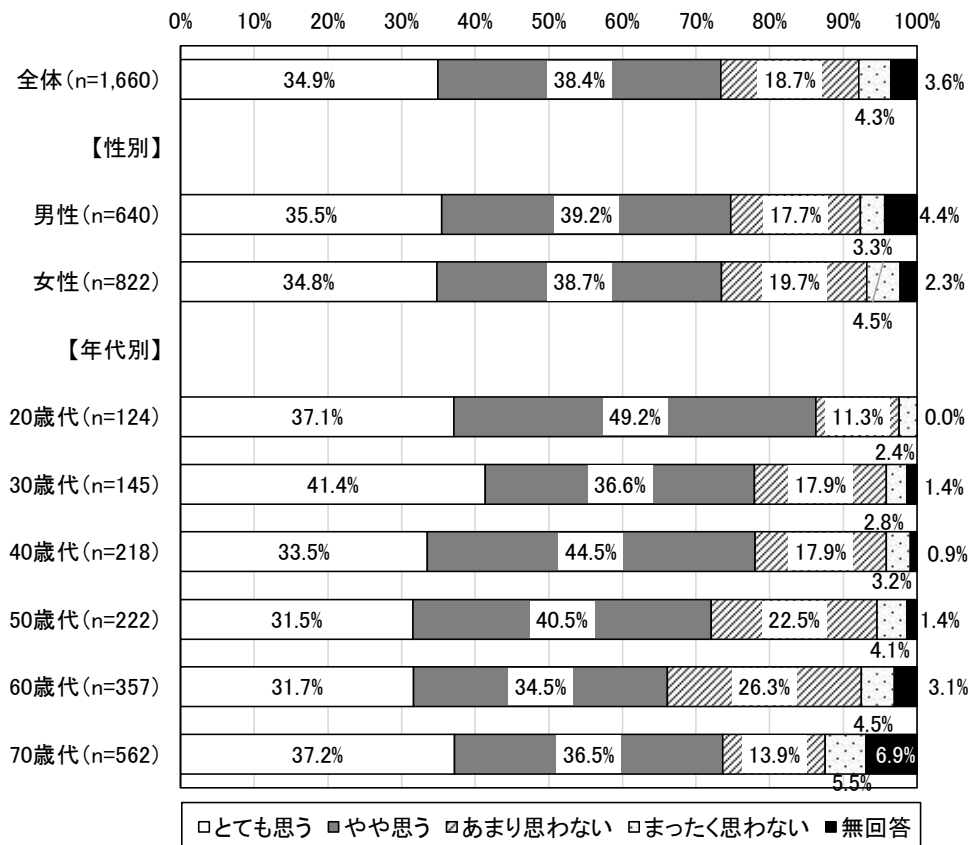


項目	度数	構成比
とても思う	580	34.9%
やや思う	638	38.4%
あまり思わない	311	18.7%
まったく思わない	72	4.3%
無回答	59	3.6%
合計	1,660	100.0%

【性別・年代別 クロス集計】

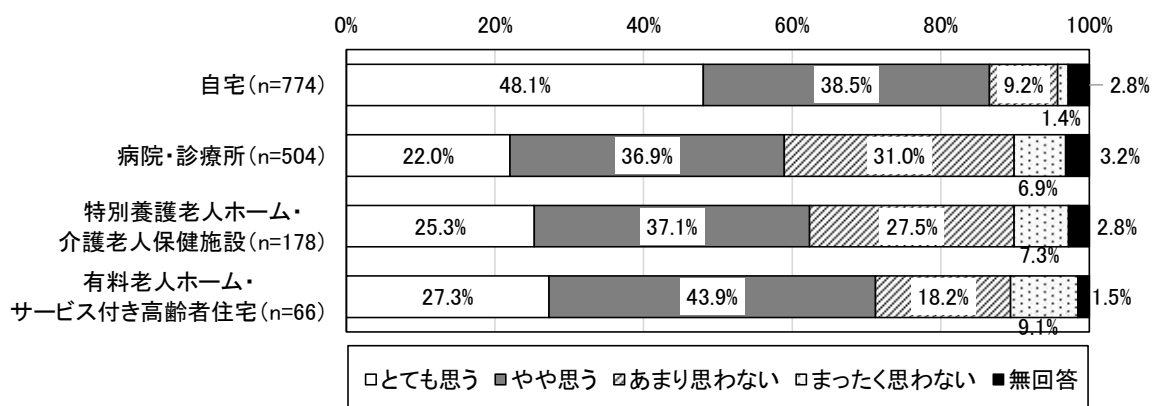
性別で比較すると、大きな男女差はありません。

年齢で比較すると、「とても思う」「やや思う」を合わせた回答が「20歳代」で86.3%と最も多くなっています。



【問 12×問 15 クロス集計】

問 12×問 15 のクロスで比較すると、問 12 で「自宅」と回答した方は問 15 で「とても思う」「やや思う」の肯定回答が 86.6%となり、他の回答した方よりも高い数値となっています。



2 記述編

問1 あなたの家族構成について伺います(5. その他)

■両親と実家暮らし (20 歳代、男性)
■夫婦、子供 3 人 (20 歳代、男性)
■祖母、弟 (20 歳代、男性)
■母子家庭 (20 歳代、女性)
■兄と 2 人暮らし (20 歳代、女性)
■1 世代 (20 歳代、女性)
■4 世代同居 (30 歳代、男性)
■4 世代同居 (30 歳代、男性)
■両親、自分、妹、弟 (30 歳代、女性)
■3. 5 世同居 (40 歳代、不明)
■4 世代同居 (40 歳代、男性)
■親子 (40 歳代、男性)
■両親と同居 (40 歳代、男性)
■夫婦、子ども 2 人 (40 歳代、男性)
■夫婦、子ども 2 人 (40 歳代、男性)
■父、母 (40 歳代、男性)
■長男とふたり (40 歳代、男性)
■兄弟 (40 歳代、男性)
■4 世代同居 (40 歳代、女性)
■夫婦、子ども 2 人 (40 歳代、女性)
■母子家庭 (40 歳代、女性)
■母親と子 (50 歳代、不明)
■夫婦、子供、3 人暮らし (50 歳代、男性)
■夫婦、子供 (50 歳代、男性)
■兄と同居 (50 歳代、男性)
■母子家庭 (50 歳代、女性)
■母親と同居 (50 歳代、女性)
■夫婦、子 1 人 (50 歳代、女性)
■夫婦子供義兄 (50 歳代、女性)
■4 世代同居 (50 歳代、女性)
■姉妹 3 人 (60 歳代、不明)
■4 世代同居 (60 歳代、不明)
■姉と 2 人 (60 歳代、男性)
■夫婦、母 (60 歳代、男性)

■夫婦と子供1人 (60歳代、男性)
■4世代同居 (60歳代、男性)
■子ども1人は長期出張中 (60歳代、男性)
■母親と息子 (60歳代、男性)
■夫婦と子供 (60歳代、女性)
■兄夫婦と同居。現在、介護施設入居中 (60歳代、女性)
■夫婦、母 (60歳代、女性)
■夫婦、父 (60歳代、女性)
■4世代同居 (60歳代、女性)
■娘とふたり暮らし (60歳代、女性)
■4世帯同居 (60歳代、女性)
■4世代 (60歳代、女性)
■子供と同居 (70歳代、不明)
■夫婦(子供1人) (70歳代、不明)
■同じ土地に息子家族4人 (70歳代、不明)
■2人暮らし (70歳代、不明)
■次女と同居 (70歳代、不明)
■夫婦2人と子供1人 (70歳代、不明)
■夫婦+孫1人 (70歳代、男性)
■夫婦と娘1人 (70歳代、男性)
■父と長男(2人) (70歳代、男性)
■夫婦と娘1人 (70歳代、女性)
■4世代同居 (70歳代、女性)
■夫と子供 (70歳代、女性)
■夫婦、息子 (70歳代、女性)
■妹と2人で (70歳代、女性)
■同じ屋敷、別棟に息子家族がいます (70歳代、女性)
■3人(長男と嫁) (70歳代、女性)
■4世代 (70歳代、女性)
■姉夫婦 (70歳代、女性)
■親と子供 (70歳代、女性)
■夫婦、子ども一人 (70歳代、女性)
■親子2人 (70歳代、女性)
■長男夫婦と孫1人 (70歳代、女性)
■子供が毎週来てくれています。 (70歳代、女性)
■孫と一緒に (70歳代、女性)
■私(母)と息子の2人暮らし (70歳代、女性)
■20歳〇1人 (不明、不明)

■夫婦子ども2（不明、男性）
■夫と長男（不明、女性）
■二人暮らし(本人と娘)（不明、女性）
■長男と2人暮らし（不明、女性）

問2 あなたは日頃、医療や介護についての知識や情報を何から得ていますか(10. その他)

■親（20歳代、男性）
■祖父母の介護の様子から（20歳代、男性）
■大学（20歳代、男性）
■家族から（20歳代、男性）
■医療機関で働いているため（20歳代、女性）
■医療関係の大学に通っているため（20歳代、女性）
■職場（20歳代、女性）
■職場（20歳代、女性）
■職場（20歳代、女性）
■特に得ていない（20歳代、女性）
■専門学校（20歳代、女性）
■家族から（20歳代、女性）
■知識ほぼない（20歳代、女性）
■家族の状況から（20歳代、女性）
■親（30歳代、男性）
■身内がケアマネジャー（30歳代、男性）
■病院勤務の為、職場（30歳代、女性）
■人から聞いた（30歳代、女性）
■障害のため理解できない（30歳代、女性）
■仕事（30歳代、女性）
■職場、病院勤務（30歳代、女性）
■友人（30歳代、女性）
■職場（30歳代、女性）
■仕事（30歳代、女性）
■妹が介護職のため（30歳代、女性）
■夫一介護職員（30歳代、女性）
■家族、友人から（30歳代、女性）
■友達（40歳代、不明）
■企業内講演会（40歳代、男性）
■得ていない（40歳代、男性）
■介護経験ありの為（40歳代、女性）

■資格所持(介護) (40歳代、女性)
■家族が介護関係の仕事 (40歳代、女性)
■職場 (40歳代、女性)
■仕事柄 (40歳代、女性)
■友人 (50歳代、不明)
■知人・友人 (50歳代、不明)
■知人 (50歳代、男性)
■知らん (50歳代、男性)
■職場 (50歳代、男性)
■職場 (50歳代、男性)
■知人 (50歳代、男性)
■特になし (50歳代、男性)
■健康保険組合 (50歳代、男性)
■仕事を通して (60歳代、不明)
■知人 (60歳代、不明)
■介護士をしている (60歳代、男性)
■親を介護している知人 (60歳代、男性)
■親が介護で世話になった事 (60歳代、男性)
■情報の入手をほとんどしていない (60歳代、男性)
■訪問介護の仕事をしています (60歳代、女性)
■ご近所さん (60歳代、女性)
■介護サービス事業所、利用家族の方 (60歳代、女性)
■自分が訪問介護ヘルパー (60歳代、女性)
■友人や兄弟から (60歳代、女性)
■近所の人、友達 (60歳代、女性)
■他の市の知人を介護しているので、そのケアマネさんから。 (60歳代、女性)
■友人 (60歳代、女性)
■ほとんどわからない (60歳代、女性)
■知人 (70歳代、不明)
■友人 (70歳代、不明)
■市で行う講演会 (70歳代、不明)
■友人、知人 (70歳代、男性)
■ナシ (70歳代、男性)
■風耳 (70歳代、男性)
■90歳以上なので家族と話をしている (70歳代、男性)
■知らない (70歳代、女性)
■民生委員研修等々 (70歳代、女性)
■甥がクリニックを開いている (70歳代、女性)

■近所の仲間 (70 歳代、女性)
■現在利用されている方に (70 歳代、女性)
■地域包括支援センターの方 (70 歳代、女性)
■近所の友達 (70 歳代、女性)
■親類や会社の同僚たちなど (不明、男性)

問8 知っているサービスの内容は何ですか(10. その他)

■栄養士による訪問栄養指導、訪問の口腔ケア (20 歳代、女性)
■爪を切ってくれる (40 歳代、男性)
■看護師が行うのである程度と思っているが細かくはわかりません (50 歳代、男性)
■全部 (50 歳代、女性)
■看取り (50 歳代、女性)
■薬の相談 (60 歳代、女性)
■買い物、料理等 (70 歳代、女性)
■食事援助 (70 歳代、女性)

問10 あなたが、自宅で療養生活を送る場合、実現可能だと思う理由は何ですか(9. その他)

■自分で介護士で働いていたので (30 歳代、男性)
■環境は整っていないかもしれないが、自宅で過ごしたい (30 歳代、男性)
■なんとなく可能だと思ったから (30 歳代、女性)
■親で経験している為 (40 歳代、女性)
■療養の程度によって可能と不可能があります (50 歳代、女性)
■なんとなくそう思うから。なんとなくかなと思うから。 (50 歳代、女性)
■住環境は整っていない (70 歳代、不明)
■現在、環境が整っているとはいえないが、必要に応じて改善すれば良いし、その時に可能になるよう自分でも工夫し考える (70 歳代、女性)
■夫が世話になり助かった (70 歳代、女性)
■今のところ、家族と一緒に居るから (70 歳代、女性)
■内容を知らないので定かには回答出来ない (不明、男性)

問11 あなたが、自宅で療養生活を送る場合、実現は難しいまたは希望しない理由は何ですか(9. その他)

■療養生活の想像が出来ない (20 歳代、男性)
■医師、看護師の数が少ない (20 歳代、男性)
■全く考えられない。 (20 歳代、男性)

■延命治療を希望しない (20 歳代、女性)
■施設の方が安全で快適な生活が送れそうだから (20 歳代、女性)
■お医者さんに気を遣ってしまうから (20 歳代、女性)
■ずっと家にいたくないから。病院の方が安心。 (20 歳代、女性)
■介護度にあったサービスだけで事足りるのか…現実ではサービスに限りがあるのではないか (30 歳代、女性)
■年齢的にまだ考えられない (30 歳代、女性)
■病院の方が安心だから (40 歳代、男性)
■年齢的(現在)に在宅医療の必要性(可能性)をまだ意識していない (40 歳代、男性)
■まだ考えた事がないから (40 歳代、女性)
■その時の状況で考えないと分からない (40 歳代、女性)
■年齢的にまだ現実味がないので考えがまとまらない (40 歳代、女性)
■そこまで深く考えていないから (40 歳代、女性)
■お金ないから (50 歳代、男性)
■知識がないから (50 歳代、男性)
■病院の方が設備が整い環境が良い (50 歳代、男性)
■今現状でみた場合の希望、先の事はわからない (50 歳代、女性)
■その時の家族の状況による (50 歳代、女性)
■糖尿病のため・・・インスリンを1日3回打っているため薬も飲んでいる！ (50 歳代、女性)
■実感がない。自分でできる事はなるべく自力で行いたい。 (50 歳代、女性)
■経験がない。不安 (50 歳代、女性)
■夫婦2人の生活になった場合、夫に負担をかけさせたくない。 (60 歳代、不明)
■家族が近くに住んでいないため (60 歳代、不明)
■子供があてにできない (60 歳代、男性)
■まだ考えたことがない (60 歳代、男性)
■車イスなので自宅はバリアフリーではないため (60 歳代、女性)
■人工透析を受けているため (60 歳代、女性)
■看護師の不足等で不安である (60 歳代、女性)
■親1人、子供1人(1種2級)会社に勤め、自分のことで目一杯 (70 歳代、不明)
■もしそうなった場合の時に主人が居たら理解してもらおう事が難しく自分の希望通りの療養が送れるかどうか分からない (70 歳代、不明)
■現状の体制がどういうことになっているか不明 (70 歳代、不明)
■妻ひとりだけに負担がかかってしまう。子供たちは忙しくはなれて暮らしている (70 歳代、男性)
■子供たちが遠いため (70 歳代、男性)
■子供は近くにいないし最後は老々介護となるから (70 歳代、男性)
■今は1人住まい。外に住む子供が見てくれるか分からない (70 歳代、女性)
■1人暮らしの上、住居が2階である (70 歳代、女性)
■家族が会社勤めで見る事が出来ないから・・・ (70 歳代、女性)
■今二人暮らしでお互い1人になった時 (70 歳代、女性)

■老々介護になるか、ひとり暮らしになるかどちらかになる (70 歳代、女性)
■入院 (70 歳代、女性)
■子供が遠く離れているため気持ちは優しいけど通いきれないと思う。とても負担が大きいと (70 歳代、女性)
■妹夫婦と同居であるが時間的に難しいと思っています (70 歳代、女性)
■1人暮らしだから (70 歳代、女性)
■料金が高く悪人がよってくる、不合理か (不明、不明)
■家族が遠方で看られない (不明、女性)

問 12 で「1. 自宅」と回答された方

問 13 それはなぜですか。今のお考えに近いものを選んでください(9. その他)

■生涯現役でありたい (20 歳代、男性)
■病院で最期を迎えるまでいる時間、きっとマイナスなことを考えてしまうと思うが、家にいて家族と少しでも話せたり、同じ空間にいただけで「生きていたい」とかプラス思考になれる気がします。(20 歳代、女性)
■介護福祉士として施設で働いているので、病院・施設の大変さを知っているから (30 歳代、不明)
■老衰であれば特に (30 歳代、女性)
■できるだけ自立した生活を送りたい。理想。ぴんぴんころり。(30 歳代、女性)
■現在訪看の仕事をしていて、最後住み慣れた所で家族と過ごしたい (30 歳代、女性)
■自分の祖父母や、父も自宅で亡くなったから。(30 歳代、女性)
■自分を否定されて何されるかわからないから (40 歳代、男性)
■状況による(この先の) (40 歳代、男性)
■看護?のために家族に病院まで来てもらうのは家族の負担になりそう(着替えや看病) (40 歳代、女性)
■気持ちが落ち着くから (50 歳代、男性)
■その時にならないとわからない。経済的にも色々心配。(60 歳代、不明)
■パートの給料では無理なので→一人暮らし (60 歳代、男性)
■現在問 1 2 の 2~4 は考えられない。元気でコロッと最期を迎える予定 (60 歳代、男性)
■現実は無理 (70 歳代、不明)
■希望は希望で、むりだと思えます (70 歳代、女性)
■その時の病気の内容によっては自宅とは限らない (70 歳代、女性)
■現実には病院診療所では? (70 歳代、女性)
■お金が無いから、悪人が来るから、詐欺に対応できない (不明、不明)

問 12 で「2. 病院・診療所」, 「3. 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設」, 「4. 有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅」と回答された方

問 14 それはなぜですか。今のお考えに近いものを選んでください(8. その他)

■適度な医療介護を受けたいから (30 歳代、女性)
■自宅に執着したくない (40 歳代、男性)
■自分の家族、親族で自宅で亡くなっている人がいないため、イメージ出来ない (40 歳代、男性)
■介護等出来るだけ受けることなく最期を迎えられることが一番良い (40 歳代、男性)
■病院が安心だから (40 歳代、女性)
■家族(夫、子)に負担をかけたくないし将来期待せず自分の力で何とかしたいから (40 歳代、女性)
■家族だって自分たちの生活もある！ (40 歳代、女性)
■自宅だと故人の闘病生活がありありと思いだされて辛いです。私の考えですが、家族がそうだったらいやだなと思って。 (50 歳代、男性)
■複数の目・手があるのが安心 (50 歳代、女性)
■孤独死で迷惑を掛けたくない。車に乗れなくなったら住み続けられない、有料老人ホームに入るしかない。末期がんなど激痛がある場合はホスピスですが。 (50 歳代、女性)
■年齢と状況による (50 歳代、女性)
■一人住のため (60 歳代、不明)
■一人暮らしだから (60 歳代、男性)
■家族に迷惑をかけたくないしあてにできないから (60 歳代、男性)
■過剰な医療を受けたくない (60 歳代、男性)
■終末医療は望みませんが、難しいところです (60 歳代、女性)
■夫は自宅療養が可能でも私 1 人になったら見てくれる人はいない (60 歳代、女性)
■自宅では車イス生活が出来ないから。*自宅で生活したいが、現状住環境がダメ (60 歳代、女性)
■老々介護になってしまう (60 歳代、女性)
■家族に負担をかけたくない。元気に最後まで生活をしながら過ごしたい。ただ近くに医師や看護師に居てほしいため (60 歳代、女性)
■夜痛みなどを訴えられた時どうすることもできない (60 歳代、女性)
■夫婦 2 人なため、夫に負担をかけたくない (60 歳代、女性)
■早期発見を希望したい (70 歳代、男性)
■身体が動かないと家族の負担 (70 歳代、男性)
■忙しい家族に迷惑かけたくない (70 歳代、女性)
■家族に迷惑かけたくない (70 歳代、女性)
■子供は男ばかりだから (70 歳代、女性)
■家族に負担をかけたくない (70 歳代、女性)
■一緒に住む家族なし (70 歳代、女性)
■家族はいるが病弱者と身障者で在宅介護は無理 (70 歳代、女性)
■妻の体調が良くないから (不明、男性)

○在宅医療について、ご意見・ご要望を記入してください。

<p>■市町村からのPR不足 (20歳代、不明)</p>
<p>■まだ若いので在宅医療についてあまり考えていない (20歳代、男性)</p>
<p>■高齢者の経済的な面を考えると出来る人、出来ない人で差が出ると思うので金銭面での支援があればいいと思う (20歳代、男性)</p>
<p>■今のところ、特にありません (20歳代、男性)</p>
<p>■少子高齢化が進んでいる中在宅医療が進んでいくことは素晴らしいことだと思います。高齢者の中には医療機関に頻繁に訪れなければいけない人も多いと思います。そういった人に在宅医療があれば少なくとも負担がかからなくなってよいと考えます。しかし、中には医療機関を通じて一緒にリハビリや会話をして医療機関を心地よく考えてる人もいるかもしれません。在宅医療が発達していくことは素晴らしい事です。しかし社会全体で進めて全員に在宅医療は厳しい事ですし、高齢者の意見を聞かなくては自分では判断しにくいものだと思います。(20歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療というものがあっても今現在の平均的な給料では無理だと思う。長期の治療が必要になっても働かないと治療費が払えないので在宅医療をする人はお金をもっている一部の人間だけだと思う。(20歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療は介護者本人は自宅で家族と過ごせるので良い一面もあるとは思いますが核家族化が進む現代では、家族の負担が大きくなるので、難しいのではないかと思います。まして景気悪化による低賃金で収入を得る為、共働きが増えて家を空ける時間が増えていると思います。(20歳代、男性)</p>
<p>■アンケート調査はもっと年齢が上の人を対象にした方がよいと思う。(20歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療について詳しくないのですが、本人の希望、家族のサポート、料金の面や医療の内容に納得できればとても良いと思います。あまりに症状が重い場合には入院や老人ホームへ入所した方が家族は安心かと思いますが、最後の時は自宅で家族と過ごしたいと思うのが本心です。自分の場合だけでなく親の場合でも考える時が来ると思うので、そのような状態になってからバタバタと決めずに済むように今から少しずつ話すことも大切だと思いました。市のホームページなどでも載せて頂けると、より具体的に考えられるのでありがたいと思いました。(すでに載せていたら申し訳ありません) (20歳代、男性)</p>
<p>■まだ実感がわかず、在宅医療についての考えが浮かびません。ただ、最期のときを住み慣れた場所でおくれるのは、きっと幸せなことだろうなと思います。(20歳代、男性)</p>
<p>■数年ぶりにこのようなアンケートに選ばれてうれしく思います。祖母の調子がよくなくあと何年持つのか?と悩んでいるところです。通院はしていますが病院よりは家で最期をと思っているはず。結城市の公式ライン的なものを作ってほしいです。(20歳代、男性)</p>
<p>■制度がよく分かりません。(20歳代、男性)</p>
<p>■ご高齢の方や困っている人が安心して利用出来るようになれば良いと思います(4人家族ですが、2通きました。他の人にも行きわたっているのかな?) (20歳代、女性)</p>
<p>■知識が少ないため、医療機関やサービス等を利用する際には、周りの意見に流され、どこが自分にとってベストなのか分からないまま過ごすことになってしまう気がします。各医療施設がどんなサービスを利用出来て、どのくらいの費用がかかるのかをひとまとめにした広報誌を配布していただくと助かります。セミナー等だと足を運びにくいので、家にあって読めた方が情報が入りやすいです (20歳代、女性)</p>
<p>■・在宅医療についての情報が少ないため、サービスの利用の仕方が分からない。 ・高齢者が増加するのにあたり、家族内の支援してくれる人が少なく利用出来ない人が多いので、若者に対して、在宅の知識を増やすのはどうか? ・在宅医療を受ける側とそれを支える家族が、今後どのようにして過ごしていくのかノートを作成してみるのはいかがでしょうか? ・日程や時間を決めるのは難しいと思うが、講演会を増やすのはどうか?若者が参加できる簡単な内容を話すのはどうか? (20歳代、女性)</p>
<p>■あまり知識がないからかもしれませんが、在宅医療はどうしても家族に負担がかかるというイメージです。家族に負担をかけるよりは、施設に入って専門の知識を持っている方々に専門のサポートをしてもらいたいと思っています (20歳代、女性)</p>
<p>■85才の父が昨年、肺炎で死にかけ運よく助かりました。死ぬまで自宅という父の希望で、在宅医療の病院でお世話になっております。母も自宅にいますが、認知症の為見守りが必要です。私は兄弟がおらず、自分1人で親2人を介護している状態です。母もまだ意思はあり、絶対施設には入りたくないと言っています。父が自宅に帰って1年。今度は私が病気にかかりました。しかし両親は施設を特別</p>

<p>なものを考えているようでデイサービスもショートステイも再三のケアマネージャーのすすめにも関わらず、全く利用しようとしません。家で死にたいという希望の人は沢山いると思います。しかしそれを実現するには若い世代に大変な負担がかかること、そして今1番困っていることは介護と自分の病気のために休職しなければならず収入がなくなってしまうことです。障害年金も生活保護も条件が当てはまらず、受けることが出来ません。働きたくても働けない。そんな人間が支援を受けられないのはなぜでしょうか？早急な法の整備をお願いします。(アンケートは20代の娘の所に来ましたが、この欄は50代母が代筆しました) (20歳代、女性)</p>
<p>■私はまだ20代なのであまり深く考えたことがないので分かりません (20歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療を必要とする人はこれからも増えて行くと思います。自宅でも患者さんが安心して治療を受けられるよう、在宅医療の知識のある医師・看護師等を増やし、24時間対応できる機関が身近にあるような社会になってほしいです (20歳代、女性)</p>
<p>■・介護は高校の授業で少しやっていたので私は大丈夫でしたが、他の家族が全くだったので、在宅医療をやるとなった時、病院やセミナー等で体を傷めない介護の仕方を勧めた方が良いと思います。・ベットや車椅子…他をレンタルする時、ケアマネージャーさんに言われるままレンタルしたものがありませんでしたが、全く使わずムダなお金を払いました (20歳代、女性)</p>
<p>■家族の人数や体制が変わってきている現在、自宅での介護は訪問などで可能であると思うが、協力が必要である。一方医療となると負担が大きく施設などで行う方が良いと思う。 (20歳代、女性)</p>
<p>■現在、病院や老人ホームにいる方できっと自宅に帰りたいと思っている人は多いと思います。ですが、そう思っている人ほとんどが家族に負担をかけてしまうと思い、自分の思いを家族に言わない人がきつという私は思います。なので、もっと在宅医療を気軽に希望できるようにしてほしいです。経済面もそうですが、人々が安心して家で家族と一緒にいれるようにできれば、希望する人も増えると思います。だからといって、こうしたほうが良いなどと提案は出来ないけど、少しでも在宅医療制度が現実的になればいいなと思っています。アンケート送って下さり、ありがとうございます。結城市がよりよい町になるよう願っております。 (20歳代、女性)</p>
<p>■・簡易酸素吸入など今後、在宅医療を受ける用品がまだ高価である為、家族の経済的負担が高いため小児や高齢に手をだせず「看取る」という選択が多いと思われる。負担額も少しは考慮して欲しいと思う。・小児科や緊急体制が整っている所が古河市や境町に多くなるのが不便を感じる。できれば結城市内でも整っているHPを欲しい。 (20歳代、女性)</p>
<p>■医療や介護の施設に対してそれを受ける人数が増加するわけだから、必要感は強まってくると思う。しかし、担い手が少ない事で、また経済的な理由で受けたくても受けられない人はいるのだから、現在の経済的な保障と将来的な人材育成、増加とを同時に進めなければいけないと感じる。また、今は働いている人も将来の自分のためにこういった制度を知り、経済的な備えをしておくことは必須である。自分もいざという時のために備えておきたい。 (20歳代、女性)</p>
<p>■実際に訪問でリハビリテーションの仕事をしています。利用者さんの家族がよくお話して下さるのは「若い頃、よくして下さったから、なるべく自宅で過ごせるようにしてあげたいの」という言葉です。でも現状として、家族だけで一人だけで介護を続けることは難しく、ストレスや疲れがたまっているように思います。何に頼ればいいのか、何をつかえば少しでも楽に家での生活を続けられるのかを一緒に考えることが出来る地域であってほしいと思います。 (20歳代、女性)</p>
<p>■理想ではあるが、実現が難しいかと思えます。年代によっても必要性が違うと思います。正直今は必要性を感じませんが、超高齢化社会の中で交通の便がない方もたくさんいらっしゃるでしょうから。行政で補助をしていただけるといいのではないのでしょうか。 (20歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療はとてもいい制度だとは思いますが実際に祖母の介護をしている母をみていたので家族や経済的な負担は大きいのかなと思いました。 (20歳代、女性)</p>
<p>■将来的に在宅医療の体制になっていく必要があると思うが、今の現状では、子が近くにいない、環境が整っていない等から、在宅医療の実現は難しいと思う。 (20歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療についての知識は浅いが、まずは病院(診療所)の数が少ない。小児科も少ない。助成も足りない。医療の面で心配や不安事があると結城市ではなく小山市の医療に頼ることが多い。子供を複数もつ親はクリニックへ行きたい時に病気ではない子供を連れて行かなければならない。その際に余計な菌をもらって病気になるケースがある。そういう場合に自宅に来てくれる医師がいてくれたらとてもありがたい。子供を持つ親や通院がむずかしい高齢者の医療が発展し、そのサービスの先を歩くのが結城市であってほしいと心から願う。 (20歳代、女性)</p>
<p>■今後、確実に必要になる在宅医療は将来のことを考えるのではなく数年後には完ペキとまでは言わないまでも、それなりの体制を整えておくべきだと思います。それと、超高齢化社会に直面している地方は、最近ニュースでさわがれている高齢者による自動車事故で、免許を返納する高齢者が多くなって</p>

<p>いる今、高齢者の移動手段についても暮らしやすい体制を整えるべきだと思いました。よろしくお願ひ致します。(20歳代、女性)</p>
<p>■選択肢が増えるのは良いと思う。(20歳代、女性)</p>
<p>■まだ年齢的にも興味もなく考えたことがなかったのもっと身近に情報が得られるといいと思います。(20歳代、女性)</p>
<p>■私たち20代で知っている人は少ないと思う。20代またはネット利用者はインターネットを使いこなすことが出来るからインターネットなどで情報を知ったり、なにか使いやすいアプリがあれば利用するひともいると思うがネットを使わない人のためになにかもっと情報を得られるものが必要と思う。広告(チラシ、新聞など)また、在宅医療を利用するにあたって看護師や医者家を招くにあたり医療を受ける家族と2人になると少し不安。信用になる人に見てもらいたいという点はなにかいい策はないだろうか。(20歳代、女性)</p>
<p>■高齢化社会において在宅医療制度はとてもいいと思います。家で治療したい方の利用はもちろん病院診療所まで行けない方にも利用できたらいいと思います。ただ普通に病院に行くより費用が掛かるのがいかがなものかと思ひます。控除の仕組みなどは詳しくわかりませんのもっと在宅医療の制度のついて知りたいと思ひます。(20歳代、女性)</p>
<p>■家族といたいが実際通院が不可能だ。通院や重たい体の移動動けない補助困ったことに対しての答え(すべき方法)がどうすればいいのか問題。費用お金もかかるし家族が仕事にも行けない。他人の手を借りるにしてもお金最大の問題はお金!(20歳代、女性)</p>
<p>■現在、施設で働いています。「家に帰りたい」と言われる方が多いです。家で見る事が出来ない家族が多く、老々介護になってしまっていることが、現状だと思ひます。在宅では、床ずれや徘徊、夜間起きてしまう、排泄介助、入浴介助の困難もあり、体力、精神的にも大変です。本人だけではなく、家族の心のケアや、安心できるような環境を整える事も大切だと思ひます。在宅医療は家族と過ごす大切な時間もあります、施設や周りの協力が無いと出来ないと思ひます。最近、在宅医療についての映画を見ました。看取りも含めて地域での協力、他職種との連携の大切さを知りました。駅周辺だけではなく、結城市全体を見てほしいです(30歳代、不明)</p>
<p>■家族に経済的な負担は避けてほしい(30歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療を結城市の全域に行き渡れるようにしてほしいです。また、財源確保はどうなっているかを知りたい(30歳代、男性)</p>
<p>■設備を整える前に医療費の問題を解決すべきなのでは?と思う。(30歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療は病院や診療所に行く事ができない人にとっては良いです。高齢化社会になっていく中で在宅医療は助かると思ひます。(30歳代、男性)</p>
<p>■死ぬのは人として当然なので、病院よりも自宅でできる事をしながら最期を迎えたい。(30歳代、男性)</p>
<p>■特別養護老人ホーム、介護老人健康施設に入りたくてもなかなか入れないと聞きます。何か月待ちとか?必要としている人がすみやかに入れようになれば良い。料金もなるべく家族で負担できる金額が望ましい。もし、自分の親が不自由になって、こういうところお世話にならなくなってしまっても、なるべくなら家で過ごさせたいと思うが、なかなか難しい。施設にあずけるにも高い金額が負担になる。どうしたらいいのでしょうか?もっともっと保健の方で負担してもらわないと自分たちの生活も大変です。働いても働いてもその高い金額(なるべくやすい所をさがしてもらったとしても)をはらうのはみんな大変なんじゃないでしょうか?(30歳代、男性)</p>
<p>■高齢者が増えているので進めていった方がいいと思う(30歳代、男性)</p>
<p>■人の手を借りないと自分の生活を続けていくことが困難な場合は希望者に対しては短期間に逝かせてくれるようにして欲しい。(30歳代、男性)</p>
<p>■安心して依頼出来る看護師又は医師に担当して頂ける事。出来る限りの在宅を希望しますが、今の母の状況が難しいのです。しばらく様子を見て今後も宜しくお願ひします。(30歳代、男性)</p>
<p>■自宅で療養を受けたいと思っても、それを完全にサポート出来る家族の力も必要で、実際、365日24時間家族だけのサポートは大変だと思ひます。少子化で分担できるのも難しい。それなら特老ホームに入居し、365日24時間いつでも何かあったらすぐサポートが可能な場所への入居が家族も安心出来るし、負担が少なくなる。看護・介護のレベル→どれだけのことが自分で出来るかで、市から特老ホームへの入居費用負担減、こういうのを求めている人が多いのではないのでしょうか。私は、在宅医療には「ん一つ」と考えてしまう所です(30歳代、女性)</p>
<p>■経済的負担が大きくないのなら、在宅医療を選んでしまうのかもしれない(30歳代、女性)</p>
<p>■医師が十分に足りているであろう場合は、自宅での在宅医療も良いと思ひます。しかし現状はそうで</p>

<p>ないし、医療か介護を受ける側は経済的負担があるのは当然なのでそれに向けて個人でも備えるべき。なんでも社会全体でとなってしまうと何の努力もしない、ろくでもない人が増えてしまう（30歳代、女性）</p>
<p>■あまり知識はないが、医療費の問題や人員不足の問題もあり、今後在宅医療は必要なのではないかと思う（30歳代、女性）</p>
<p>■父親が難病で、自由に動けなかったため、在宅療養や訪問介護をお願いしていました。入院するにもお金がかかりますし、とてもお金がかかったと母親から聞きました。それを見ていたし、とにかくお金がかかり、母も父の介護をでとても大変な姿を見て、自分が介護される側になったら、周りの家族には本当に迷惑かけたくないなと思いました（30歳代、女性）</p>
<p>■私は精神科にお世話になっているので、高齢化によるサービス向上より精神障害者のサービス向上を願っている（30歳代、女性）</p>
<p>■結城市が在宅医療に力を入れていることを知りませんでした。子育てをしてる上でもっと自然に情報が入るとありがたいです。（30歳代、女性）</p>
<p>■在宅医療についての意見ではないのですが、このようなアンケートを実施する事は構いませんが、これにかかる郵送等の費用などをもっと市民の為に他に使ってもらいたいです。いつも窓口に行くとも職員の方が重い腰を上げるように対応して下さいます。待つ時間も長いためそのような時間を利用してアンケートの実施などでできるのではないかと思います。市民としての要望は職員の質の向上をお願いしたいです。口の中にガムを入れながらの対応、相手が若いというだけで敬語を使わないなどこれまでに対応されてきました。この機会ですので書かせていただきました。改善よろしく願います。（30歳代、女性）</p>
<p>■高齢化が進む今の世の中で、在宅医療なんて負担が大きすぎます。実際わが家に置き換えて考えてみると、夫婦二人、仕事をしていて日中家に誰もいないし、子どももまだまだ手がかかる。そこで祖母から介護の話が来たとして病院やホームにお世話になるしかないと考えます。夫婦二人、どちらかが仕事を失ったとしても金銭的に厳しい、共働き以外、生活していくすべがない我が家では、在宅医療を推し進められるよりも、医療、介護の費用負担を減らして頂ける方がありがたい。そのためにも看護師、介護士をもっと増やして、待遇を改善して金銭の心配なく、病院、施設をりようできるようにして下さい。万が一、私自身が後遺症、老衰等になったら病院で過ごす方がいいと思います。元気な家族、未来ある子供たちに介護なんて何も生まない負担を強いるのはかわいそう。高齢者がどんどん増えて行くのだから若い人たち、これからの人たちが希望を持って生きていける医療の在り方を期待したいです。（30歳代、女性）</p>
<p>■実際に最期を迎えるのは多くは病院だと思います。これからどんどん高齢化が進むにつれて在宅医療について考えなければならぬと思います。実現するためには医療従事者の確保が必要になり、待遇面の充実を図る、また最新の設備の導入なども視野に入れると良いと思います。（30歳代、女性）</p>
<p>■自宅で最期を迎えたいと思う人は多いと思うが実際には家族の負担等を考えてしまう。今後核家族が進んでいるため家族の介護力も低く在宅医療は難しい課題だと思う。（30歳代、女性）</p>
<p>■在宅医療についての知識はほとんどなく、難しい事はよくわかりませんが、問12の質問で昔のことを思い出しました。私は10代の頃に母を亡くして、最期は病院で、家族は誰も看取る事が出来ませんでした。深夜に病院から電話がかかって来て大急ぎで向かったあの日のことを忘れる事はできません。在宅医療が進めば、あの頃の母のように寂しい思いはさせず、私のように後悔する事も減るのではないかと思います。意見、要望というより、ただの感想となってしまいましたが、少しでも良い方向へ社会が動いて行けばと願います。（30歳代、女性）</p>
<p>■実際になってみないとわからないがいろいろな器具を付けられて生かされたくはない。子供に大変な思いをさせたくない。（30歳代、女性）</p>
<p>■自分がみる場合はいいがみてもらうのは気がひける。家族みんなの協力がないと、精神的にもつらくなる時があるし、おだやかな気持ち、笑顔で過ごせる日が少なくなり自滅しそう。自分が老いた時は自宅で過ごしたくてもわりきって施設入所した方がいいのかなと思う。（30歳代、女性）</p>
<p>■アンケートをしたことで、在宅医療を実現しようにも、トイレやお風呂場などの生活空間の環境を第一に考えないと、したくてもできないのかもしれないと消極的にならざるを得ない人が出ているのでは？と考えさせられた。在宅医療についての知識もほとんどない自分にとってみると、どんなことをして、どんなメリット、デメリットがあるかわからないが、もし自分が在宅医療が必要になったことを考えたら「利用したくない。」と率直に思った。多様面、社会全体で在宅医療が開始、継続しやすい体制を発展させていく必要性は十分高いと思われます。（30歳代、女性）</p>
<p>■正直、今の日本のままではその日その日を暮らしていくだけで精一杯です。日々、進行していく政治腐敗、社会腐敗。もう日本はどうしようもないです・・・この人(首相)はどこまで話が通じないんだ？とニュースが出るたびに情けなくなってしまいます。(すみません・・・話がそれました)。そんな悲惨な中で、在宅医療が経済的に受けやすくなれば心に余裕が出てくると思います。(いや・・・そんな悲惨な中で、在宅医療が経済的に受けやすくなるなんて夢のような話かもしれませんが・・・)。結城市民から選ばれた小林市長「今の安倍政権はどう思いますか？」ぜひとも在宅医療の推進を成功させてくださ</p>

<p>い。私たちの税金を正しくつかっていただきたいです。よろしく願いいたします。(30歳代、女性)</p> <p>■現在県外で訪看で仕事をしており、訪看を利用している人がたくさんいることが働いてみてわかった。まだまだ訪看の人数確保が難しい現状であり、もっと在宅医療を支える人たちのことも考えていき、住み慣れた場所で働きたいと思う。(30歳代、女性)</p> <p>■在宅医療の保障内容やサービスの内容が詳しくわからないので、皆に在宅医療について知ってもらう事が大切だと思う。例えば在宅医療についての情報をわかりやすくまとめたり、実際に在宅医療をしている人と家族からメリット、デメリットを聞いて市報にのせる。(在宅医療をしている患者さんとその家族のある日の1日をタイムスケジュールでのせることも、どういう生活をしているのかわかりやすいと思う。)また、市民の皆さんが在宅医療について知るためのセミナーを行うことも良いと思う。在宅医療の内容はどのようなものかしたり、色々な意見交換をすることが出来ると思う。あとは在宅医療で家に伺うヘルパーさんと一緒にお手伝いをするボランティアを募集する。実際に体験することで、色々なことを知れて、考えるきっかけになると思う。関心を持ってもらう為に、セミナーやボランティアに参加するとスタンプ1個をもらえてスタンプ5個で500円分の地域振興券と交換してもらえたりすることも良いと思った。家で過ごしながら医療を受けたいと思っている人が、金銭面や周りの人たちに気を遣うことなく受けられることができるようになれば良いと思う。そして、死ぬまで自分らしく楽しく生きる事ができて良い人生だったと感じられる事が一番大切だと思う。そのために在宅医療について理解できるように広めていくことも大切だと思う。(30歳代、女性)</p> <p>■今後、在宅医療、介護がもっと地域に広がっていくもの、広がる必要があると感じています。希望される方も多い中、対応できる施設が少ない事、情報も得にくい事が課題かと。どんな人もやはり家にいることは心が落ち着くものだと感じています。(30歳代、女性)</p> <p>■市内の田園地区においては、車移動ができない場合、医療へのアクセスは困難です。バスもなく、タクシーもありません。在宅もしくは施設に入所できなければ地域コミュニティもほぼ機能していない現状では、生死すら気づかれません。見守る側も高齢者です。若い人たちは仕事もないのでUターンはしてきません。在宅だけでなく、地域で包括的にネットワーク化をする必要があるのではないかと考えます。小学校の空き教室の活用で、予防医療や「歩いて行ける」ような所にアクセスポイントを作るなどの方が在宅の一步前で孤独死を止めるにも必要と思います。全世代型の対応をしないと結城市内の人口は減るばかりです。一緒に何とかしたいです。(30歳代、女性)</p> <p>■在宅医療は、家庭によってパターンが色々変わってくると思います。この症状なら、、このくらいなら、、この人数なら、、などといった大きなくくりだけで決めるのは本当にやめて頂きたい。介護は本当に大変です。でもその大変さは人によって大変度が変わってくるんです。少しの差、書類のぬけ道、知人関係の差などで、となりの家、近所での対応のちがいをなくして下さい。一家全員「うつ」になる責任を市は取れるんですか？(30歳代、女性)</p> <p>■少子高齢化の進む中、またグローバルな教育へシフトしているところでの在宅医療は、家族形態から考えて簡単には発展しない項目と思われれます。(30歳代、女性)</p> <p>■・在宅医療について、詳しく知らないのですが、機会があったら勉強してみたいと思います。①家庭(家族)の精神的、肉体的負担②在宅医療にかかる費用(老人ホーム等を利用した場合との比較)③在宅医療について国や地方ではどのような体制なのか④訪問する医師や看護師の頻度、何をどこまでしてくれるのか・在宅医療とは、どのような人が利用できるのか詳しく知りたくになりました。自分の中のイメージは、高齢者が主に利用するものだと思っていました。そうすると30代の自分の親も含めてまだ利用するのは早いのかとも思っていました。(30歳代、女性)</p> <p>■最近アンケートばかり取っていますが、市長・役所職員が「こうすべき」と思うことが無いからでしょうか？アンケートを取らずとも意見する市民はいますし、その意見を先に市政に反映させるべきではないでしょうか？こんなくだらないアンケートに税金使われていると思うと無駄としか思いません。(30歳代、女性)</p> <p>■祖母が元気なうちは在宅介護をしていましたが脳梗塞になり自分で歩けなくなってからは施設で安全に過ごしてもらっています。在宅医療は家族の負担と金銭面の負担が多いイメージがあり何かあったときすぐ対応できないのではないかと感じてしまいます。個人的には在宅医療よりは施設などの充実しに力を注いでほしいと思います。(30歳代、女性)</p> <p>■在宅医療が実現すれば素晴らしいとは思いますが過剰な医療が横行するのが怖い。市で支援をするなら優良な医師を市の責任で指名して実施等は難しいですかね。医師側だけでなく患者側も本当に在宅医療が必要な患者さんかを見極めて実施してほしい。(30歳代、女性)</p> <p>■調査の対象は40歳以上でもいいと思う。20代～30代には答えにくい質問だった。一人暮らしで在宅医療のまま亡くなるのは悲しいと思います。最期は誰かに看取られる社会であってほしいです。(30歳代、女性)</p> <p>■都市計画課への苦情。他の担当課で申し訳ありませんがこの場を借りて意見を書かせていただきます。新福寺の外灯等について夏、冬と日照時間が変化するので冬場の朝5時半になると外灯等がピタリ消されてしまい真っ暗です。何のための外灯ですか？我々の税金で電気代が支払われているのではないのですか？経費節減でやっているのであれば同じ時間で毎日消さなくても時間をずらして消したほう</p>

<p>がいいのではないのでしょうか？そのためには担当者が見て回ることが必要になると思いますが。同じ宇新福寺でも中には外灯等が消えていないところもあります。（30歳代、女性）</p>
<p>■在宅医療についてもっと知りたいと思います。知識がないと在宅医療が良いのか分かりません。家族にも生活があり、負担をかけたくありません。親が自分の負担になるのも嫌な気がします（40歳代、不明）</p>
<p>■現実問題として負担を強いられる家族の苦しみを見て来ました。保険制度の困難な現状も理解できるが生活の全てが崩壊する可能性もある。在宅医療に賛成する事はできない。（40歳代、不明）</p>
<p>■現状では家族への肉体的負担が気になり、在宅医療を選択しにくいと思っています。選択する場合特に、家族が不在時の緊急時のサポート体制が確立されていることが前提だと考えます（40歳代、男性）</p>
<p>■在宅医療を受けたくても受けられない人間がいることをご存知でしょうか？ほとんどの理由が金銭的な理由ではないのでしょうか。あなた方、地方公務員様方のような、年収600万以上の方々には、それを選択することも出来るでしょうが、選択することすら出来ない方が沢山います。小林市長は、公務員の人員削減をまずは実施下さい。市民に行動と実行を示してください。それからでないと市民の心は響きません（40歳代、男性）</p>
<p>■医療のレベルや家族が安心できる環境が成長でも出来れば良いと思うが、高齢化が進み、医療の水準が下がらないようにしてほしい。個人的には、自身で在宅は選択したくない。残された家族に住む家に個人の名残がある方が、未練が残りそうで、最期は病院か医療施設が望ましい（40歳代、男性）</p>
<p>■医療費がかかりすぎていると常に思っている。在宅医療を進めていくにしても医師や看護師の確保や人件費、出張等、沢山の課題があるでしょう。（社会保障の高騰など）だいたい、国の予算は防衛費にかかりすぎている！！改善求む（40歳代、男性）</p>
<p>■結城市の未来のためになるのなら、何でもやってください（40歳代、男性）</p>
<p>■社会資源を増やしていくしかないが…市民のニーズにマッチした方向性を決めて10年～20年くらいのスパンで充実させてほしいです。ただ近所では、独居老人や高齢の核家族が増えています（40歳代、男性）</p>
<p>■自分を育ててくれた祖父母、父母を家族が面倒を見る事は人として当然である。病院や老人ホームに預けたまま介護をしない社会はいくら仕事が大変だとしても考えなおす必要がある（40歳代、男性）</p>
<p>■問9の時や、問12の時、費用面で在宅医療だとどのくらいかかるのか、通院だとどのくらいかかるのか、入院だとどのくらいかかるのか、施設だとどのくらいかかるのか、など分からないので間に答えにくいです。問15は1つの選択肢として進めていただきたいです（40歳代、男性）</p>
<p>■・孤独死はしたくない。・子供がいない為親族が少ないため将来の不安がある。在宅医療をしたくても現実的に厳しい。土日等在宅医療について講演会、セミナー等情報発信を実施して欲しい。（40歳代、男性）</p>
<p>■以前、父が在宅医療で肺がんを看ていただいていたのですが、わからないことだらけで、何が大丈夫なのか「こんなになっていて、何で呼んでくれなかったの？」ナースの意味もわからず、家族みんな目いっぱいでした。できれば病院に入院してずっといきたいものですが実際は難しいのでしょうか。（40歳代、男性）</p>
<p>■内容がよくわからないので、ご意見、ご要望ありません。というか出来ません。そもそも在宅医療っていても出来るものと出来ないもの、やらなくてはいけないもの、実験的なものがあるので関わっている人の感覚や自治体の「力」や税金のあがりでわかるので納税者には言える事はないでしょうね。立派な市役所が出来るので「税金」の関係でアンケートを一応とるだけのパフォーマンスにすぎないです。時代に乗り遅れてるね！古いね！（40歳代、男性）</p>
<p>■正直なところ、詳しい事を良く知らないのだからこれからきちんと調べて行きたいと思います。（40歳代、男性）</p>
<p>■在宅医療とホーム入居または入院施設等色々あるが結局のところ自分がそこで老後を送る場合実際いくらになるのか、具体的な金額がまったくわからない。自宅なら安いのか、どのくらいリフォームしなければいけないのか。ホーム等に入ったら本当に家族の負担は減るのか(呼び出しや買い出し等)事例集など手記とか、きれいごとなく教えてもらえると準備しやすいと思いました。こちらこそ福祉に携わるすべての方に感謝いたします。ありがとう。（40歳代、男性）</p>
<p>■とても良い制度だと思いますが、夫婦2人の場合、一人が病気になり在宅医療となるともう一方の家族が在宅にお世話する必要が生じます。その際の収入源が少なくなり問題になると思います。緩和にしたいだけだと助成があると助かるように思います。（40歳代、男性）</p>
<p>■在宅医療ではなく専門の機関での療養が経済的負担にならないように誰でも利用できる方向へ推進すべきと考えます。一般的に共働きや独身が多い中、家族での介護は無理→仕事をしないと生活してい</p>

<p>けなくなるのが現実です。 (40歳代、男性)</p>
<p>■政治腐敗をきちんと正せば少しはまともになる。 (40歳代、男性)</p>
<p>■・在宅医療を「希望する」「希望しない」個人及び各家庭環境で様々と思います。・理想としては、社会、諸制度の中で両ケースを「安心」して「選択」できる体制が整えられれば良いと思います。・そのために非常に難しいとは思いますが個人及び各家庭環境に応じたケースバイケースの支援を出来る限りシミュレーションし「支援を受ける側」も「支援する側」も負担、不安を有し過ぎないハード、ソフトの整備を進めていけたら良いのだと思います。 (40歳代、男性)</p>
<p>■・子供がいないので、夫婦2人暮らしでは在宅医療は難しいと思う。不妊治療を15年行っても、子供に恵まれていません。金銭的負担をたくさんしています。(不妊治療は保険適用外なので)将来の事を考えると、老人ホームに入ることになるかと思いますが、保険適用外の不妊治療をしても子供に恵まれなかった夫婦には、金銭的補助制度(将来に)があるとよいなあと思います。・結城市の不妊治療助成金について対象が茨城県の不妊治療助成金の対象者になっていますが、回数の制限がないと思います。県の助成金の回数が超えてしまい、もう助成がうけられません。 (40歳代、男性)</p>
<p>■言葉は知っているが、実際に自分や家族が在宅医療を受けようと思った時に、どんな申請をしたらよいかまったく分かりません。病気になってからあわてて手続きする時に、家族が困らないように、分かりやすい冊子などがあれば、前もって知識が家族全員に得られているのでよいと思います。それから、病院でも在宅医療について声かけしてもらえると、自分はその対象になるんだとすぐに分かると思う。 (40歳代、男性)</p>
<p>■まだ40才で実感はないですが、パンフレットや良く分かる案内等ほしいです。 (40歳代、男性)</p>
<p>■住環境、経済的不安や仕事の面での支障があると思います。今後、かなり難しい問題を考えております。高齢者の一人暮らしが増える中生活面に於いても通院の交通手段も見直しが必要かもしれません。 (40歳代、男性)</p>
<p>■いざ、訪問看護、老人ホームを利用しようとなった時は、家族にとって一大事なので、すぐに利用できるような体制を作ってもらいたい。手続きしても、順番待ち、時間がかかるのでは、家族の負担が大きくなってしまいます (40歳代、女性)</p>
<p>■家族の負担も多くなると思うけれど、来ていただいて医療を受けられるならば、移動させる負担は減ると思う。ただ、大切な問題だと思うのでこのように思考して頂くとありがたいと思う (40歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療について詳しくないが、今、子供と老人の医療費がとてもかかりすぎだと思う。自分で払う分がないことをいいことに特に子供は少しの鼻水、咳で病院にかかり、ただで薬を処方される。将来医療費が足らなくなるのだから、もう少し介護を本当に必要としている人、本当に薬を必要としている人に医療費をあてるべき。少子化をとめるために子供たちの医療費をタダにするのは間違っている。タダだからと大したことないのに受診する親が本当に多い。医者も薬をすぐ出し過ぎ!!もっと介護、在宅医療にまわすべき!!本当に必要としている人に回してほしい (40歳代、女性)</p>
<p>■1人で独居になっても自宅に居たいと思う方は多いと思います。老人ホームにて働いていますが、多くのお年寄りは家に帰りたい想いを抱え、家族や特に”孫”の声を聞き生活して最終を迎えたいと考えています。排泄や障子の世話は働きながらは難しいのが現状で、老々介護となる方も出てくるため、施設はやはり必要です。家族に負担なく自宅で介護が受けられる環境が整備されたならば、皆が喜ばしいのではないかと思います。メリットデメリットあるでしょうが、最後をどこで迎えるかを選べる事が出来るならば、それは人として豊かさともいえるのではないのでしょうか。 (40歳代、女性)</p>
<p>■①在宅は重要だが、核家族では医療側の準備をしても、現実的には難しい。 ②市民の予防医学の知識を深める必要がある ③私立の病院やクリニックではなく、結城市としての看護ステーションが必要と考える (40歳代、女性)</p>
<p>■家族を在宅医療で看取りました。本人の希望もあり、家で在宅医療を受けました。1か月程度で亡くなってしまったのでお金の面などもさほどかからなかったのですが、もし長引いていたら…と考えると経済的にも負担だったろうと思います。病気などで在宅を希望する場合はそこに行くだけでも辛い状況でという方もいると思います。家で看取ってあげたい、という人も多いと思います。しかし、現実問題、家族の負担、経済的負担がかかってくると、自分の時に子供に負担はかけられないなと思ってしまいます。在宅医療に関してもっと支援があると良いのではないかと思います。 (40歳代、女性)</p>
<p>■これから少子高齢化がますます進んで行くと思います。誰もが安心して在宅医療が受けられるようになることを望みます。自助努力はもちろんする必要がありますが、公的な制度としてもっと整ってくると安心です (40歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療は家族の負担が結局大きくなる。老後は、病院か施設に長期に入居できる体制を整えてほしい(金銭的にも入りやすい施設)。家族が介護の犠牲にならないような社会にしていってほしい。結城</p>

市は病院も少ない (40歳代、女性)
■・知らないことが多いので、もっと広く公開すべき ・アンケートがどう生かされたのか公表してほしい (40歳代、女性)
■私は家族の負担にはなりたくない。お金で解決できるのならそれに越した事はない。また尊厳死を希望する。 (40歳代、女性)
■誰が面倒みるのか？嫁と言われるがどうして他人の親の面倒みるの？子がみればいい。私は親やましてや他人の親の面倒などみたくない。きれい事じゃない。いつも早く死んでくれたらと思ってる。自分も人に面倒かける前に死にたいと思ってる。老人ホームのお金ためてる。家でなんて仕事もあるしみれないみたくない！ (40歳代、女性)
■・最後は自宅で過ごしたいと思っても、家族の負担を考えると現実的ではない。・結城市は介護認定の基準が厳しいと聞いている。本人の状況、家族背景等を考慮し、各々の立場に立って考えて頂きたい。親の今後介護を考えると不安がある。お願い・・・先日、市役所に福祉の申請に行ったが窓口がわからず声をかけようとしたが、福祉のとなりの部署はスタッフ5～6人くらいで立ち話をしている、目が合ったにもかかわらず完全無視だった。福祉のスタッフが気づいてくれて申請はできたが、優先順位、市民ファーストではないのか・・・対応できないなら窓口周辺にいないでほしい。 (40歳代、女性)
■一人暮らしの老人がこれから増える一方なので最後を安心して迎えられる施設やアパートみたいなものをもっと増やした方がいいと思う。 (40歳代、女性)
■在宅医療は理想ですが、現実的にフォローしてくれる方が常にいるわけでないので、精神的負担がかなり大きい。(お互い)本人の意思を尊重したいが、周りまで崩れてしまうのはさげたい。24h看護してくれる施設にとってもありがたい。老々介護の場合、やむをえない。父の介護の為、仕事を辞め帰省したが父なき今、母の介護が必要になる前に準備できる事はしたい。結婚したくても1人にはできない。これから生まれてくる子供より今いるお年寄りを大切にしてほしい。 (40歳代、女性)
■在宅医療は高齢者に限らず必要とされている方々がいると思います。より社会に在宅医療について、どのように利用できるのかなど行政側より情報を発信してほしいです。ただ在宅医療が全ての方にとってベストであるとは限らないのでより多くの選択肢の中から希望する医療や介護を受けられる社会になってほしいとねがっています。 (40歳代、女性)
■在宅医療についての情報が少なすぎます。利用するに当たりどのくらいの費用がかかるのか心配や不安があります。在宅医療に限らず、色々な補助に関して小さい子供からお年寄りに優しくないと思います。マル福などで医者にかかったとき、無料になるなどその辺からやって欲しいです。 (40歳代、女性)
■高齢者の車の免許返納が騒がれているが、田舎は車がないと病院にも行けないのが現実。在宅医療が受けられたらそういう面ではいいと思う。けど在宅医療になると高齢者は外に出なくなる。外出する事が減少すると人と接しないので認知症の心配が考えられる。難しい問題ですね。 (40歳代、女性)
■・在宅医療を受けている方がいますが、何かあるたびに仕事中的子供が呼び出されているのを見ていたので、自分が受けたいか、家族でうけたいかと言われたら、やめてほしいのが本音です。自分の子供が在宅医療を受けるのであれば親としてみれますが、自分の親や夫の親を在宅ではやめてほしい。働いている私たちへの負担が多すぎる。動けなくなったら老人ホーム(やすい所)に入ってほしい。・医療が発展しすぎて最も最近思う事も。人生100年時代と言われるが、お金もなく働くこともできず、最後は体が不自由で・・・エンディングノートを市から全世帯に配っていただけると助かります。子供から親にはなかなか渡せなくて。 (40歳代、女性)
■・核家族が多い中、医療保険または介護保険による在宅医療サービスを利用して介護者の負担が大きすぎる。負担なく金銭的に大丈夫なら家にいたいのが難しそう。・高齢者に対して療養のためのサービス提供人員確保が現実的なのか不安あり。・訪問診療、看護のスタッフにも現時点で負担大。・現時的で60歳以上、介護保険未使用の方々がどのサービスに対していくら自己負担がかかるのか、その貯えがあるのかがご存じなのか心配。・我々の世代だと介護が必要になる前に生活費、年金の不安が先立つ。・小児の在宅医療的ケア児が増えている一方、十分なサービス、家族の睡眠が確保されずにいる。新生児救命率世界一位。救命された後、地域格差が大きすぎる。・福祉大の誘致が困難であればナース、ヘルパー、リハ職で結婚、出産による離職者を看護協会などと協力して無理なく活躍してもらおうシステム作りが必要だと思う。 (40歳代、女性)
■最近、入院、通院をしましたが、体が思うように動けない場合、通院はとても大変でした。一人で病院へ行くことも困難でしたし、待ち時間も長く座っていることも大変でした。そのため、老衰や後遺症がある方は病院へ行くことが体への負担になると思います。感染症も、不安になりますので、自宅で療養できるなら良いのではと考えます。 (40歳代、女性)
■現在は在宅医療を利用していないので、正直、現実的に考えることができません。ですがいつどう

<p>なってもいいように今から考え、準備をしていかなければならないのかなと思います。(40歳代、女性)</p>
<p>■訪問診断を行っている病院とか訪問ステーションがどこにあるかとかの一覧があるとわかりやすいと思います。24時間対応なのか往診のみ対応なのかも知りたいです。(40歳代、女性)</p>
<p>■入院と比べると訪問看護は経済的負担が大きいと思う。介護保険の申請もしておらず、入院中に認定を受けるのに時間もかかり、ベッド等、在宅酸素等の看護をすることは困難でした。共働きであると、不在の間、介護される人の排泄、食事介助を考えるとなかなか難しいと思います。実際、父が骨折で入院し、持病もあった為、今まで自立していた人が在宅に戻ることはできなかったです。私自身は、施設に勤務しており、色々な人に相談出来ましたが、急に退院となった時は非常に困ると思います。気軽に相談できるところがあるとは思いますが、知らない人は多いと思います。市役所に行って相談するのも、勇気がいると思われれます。在宅医療の1ヶ月の金額(ざっと計算し、家で負担も合わせ)と、病院入院では(後期高齢使用で)入院の方がずっとよいと経済的にも楽と思いました。しかし、本人は家に帰りたいです。少しでも在宅復帰ができるよう使いやすいうようにしていただけると助かります。長文で失礼しました。(40歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療や看護の他に訪問薬剤指導の話も広がれば意識が変わる方も多いと思う。(40歳代、女性)</p>
<p>■まったくの他人のことならば、良いと思う、と答えると思います。が、自分の両親や自分の身になって考えると、自宅介護は非常に負担が多いと思います。例えば両親の介護が本格的になれば仕事もやめなければならないし、そのまま年老いて、今度は自分が、となった時、子供のいない私はどうやって自宅医療を受けられるのでしょうか。医療機関の負担を減らすということは、各家庭の負担を大きく増やす、ということで、それならば増税や税金の使い方を見直し、労働者層を増やすことを考えた方がいいのではないですか？(40歳代、女性)</p>
<p>■収入のある人は何でも利用できると思いますが、そうでない人は、何もできないように感じます。家族の状況によっては、自分の希望どおりにはならないのが現実かも。(40歳代、女性)</p>
<p>■医療費の面で在宅医療がすすんでるのかと思いますが、看病する家族の負担がへるのもとても大切と思うので、それも叶うような結果が在宅であってほしい。いつも近くにいることで看病が大変になるなら病院でもよい。経済負担も大きな悩みです。(40歳代、女性)</p>
<p>■経済的な負担や家族に迷惑かからないような環境であれば在宅医療は安心して時間が過ごせるしぜひいい方向に進めてほしいです。(40歳代、女性)</p>
<p>■何をすることも経済的に余裕がある人だけのシステムなんだろうと思う。(40歳代、女性)</p>
<p>■予防や症状が安定している場合は在宅医療でもいいと思うが状態が安定していない場合は医師管理のもとが望ましいと思う。在宅医療をするためには家族の理解と協力体制知識などの指導が必要だと思う。また独居の方に関しては24時間の対応が必要な場合を考えた事業者の体制連携作りが必要だと思う。(40歳代、女性)</p>
<p>■私はデイサービスに勤務しております。介護職に就いて15年になりますが最期は特養等施設で迎えたいと思っています。家族と同居している為、生活保護を受けられず看取る気がないのでターミナル期なのにデイサービスに最期まで通わなくてはならないご利用者様を見たり特養は要介護3からなので経済面で行けるところがなく介護難民になったりと疑問があります。自分も老後が心配です。息子には面倒をかけたくないので。高額介護サービス費、特定入居者サービス費、社会福祉法人等により利用者減免制度はあるが困っている利用者はまだまだいます。(滞納者はつかえないし在宅の方に力を入れているが現状はどうですかね?)年金の額は私たちが受け取る時には減らされちゃうんですよね?尚更老後が心配ですよね?(40歳代、女性)</p>
<p>■同居する家庭が減っている中在宅での療養はとても困難だと思います。一緒に生活するメリット等があれば(税金等の軽減など)地元、実家の近く等に残る方もいるかもしれません。自宅で最期を迎えられるのが理想ですが困難であれば高齢者の集合住宅など福祉が充実した結城市であっていただきたいと思います。(40歳代、女性)</p>
<p>■東京にいる母が(90歳)介護施設に入所しています。歩行がままならず車いすで病気もなく歩けないだけです。姉の住むマンションに住んでましたが、ころんだりして骨折を何回かして24時間は見れないので入所に踏み切りました。時折、母がつぶやきます。「家に帰りたい」と……。思いは痛い程わかります。24時間は家族だけでは無理です。そのへんの体制を進めていただければと思います。(50歳代、不明)</p>
<p>■24時間、見守り出来ず、孤独死が多くなる。(50歳代、不明)</p>
<p>■在宅医療に関した施設がどこにあって、どのようなことをしているのか、費用はいくらくらいなのか、市報等で分かりやすく紹介していただけるとありがたいです。(50歳代、男性)</p>

■家族が負担だと思う (50 歳代、男性)
■死して屍拾う者なし (50 歳代、男性)
■自宅医療は理想であるが、実際に家族の負担が大きいと思う。家族の手を煩わせて気を遣うなら病院の方が気が楽のような気がするが、どちらがいいかは分からない (50 歳代、男性)
■医療や介護に従事する人材の確保は重要だと思う。金銭的な待遇改善だけでなく、職場環境、特に人間関係等にも注視した改善を行ってほしい (50 歳代、男性)
■70 歳ぐらいになったら定期的に訪問看護サービスが必要かの行政の調査訪問を実行してほしいです (50 歳代、男性)
■在宅医療で最期をと、希望したとしても現実見てもらえる家族がいるか分からない。その中で、医師や看護師の方の数が少ないと言われている状況であり難しいと思います。病院と自宅で治療が受けられるような体制が来ると良いです (50 歳代、男性)
■現在、体が動くため在宅医療について自分はあまり関係ないと思っているが、体調が悪くなり入院等があれば、深く考えるようになると思う。その時は家族と話し合う必要があると思う (50 歳代、男性)
■完全看護で快適な医療施設の充実を望みます (50 歳代、男性)
■在宅医療について知らない事がほとんどなどで市報等でより多く周知してほしい。 (50 歳代、男性)
■多様な方法の一つとして考えれば良いのではないかと。家族で看護、介護するのはかなり大変だと思う。家族の方の考え方が重要！ (50 歳代、男性)
■入院した方が良い場合もあるのではないかと思います。自分が健康なのであまり考えられないですが、家族に負担になったり、迷惑をかけてしまう場合もあるのかなと。自分が勉強不足なのでここまでの意見しか出せません。すみません。よろしくお願いします。 (50 歳代、男性)
■在宅医療は病気によって変わるので①各病気に分ける②病気の重度の優先順位を決める③なるべく細かく分けて必要なものは何か医療機関と相談して決めていく。 (50 歳代、男性)
■今後一人暮らし世帯が多くなっていくうえで在宅医療がどこまで出来るか疑問です。私も一人暮らしのため希望は最期まで自宅で過ごしたいと思いますが、現実を考えた場合、何らかの施設に入所せざるを得ないと思っています。 (50 歳代、男性)
■問 1 5 について、2025 年に向け国家の事業として在宅、地域等で生活支え合って生活できる環境となっているが、在宅診療や訪問看護等介護保険の在宅サービスを多く利用し生活する事は施設入所するより、逆に重い介護、看護する場合費用が多くなるのが現実で、在宅で生活する上でサービス利用するのにもう少し費用を下げなければ在宅で生活する場合は困難を極める。施設の場合は低所得であれば市の負担もあり、減税は適応になるが、在宅では国民年金にたよる場合は適応にならずサービス利用するにも負担は大きい。市として補助を行うにも財政的には困難と思える、国に働きかけるべきだと思う。逆に在宅サービス事業者に対し報酬を下げてしまえばサービスの質が落ちたり働き手も少なくなる。少子高齢化で働き手も少なくなる中、サービス事業に携わる職員に対しても一層手厚い労働環境を整えるべきだと思う。市の財源も厳しいと思うが、市の事業として在宅での看護、介護をもっと増やして頂ければ住みやすい市結城として人口も増え(少子化、子育ても含む)住民税もプラスになっていくのではないかと思います。 (50 歳代、男性)
■在宅で療養する際の看ってくれる人に対するケアもしっかりとしないといけない。負担はかなりのものとなる。金や時間、体力。 (50 歳代、男性)
■市役所からの情報が欲しいです。特に老人のいる家庭にはパンフレットなどを送ってほしいです。老人が居なくても情報をお願いします。 (50 歳代、男性)
■本意としては最後は家族に見守られながら自宅ですが、それでは家族への負担が大きい事を考えると自宅以外でと・・・かなりの葛藤があります。 (50 歳代、男性)
■医師不足の現状で在宅医療が可能とは思わない。 (50 歳代、男性)
■問 1 5 の自宅で療養を継続。実際に社会全体では無理でも地域で充実した体制が実現できることを望む。またサポートして頂くスタッフ等の教育も心配。 (50 歳代、男性)
■自分が住んでいる地域によって違おうとおもうからなかなかうまくいかないと思う。 (50 歳代、男性)
■もっと気軽に利用できればいいと思う (50 歳代、男性)
■在宅医療については、現在の(現時点での)体制では不足する部分がかかなり多く経済的支援、地域内での拠点などたくさん進めていかなくてはならない点が多すぎる。自分の年齢(50代)で考えても自分が近い将来対象となったとしても、はたして整っているかどうか。現時点では期待はしていない。

<p>整えるスピードを早めて、展開していつてもらいたい。(50歳代、男性)</p> <p>■・自宅での療養だと何かの時にすぐに対応できず手遅れになってしまうかもしれない。そうならなかったら後悔の気持ちをいつまでも引きずることになる。・病気の者が家に居ると、家の雰囲気が暗くなり、家族のトラブルが起こりやすくなる。子どもの療育にも支障が出てくる。・費用があまりかからない老人ホームの建設を進めていった方が良いと思う。(50歳代、男性)</p>
<p>■いろいろな支援がありますが、実際にその様な状態になった時は無理ではないかと思えます。(50歳代、男性)</p>
<p>■家族に対する支援(経済的・肉体的)制度の創造(50歳代、男性)</p>
<p>■医療、福祉にかかわるこれからの国、自治体の予算状況を考えてやむを得ないと思われる。しかし、国が共働きを推進し働き手を増やして各種制度の維持や新設を考えている反面景気がうへ向かない中で現役世代、特に子育て世代については共働きしないと生活できない家庭が多くなってきている。そのうえ、福祉、年金制度への掛け金拠出金は受給者が多い世代を比較し非常に高額になっており世代間の不均衡が顕著である。また、本制度で在宅のために仕事をやめることになると家族全体に影響を及ぼすことになる。医療、福祉、年金制度全体の見直しが必要である。(50歳代、男性)</p>
<p>■老々介護や孤独死といった言葉は毎日のように報道メディアに取り上げられている1つのテーマだと思います。最近も老年層の人口減少に歯止めが止まらないなど人が人を支える体制が出来ていない状況にあります。この現状を打破するためにも行政、医療、企業、個人等が連携できるような推進していかなくてはならないと思います。例えば一人暮らしの人に近所の方々が声をかけたりするなど一人を一人のままにさせないことが一番大事なことと思うのです。そこから、地区や地域でネットワークを作り誰もが把握できていることから始めないといいものはできても頓挫してしまいます。昔の隣組や回覧板というものはすばらしいものなので簡易にできることから進めていければうまく進めていけるように思います。今回のアンケートは一個人の意見ですが本当にこの主旨を理解して市行政が進めていただくことを切に願います。(50歳代、男性)</p>
<p>■私たちの親世代は在宅を望むことが多いと思う。その子世代の私たちが大変な思いをしているので、この世代にはそういう思いをさせられないとの思いが強い。良いことなのだと思うが、具合の程度によったり、家族の状況によっては無理があることもあると思う(50歳代、女性)</p>
<p>■住み慣れた家で家族に看取られ安らかに…は理想だが、現実問題、子供たちに迷惑をかけたくないと。長年親の介護をしてきて、大変さを身をもって体験したため、在宅を勧めるには、あらゆる体制や連携、サービスを整え元気なうちに家族と話し合えるよう、分かりやすい冊子作り、相談窓口アピールが必要かと思う。みんないざという時がこないこの問題は後回しにしてと思っています。(50歳代、女性)</p>
<p>■・本人は自宅で良いと思うが、家族の精神的な負担が大きいと思う。何かあったら家族が責められそうだし・私は子供が障害を持っているので自分のことより、子供のことが心配です。親がどうにかなったらと思うととても不安です。介護が必要になった親と、障害を持った子、家族と一緒に利用出来る施設があったら良いと思います(50歳代、女性)</p>
<p>■ある程度、自分ひとりで動けるうちは自宅に居たいと思う。それをサポートしてもらえ体制が整備されていれば助かります(50歳代、女性)</p>
<p>■現在でも少子化の上、若い世代は収入が得られない時代になっている。仕事を少しでも休めば給料や賞与に影響する。また、兄弟姉妹がいない、少ないのに自宅での看護や看取りなどどれだけ身体、経済の負担が大きい。「姨捨」と言い方は乱暴かもしれないが、超高齢のこの時代、そういう方対象の施設で安楽死や自然死を迎える体制があってもいいと思う。積極的な治療、延命を望まない老人やその老人を控えた家族はこれからも沢山いると思うし、そう思って割り切っていかなければ残された家族の生活の安定が成り立たない(50歳代、女性)</p>
<p>■税金を多額に使うのはやめてほしいが、一人ひとりがどんな医療体制があるのか知る事ができるようにしてほしい。インターネットで市のホームページを利用して市民が知れるようにしてほしい。お金の支払い等もキャッシュレスが当たり前の時代になり、紙を使わずにインターネットで市民に知らせるシステム作りは無駄な税金を使わずに市民に多くの情報を知らせることができる良い方法であり、今後大いに活用できる。防災システム同様メールやネットでいろいろな情報を提供してほしい。(50歳代、女性)</p>
<p>■自分の生活環境によると思いますが、一人暮らしが増加している中で在宅医療がどこまで個々の生活に踏み込めるかがカギになっていくように思います。2人暮らしで親と同居で親が介護が必要になった場合、訪問看護を受けるとなると健常者が時間を取られる事が多くなり、働くのも難しくなるような・・・となると経済的にも心配が増え、精神的にどんどん追い込まれていくような気がします。2人暮らしにも難しい面がたくさんあるように思います。(50歳代、女性)</p>

<p>■家族に負担がかかるのだったら施設を利用したい。(50歳代、女性)</p>
<p>■今姉が透析治療をしています。もう車の運転も免許返納した為、生活上は不便です。その他にも通院してるものもあるので、その都度送迎しなければなりません。毎日の事ではないので今の所なんとか母も私も見ていられるけど高齢の母が居なくなった後の事を考えると不安で仕方ありません。在宅でも病院でもまわりの人の負担が大きいのは仕方のない事かと思いますが、現実問題としてなかなか不安はなくなりません。そんな姉をみているので私は家族には負担をかけたくないと考えています。(50歳代、女性)</p>
<p>■核家族化が進んでいる今自宅で家族にみてもらうのは家族に大きな負担をしいるので介護施設でのお世話になる事が良いのかもと思いますが施設で十分な医療を受けるのも難しい事があるので難しい事だと思います。(本当に自分の家で最後を迎える事が一番の幸せですね)(50歳代、女性)</p>
<p>■今後、老人の単身家族、夫婦のだけの生活を送る人が多くなります。高齢者だけでは認知も下がり介護が難しくなると思います。ただ、子供たちに迷惑はかけたくもありません。施設は働き手が少なく増加することはないと考えます。ただ、病院で一人というのも寂しい。そんな人たちを集めて楽しい施設を作り、60歳以上の年金生活の方がボランティアで入って頂き今後自分たちが世話になるという巡回でやる施設でまとめて在宅医療を取り入れて欲しいです。(50歳代、女性)</p>
<p>■自分が自宅で最期を迎えるのは厳しいかもしれないけれど、もし両親がそれを望むなら協力したいと思います。特に話をした事はないので、エンディングノート等意志がわかるものがあると助かります(カード、覚書、アンケート等家族で話し合うきっかけでも良いかと思えます)映画「ぼけますから、よろしくお願ひします」をぜひアクロスで上映していただきたいです。(50歳代、女性)</p>
<p>■いろいろの経験ないので意見がみあたりません。(50歳代、女性)</p>
<p>■難しい問題で問12から考えさせられました。(50歳代、女性)</p>
<p>■このテーマは一番の問題として医師や看護師の不足。今後ますます一人住まいの数は増えて行きます。家族ではなくとも一人住まいの場合、グループで暮らせるようなことが普通になっていくことなども多様性の社会では必要ではないかと思えます。グループになればいろいろな部分でプラスが生まれると思えます。(50歳代、女性)</p>
<p>■自宅で療養が本当はすばらしいと思えます。理想だと思えます。しかし今の子供の数などを考えると非常に難しいと思う。小学校などの空き施設が今後多く出てくると思うので、そういう施設を利用して今後入院する人、看護などをしてくださる方が楽で楽しい施設ができるといいなあと思えます。先生方が個人宅をまわって見て頂くより負担が減るのではないのでしょうか。私は義兄(独身65歳)と一緒に暮らしているので今後介護が必要になったらなどとても不安があります。親や兄弟などたくさん不安を持っている方がいると思えます。そんな不安な気持ちを解消できる体制を考えて頂けるとありがたいです。このアンケートが役に立って頂けると嬉しいです。結城市が素敵な市になりますようよろしくお願ひいたします。(50歳代、女性)</p>
<p>■現在、義父が在宅医療を利用していますが、そこに至るまでがなかなか大変で、大きな病院で輸血のみしたいと希望し、残りは在宅でお願いしたいと思っていたら積極的、そうでもない、2つを併用できないから無理だと、大きな病院でさんざん言われてしまいました。ギリギリまでがんばって最後は家で・・・はなかなか道が一本通りません。医療の制度もなかなか手ごわいです。(50歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療を受ける際、家族の負担が大きく精神的フォローが重要だと思う。在宅医療を希望する本人、家族等の心身共に不安を取り除けるサポートが充実することを望みます。(50歳代、女性)</p>
<p>■延命医療も多くあるため、受け入れが出来ず在宅医療へと言われるが家族への負担は言葉に出来ないくらい辛い事だと思う。また介護者もつらい立場だと思う。簡単に在宅医療して下さいとは言えません。(50歳代、女性)</p>
<p>■結城市は介護申請等の申請を拒んだり申請しても対応がとても遅いとかんじましたし、他市の病院関係者や施設の方々からもそういう声を聞きます。(50歳代、女性)</p>
<p>■・祖母が2年間くらい寝たきりで家族がとても大変なのを見ていたので・・・・風呂も市の人と何人か入れてたり大変。紙おむつも毎日取り換えたりするのが見る人の負担になったりするから！・食事右のほうが動きずらかったため、おにぎりなどしか食べられなかった！・市のほうでベッドを借りていた！体を動かさないと体がかたまったり、動かしても痛いなどいうしあんまり動かさせなかった！・最後のほうは床擦れが出来たりしてひどいのを見ていたので・・・(50歳代、女性)</p>
<p>■現在、家族に在宅医療が必要な者がいないので考えた事がなかったが、高齢者と同居しているし、万が一自分や夫が必要になった時の事を考える良い機会になりました。(50歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療で親を見る事になると、仕事も辞めて自分の生活も時間の余裕もなくなって精神的にも不安です。今でも義母(90歳)が夜具合が悪くなる事が多く病院につれていく事が頻繁になっています。(週に2、3回くらい)(医師に会うと具合が良くなってしまふ)寝たきりでなくとも「在宅医療」を受け</p>

<p>られ介護サービスの人に相談したりアドバイスを聞いたり気軽にできるといいと思います。市立の介護老人医療センターができたらいいなと思っています。(居住年数によって負担額がちいさくなるような・・・) (50歳代、女性)</p>
<p>■本人は自宅が良いと思っても家族は老人ホームが負担がなくて良いと思う。この溝をうめられると良いと思う。(50歳代、女性)</p>
<p>■実際に直面しないと大変さがわからないと思います。(50歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療にかかる治療費を軽減して欲しい。(50歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療を行っている所は少ないので、もっともっと広めてほしい。(50歳代、女性)</p>
<p>■認知症以外の老衰等であれば、ある程度は在宅で療養できれば良いと思う。身近に認知症の者がいて、いかに目を離すことができないかを実感しているので別に考えるべき。(50歳代、女性)</p>
<p>■老衰は自然現象なので、自然に死ぬ権利を社会がみとめてくれる世の中になると良いと思う。一人で死ぬことイコール悲劇でない人もいるかもしれない。(50歳代、女性)</p>
<p>■・多少なりとも、家族がかかわっていかないと在宅医療は無理だと思います。・身近にフルで訪問看護サービスを使って親をみとった人がいますが、大変そうでした。・自宅が有りの介護付シェアハウスのようなものがあればと思います。お互いにささえあって生活できるような。(50歳代、女性)</p>
<p>■在宅で最期をむかえるということは理想ですが現実的には無理だと思います。子供が1～2人ぐらいのなかで、在宅で看取るということは、介護する人にとってとっても大きな負担だと思います。私は50代で両親もおりますが、介護することを考えるととても負担が大きいです。両親の意見を尊重して、これからおとずれるであろう介護を、いかに良き人生だったと思ってもらえるようなものになればよいと思います。自分の老後については子供に迷惑をかけることなく最期をむかえたいです。子供には子供の生活があるし、家庭をもって暮らしていくので、絶対に迷惑はかけたくないと思います。(50歳代、女性)</p>
<p>■家族の死を受け入れられない。家族では在宅で死を見ていられるわけがない。絶対に現状では不可能な状況ではないでしょうか？(50歳代、女性)</p>
<p>■病院は病気を治す場所。高齢で治療すること。幸い検査に耐えられる人は普通に入院して退院できる。老衰の年寄りはおもひも入院させてくれないのだから自分で療養できるようにすることが当たり前。私の親は90歳になる母親を80歳後半の父親が面倒を見ています。なんで独居の老寄は(元気な一人暮らしでも)緊急なブザーが設置されたりおもち代などなのに(保護されている)たぶん私の父親が倒れたら2人で死んでしまうのだなといつも考えています。父は耳が遠いので電話にもでないし。一人暮らしの年寄りより大変な生活をしている2人暮らしの年寄りがいる。無視しないでください。(50歳代、女性)</p>
<p>■現在家族が在宅療養利用中で私は主介護者ではありませんが週末に介護を交代するなどして仕事と両立もできています。自分がどのような要介護状態になるかわかりませんが同居家族がいない場合も考えられますが少なくとも自分に判断力があり気力が続くうちは自宅で生活したいと思います。(50歳代、女性)</p>
<p>■同居の父が通所介護を利用しているが在宅医療の利用は難しいかもしれない。自宅が狭く治療など受けるのも大変。(50歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療についてもっとアピールしてほしい。この先独居老人や老々介護が増加していくと思います。長期入院や施設にも入りやすく在宅にならざるをえないと思っています。本人を取り巻く環境が充実して不安がなく安心して生活していけたらいいと思います。環境、お金 QOL の向上安心安全を望みます。(50歳代、女性)</p>
<p>■去年実家の母を亡くした。要介護5の状態でもデイケアに通い毎日ヘルパーさんに来てもらい父と2人生活していた。もちろん、毎日のように手伝いに行き毎食のミキサー食も作り各関係機関との連携には十分配慮した。しかし、いざ入院、退院を繰り返すようになると果たしてこれが母の望む医療なのかは本当に悩んだが実生活に追われていて自ら調べたりもせず迷うほどの情報はなかった。最期に退院できた時初めて在宅医療について Msw から案内されたがそのメリットデメリットは母にとってどうかかわからなかった。亡くなった後そのことについてドクター、ナース等に聞いたならそれを利用してあげればいざという時この病院へすぐ入院できたのにねと言われた。結論、在宅医療の推進と広く市民に知らせ活用できる方法を検討なおこれらには意思決定支援のできるスタッフの養成が必要。(50歳代、女性)</p>
<p>■家族や愛犬の側で看取られたいと思いますが 1. 家族に大きな負担がかかるのでは… 2. 訪問診療体制があるのかどうか 3. 費用がどうなのか… と色々考えてしまいます (60歳代、不明)</p>
<p>■在宅医療についてほとんど知らないんですが、老人ホームで殺されたくないし、費用も大きいですね。それと葬儀にかかる金額もビックリしました。直葬でさえなんだかんだで¥1,000,000 ぐらいだと言われました。もっと安価で面倒を見てくれる所はないんでしょうか？ (60歳代、不明)</p>

<p>■夫婦2人の生活で妻が療養が必要になった場合は、自宅での療養は夫に負担がかかり、大変なことと思います。逆に夫が自宅療養が必要になった場合は妻の健康状態にもよりますがある程度は家事もできると思いますし可能かと思えます。(60歳代、不明)</p>
<p>■病院に入院して最後を迎えることは今後ますます難しくなっていくことと思っています。家族負担を思うと本人が自宅で過ごしたいと言っても叶えるのは、仕事を持っている家族だと厳しいと思います。また逆に経済的な負担を考えると在宅医療の方が本人、家族の為にも良いのかと迷うところです。これからは在宅医療へシフトを切り替えていかなければならない時期にきているのではないかと考えています。(60歳代、不明)</p>
<p>■理想ではあるが、実際軽度の認知症や歩行困難の義母を介護して大変なことだと痛感しました。難しい事だと思います。努力なさっている方、先生は素晴らしいことです。(60歳代、不明)</p>
<p>■老人や病人にとってよりよい社会体制になるようよろしくお願いいたします。(60歳代、不明)</p>
<p>■週一回とか家庭訪問していただけたら本当に先の事はわかりませんが今の所二人でいますが、いつ何起きるかわかりませんが優しくあたたかく安否を確認していただけたら。今の所孫の面倒みて連絡とる事はできますが、きっとそのような制度はあると思えますがより一層市民のためにご活動をご支援希望します。(60歳代、不明)</p>
<p>■現時点では収入が少ないので考えられません。収入の少ない家計については無償化を希望します。(60歳代、不明)</p>
<p>■一人暮らしのため住宅医療を受けるにも難しいのでは？どこまで面倒を看てくれるのか？一日の面倒を看てくれる時間が限られているので一人暮らしの人は無理ではないでしょうか？(60歳代、不明)</p>
<p>■父を在宅で介護し、家族揃って看取ることが出来、大変満足している。その際、訪問医療も看護も介護もサービスを受けさせていただき、大変感謝しております。母は持病のせいで自宅介護の後入院せざるをえなく、私としては心残りもありますが、医療の度合いにより自宅療養が出来ない場合もあるので仕方ないと思います。この選択には仕事が一番ウエイトを占め、さらに精神的な負担が身体の負担より多かった気がします。行政の皆様には介護サービスの提示と合わせて、介護する家族に対するサービスへの説明、時には高齢者には看護師より介護士の助けややさしさが重要な気がします。出来るだけサービスの内容を知ってもらい、沢山利用出来るように。家族が優しく高齢者と接することが出来るように願っております。介護の体験は私の財産ですし、私の姿を遠くからでも見ていた子供達へも伝わっていく何かがあったと思っています。(60歳代、不明)</p>
<p>■新聞テレビ等で放送されている通り、老々介護になりつつある自分達の行く末を考えるとやはり病院等でお世話になった方が得策かと思われます。その方向に社会が動いていくことを願います。(60歳代、不明)</p>
<p>■自宅で死にたいのは理想ですが現実にはなかなか無理のような気がします。父は病気、母は施設でみとり、(家に帰りたい)の希望はかなわなかったです。結城市が老後、おだやかにすごせる市になると良いと思います。(60歳代、不明)</p>
<p>■定期的に医者への往診がしてもらえらるような環境が出来れば良いと思う。(60歳代、不明)</p>
<p>■要介護5の家族がいます。通院し、薬を服用し、時にデイサービスを利用する。以前に、訪問看護を利用したこともあるが、約束(予定)した日に連絡もなしに来なかつたり、来る時でも、1~2時間遅れたり、とても利用者の事を考えているものとは考えられず、やめました。そんな信頼できないサービスで在宅医療をどう考えているかのアンケートは無意味としか思えません。行政として現状を充分把握の上、身のある施策を実施して下さい。(60歳代、男性)</p>
<p>■問い合わせの件、全て未曾有の超少子高齢化社会の産物。年金、社会保険のツケを個人、各家庭へツケ回す。核家族化の中で、看取り手、看病介護者望めない。家族に迷惑カケラレナイ。貧富格差、ますます開き、病院も行けずホームも入所出来ず、家族、家庭、自宅療養も整わず。究極待つのは、安楽死の合法化、野垂れ死に。(60歳代、男性)</p>
<p>■世話をする人がいる家は、出来るがいない人はできないでしょう。結城市の助成状況ではどこまで出来るのでしょうか。世間で他の自治体や知識人の人たちが常識的に語っていることが、どの地域・どの自治体にあてはまるとは思っていない。無い袖は振れないということわざがあります。財政の豊かな所は何人にでも手を出していくのでしょうか、結城市はあれもこれも全部出来るのでしょうか。よく考えて頂きたいと思います。若い人にこれから先、負担をかけるのは出来るだけ控えたいと思いませんか。(60歳代、男性)</p>
<p>■まだ元気で病院にも行かないので在宅医療や訪問看護等の知識がない。関心が薄い。(60歳代、男性)</p>
<p>■現在、66才、1人暮らし。10年後にならないと具体的に実問が分からないのが正直な所です。(60歳代、男性)</p>

<p>■・もっと多くの情報がほしい。(情報不足)・経済的不安・一人暮らしの老人または高齢者に対するの対応。(60歳代、男性)</p>
<p>■今は子供も夫婦共稼ぎになり、夫婦で暮らしているときは在宅療養でもいいが、片方がなくなり、一人になった場合は施設に入らざるを得ないのではないかと思う。(60歳代、男性)</p>
<p>■実感がないので、具体的な意見、要望なし。情報収集もおろそか。今後情報収集が課題か。(60歳代、男性)</p>
<p>■現在は健康だが、体が不自由になったり家族構成が変わった場合は考えが変わるかもしれない。(60歳代、男性)</p>
<p>■・在宅医療は表面的にはいいことだと思うが、実際介護をしている人にとってはとても負担！そして不安。難しい問題(あと何年と先が見えない)・市からの情報もケアマネジャーから聞くくらいで他では入ってこない。(60歳代、男性)</p>
<p>■今、これからも核家族化が進み、自宅という時代ではない。保健施設の充実を進めるべきだと思います。(60歳代、男性)</p>
<p>■往診体制を強化するべきであり、医師の増員を希望する。当市における医療体制を強化すべき。(60歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療のメリットをPRする場を多く設定し、数多くの人理解して実施する人が多くなるように市としても取り組んで下さい。(60歳代、男性)</p>
<p>■家でという理想はあるが、家族の負担が大きく(子供が少なくなり)介助者の仕事もできなくなるなど難しい介護施設の費用の問題(高額)死ぬまで元気にと願うだけです。(60歳代、男性)</p>
<p>■いずれにしても現在の医療費は高過ぎますので、この点の改正(安く医療機関等にかかるよう)を国にお願いしたい。(60歳代、男性)</p>
<p>■私は実父を8年6ヶ月、実母を12年、妻とともに看護しましたが、とても妻の負担が大きく、体をこわしてしまいました。私のところのような家庭では金銭的負担が大きく、実母は最後まで家で看護しました。私たちは年金と息子がいてくれるお金だけで暮らしているので、とても厳しいです。私たちとしては、息子が結婚をしたら二人だけで暮らし、できるかぎり子供に負担をかけず、二人でなんとかして暮らしたいと思っています。ガンなどとなったら手術を受けることなく、自宅で死んでいくのをお互いに待とうと思っています。(60歳代、男性)</p>
<p>■長寿社会は内容があつての話、生きているだけの長寿はどうかと思う。(60歳代、男性)</p>
<p>■少子高齢化社会のうえでは、老々介護になり、あまりにも家族の負担になり過ぎると思われま。私自身も、父、母の介護を経験しましたが、夜も満足に寝られず、生活にかなりの支障をきたしました。介護に疲れ、心中などの事件が発生していますが、私自身も精神的に疲れた時はそのような気持ちになったこともあり、一線を越えてしまいそうになったこともありました。在宅介護は、今の体制では家族の負担が強すぎると思われま。(60歳代、男性)</p>
<p>■・理想ではあるが、少子高齢、経済面、家族への負担等を考える時、難しい問題だと考える。・上記について、公的機関が対応する事も人手不足、予算不足、設備の不十分さ等もあり、難しいが公的私的な施設を利用するしか方法はないように考える(個人負担が大きい面もあるので全ての人が利用できるとも限らない)(60歳代、男性)</p>
<p>■これからますます高齢化時代になっていく中で自宅、病院、施設など個人的要望はさまざまと思われる。その個人的要望を何の問題もなく選べるよう充実してほしい。(病院、施設など)やはり個人的に金銭的負担を少しでも減らすように政策の方で何とかしてもらいたい。(60歳代、男性)</p>
<p>■個人個人いろいろな選択できる環境を整備して下さい。(60歳代、男性)</p>
<p>■高所得者の方は金銭的問題はないと思うが、年金の少ない者にとってはいろいろな問題が出てくると思う。(60歳代、男性)</p>
<p>■近くに医療機関があれば良いが遠くだと考えてます。(60歳代、男性)</p>
<p>■手足が多少不自由でも自分で食事、排泄が出来る間は在宅がベターと思う。介護レベルが上がって身動きできなければ施設に行くのが良いと思う。(60歳代、男性)</p>
<p>■現在母91歳を妻が介護していて、とても大変。デイサービスを利用してとても助かりますが、行く準備その他、いろいろ大変な所もあり、家族の時間なども自由が束縛されてしまいます。これからはますます長生き、親子、嫁姑一緒に老人ホームに行く事になるかも。入所できる所をもっと増やしてもらいたいと思います。(老々介護とてもつらいです。)このようなアンケート調査を実施して頂きありがとうございます。(60歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療について①体が動く(自分で移動できる)時は在宅を希望したい②寝たきり状態になると家族の負担が多すぎ、希望しない。上記等、実際に経験してないので不安がある。また経済的、少子化、環境が第一の問題だと思う。(60歳代、男性)</p>

<p>■多種多様な意見があると思いますが現在の医療については過剰の気がしてならない。自然体で見守られないものか。(60歳代、男性)</p>
<p>■今は主人と私とCMTという障害を持った長男がいます。まだ具体的にこの先どうしたら良いのかまだ考えていませんが、長男がこの先、病気が進んで行った時、私と長男二人になった時のことを考えるととても不安です。今はまだ会社へ行っていますが病気が進むと車イスになると言われています。そうなった時の事を考えると在宅医療とか色々なことを知らなくてはいけないと考えています。(60歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療の体制を整えることが大切だが、何が何でも在宅でということではなく、選択肢のひとつとして充実してもらえるとありがたい。いずれ在宅で最期を迎えることが当たり前の社会が来ると思うが、今は過渡期なので、入所や入院を選択した患者や家族が悪者扱いされることのないように進めてほしい。本人だけでなく、看護、介護する家族の意識と覚悟も変わっていく必要を感じます。家族と勤務先の理解も必要と感じます。社会が一緒に変わっていきけることを望みます(60歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療とは別ですが、病気を防ぐ予防策をお願いします。50才、55才、60才、65才…と節目節目に人間ドックを実施して頂ければと思います。寝たきりを防ぐことをまず考えるべきです。町内では、路上駐車のため、救急車が入ってこられません。取締まり強化をお願いします(60歳代、女性)</p>
<p>■家族構成にても違いますが、9割近く在宅で老後の生活を送りたいと思われているのでは？とおっしゃっています。また、年金支給額も減り、年金生活の中では、在宅での介護支援、在宅医療の出費は多額にてどのサービスを減らすか、個人の生活力等でずいぶん差があります。終末期を自宅で…を希望されている方が、大半を占める高齢者の心情。もう少し安心し生活を送れる在宅医療を求めています(60歳代、女性)</p>
<p>■まだ具体的に考えたことがなかったのでこれを機に考えてみたいと思います。在宅医療が出来る事を望みます(60歳代、女性)</p>
<p>■私の住まいは本町なのですが、在宅医療の事は以前、出前講座で話を聞きとても皆さん興味を示していました。私も出来れば自宅で最後までと思いますが、町内は夫婦とか一人暮らしが多くなかなか難しいかなと思います。在宅医療の以前の問題で日常、車がないと生活が思うように出来ないと言っています。先日、会長さんが陳情に長寿福祉課に行ってお話を伺いましたが、あまり良い話ではなかったとのこと。バス運行の件、宜しくお願い致します。(60歳代、女性)</p>
<p>■自宅をバリアフリーにするための改築等の費用の助成金等があると在宅も可能かも？(60歳代、女性)</p>
<p>■30年ほど前に家を建てましたが、普通の家です。バリアフリーにしておけばよかったなと年をとった今、思います(60歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療といっても家で介護をするのは並大抵ではないと思います。やはり施設などで専門の方による介護を受けた方が、良いと思います。実際、老々介護などで悲しい事件も発生しております(60歳代、女性)</p>
<p>■自宅で療養できることは幸せなことだと思います。ただ家族の負担を考えると難しいことだと思う(60歳代、女性)</p>
<p>■70歳ごろになりますと、行く末の話になる事が多くなります。家族や子供たちに迷惑をかけたくない、見込みがないなら無駄な延命治療はしたくないなど、思っている人が多くいる事も事実ではないでしょうか(60歳代、女性)</p>
<p>■自宅で療養を希望しながらも、生活環境が多様化している時代なので難しい課題です。家族もそうしてあげたいと思いつつもなかなか希望に添えない事に悩んだりもするでしょう。家族で最後の時間を過ごせる看取りの家に近いものがあればと思ったりもします(60歳代、女性)</p>
<p>■約10年前、父が在宅医療を利用しましたが、思いのほか、在宅医療費が「高い」と思ったことがあります。ある程度、自由に自宅で過ごしながら病気と向き合えるのが理想だと思うのですが、一緒に生活していない子供たちの生活の場まで、迷惑をかけるのは無理だと思います。今後、子供たち特に女性の出産年齢は上がる、定年の年齢も65才、そして長い目で見ていると70歳まで就労する時代に家族に負担をかけることは出来ないと思います。また、在宅医療費も高い場合、年金が十分でない人は、果たして利用出来るのでしょうか。在宅医療とは違うのですが、結城市の介護認定は実情に合っていないと思います。認知症で大きな病気が有っても何とか歩けると言う、1もしくは良くて2の状態です。それを見守る周囲の家族は本当に大変です。これからますます”老人“と言われる人が増えることは承知していますが、最期は1人のその人らしく最期を迎えられる世の中になる事を願います。(60歳代、女性)</p>
<p>■・自宅で父親を看取りました。本人の意向でしたのでそれに沿いたいと在宅看護を選択しました。ただ、がんであったため先行の見通しが持てたからです。認知症や寝たきりで終わりの見えない看護で</p>

<p>あったら出来たかどうかは…？多分最後まで出来なかったと思います。 ・それぞれの症状、病状によって療養がいいのか在宅がいいのか、可能なのか。看護する方の負担と共にそのケースごとに選択するようかと思えます。 ・在宅介護にしても外で療養するにしても、ひところよりは（昭和の頃に比べたら）随分と様変わりしています。色々な事案や見識等々により今では思いもよらないような療養の形や、最期の迎え方がかんがえて、このような事業に安心の形が展開されていくことを切に願っています（60歳代、女性）</p>
<p>■これからの在宅介護は、とても難しいと思います。子供たちは地元に残っていないし、老人が増えていますし、病院は2~3ヶ月で出なければならずとても困難な時代が来るような気がします。医療関係も赤字とニュースなどで聞いていますし、いつかは負担も増えて来るのではないのでしょうか？生活をしにくくなると思います。（60歳代、女性）</p>
<p>■今のところまだよくわかりませんが、とりあえず元気でいられるように自己管理していきたいと思えます。（60歳代、女性）</p>
<p>■夫婦2人の生活ならどちらかが見て訪問看護サービスを受ければ良いと思うが、1人になった時は家の人の負担になるので入院できればよいと思う。（60歳代、女性）</p>
<p>■在宅医療システムを知らない方がまだたくさんいらっしゃると思います。「他人の手をかりずに」などと思わず大切な家族の身体の事を思えば利用して頂き、皆さんの笑顔にかこまれて過ごしてほしいと思っています。（60歳代、女性）</p>
<p>■今60代前半なので在宅医療の具体的な内容が全くわからないし最後を迎える場所までまだ考えていません。もっと年齢の上になってからこういうアンケートを送るべきだと思います。（60歳代、女性）</p>
<p>■在宅医療の方が本人も家族も良いと思いますが検査とかもあるし調子が悪いと大体入院が多いように思います。往診してくれる医師はいるのでしょうか？また若い人々はどこの家でも勤めの人ほとんどです。患者1人にしてはおけませんよね。やはり在宅医療は無理にも思います。（60歳代、女性）</p>
<p>■長期となるのですが、その期間によって考え方が違って来るのではないですか。親を10年間(脳出血による半身不随)見ましたが在宅は大変です。（60歳代、女性）</p>
<p>■在宅医療についてまだまだ知らない方が多いと思うので宣伝が大切だと思います。（60歳代、女性）</p>
<p>■在宅医療についての結城市の情報を市民によりわかりやすく発信していただきたいと思えます。誰もが安心して自分の最期を迎えたいと願っている事は確かなことではないでしょうか。高齢者社会を目前にして早急な対策、施策づくりをお願いいたします。（60歳代、女性）</p>
<p>■在宅医療についてはとてもいいと思うがそれが理想。でも一方家族に迷惑をかけずに天国に行きたい！だからといってホームへ入れれば長生きしてこれもまた迷惑な話だ。娘、子供に手をわずらわせずに80歳くらいで天国に行けたら良いと思う。(その年齢までは自分のからだをケアして1~2日寝たきりですぐにお迎えに・・・)（60歳代、女性）</p>
<p>■将来介護が必要になった時在宅医療が可能ならそうしたいと思う気持ちはありますが、現在近所には空き家も多く交流の場となるような公園すらなく(小田林本田地区)在宅には不安があります。在宅医療には心のケアの面も大きいと思えます。そうなる前の市内の状況にも目を向けて頂けたらと思えます。（60歳代、女性）</p>
<p>■自宅でなんとか夫は7年以上私は6年近く、母を見てきました。お医者さんや看護師さんの訪問を受けながら自宅でもう少し見てあげることが出来たらと思いました。(今はけがをしてしまったので、自力で歩行が出来ません。車いすの生活になってしまっていて施設に入所しています)これからの人たちの為にも在宅医療制度を実現させてください。かかりつけの先生に「母が動けなくなったらどうしたらいいですか？」と聞きましたら「私が自宅へ行きます」と言ってくれました。とっても嬉しかった。（60歳代、女性）</p>
<p>■親が在宅医療を経験した者としてとても良かったので在宅医療、介護サービス事業所などに力を入れてもらいたいと思えます。（60歳代、女性）</p>
<p>■家族と同居でないので子供たちに負担をかけてしまう為に無理だと思う。（60歳代、女性）</p>
<p>■年金で介護保険等が引かれているわりには実際には入れなかったり程度によって順番をまっとなかなか入れないのが現実です。少しでも困っている家族や人たちが入れるよう医療の改善をお願いしたいです。（60歳代、女性）</p>
<p>■どんな人生の最後を迎えるかは死をどうとらえ、どう向き合っていくか人としてのテーマであり、誰もが考える事です。私は今年主人が仕事に倒れ、心停止の状態から周囲の方々の助けによりAEDと蘇生をして頂いて、尊い命を救って頂くという経験を致しました。入院している家族を支える病院通いは精神的にも肉体的にも大変だった記憶があります。長期となれば重くのしかかってくることは理解</p>

できます。わが家は寝たきりではなかったので、介護の方々のご苦労はわかりませんが社会でバックアップ体制が整えば在宅医療にしたいと考えています。私自身の場合も出来る事なら最期まで家で過ごしたいと思っています。今は亡き母が病院に入院していた時「家に帰りたい」という願いを病気悪化から叶えてあげることができませんでした。ならば安心して晩年を家で迎えられる体制、医療機関、施設、役所介護者等が連携していけたらと考えています。介護する人の負担をデイサービスや訪問看護などで軽減できれば可能だと思います。高齢化社会です。在宅医療は必要であり、家族にも良き教育の場になると考えています。種々のサービスを利用させていただきます。(60歳代、女性)

■核家族化が進む中で、在宅医療は大変な事だと思います。まわりを見ても老夫婦2人家族という家が大半でお世話する人も高齢なので、心配になります。得る情報も少なくまだ自分のことととらえてないので・・・。人とのコミュニケーションが少なくなるなかで、どういう手段で情報を手に入れたらいいか？市報やお知らせは隅々まで読みますが働いているので勉強会みたいなものには土日でないとお席できないし、歳が行くと車に乗らないし近くでないに行けない・・・難しい。(60歳代、女性)

■家族の気持ちが大事だと思う。本人が在宅を希望しても家族が手をかける気持ちがなければ実現できないのが今の現状だと思う。長男(59歳)は仕事をしているのでお嫁さん(62歳)にすべてをまかせるといっている。私の実家(小山)の父(83歳)が4か月の病院生活後最後の治療をおえて家に退院するかどうかと聞いた時に、父は家でいろいろなサービスを受けながら日常生活の中でリハビリをしたいと申し出て「家族の意見をききましょう」ということになりお嫁さんの「孫をみなければならないから私はみきれないよ!」という一言で病院にずーっといることが一番ということになり本人の意思は全然聞き入れてもらえないということになった。(お嫁さんは月に2回お金を支払いにいくだけ、母は毎日歩いて顔を見に行っている)現在父は家の近くにある療養型の病院に転院して入院中。母(83歳)が「めんどろみられる」といっているが「帰ってこられたら私たちが大変だ」とお嫁さんがいっているし、最近になって両親の年金や預金もひとりで管理して自分の口座に移しかえている(これはケアマネジャーさんとの相談でこうしたらしい)ケアマネジャーさんは介護者として申請しているお嫁さんが一番大事でお嫁さんが倒れたら大変だからという、お嫁さんの大袈裟な愚痴をうのみにしてその他の人は口を出さない方がいいという感じ。(人権無視に驚いている)(60歳代、女性)

■在宅医療が受けられることは家族(介護する人)がいる人だと思います。自分の年代では子供に介護してもらおうという事は難しいと思います。なぜなら今は夫婦2人で働いていても大変な時代です。現在有料の施設に入所できるのは厚生年金に加入をしていた人。貯金がある人で国民年金を積んでいた人はとても入所は出来ないと思います(月額14~15万かかるから・・・)仕事を辞めて年金だけの生活になり身体もおとろえてきて不安が多くなります。わが家でも父が在宅医療を受けていました。母が毎日付き添っていたので助かりました。最後は病院で亡くなりましたが(在宅医療を受けられるのは病人がある程度元気なうちです)最期を自宅で迎えることが出来る人は幸福な人だと思います。誰でもそうなればいいと思うのですが今は子供も少なく生活が核家族になってしまっているから・・・誰でも入所できる施設(年金で入所できる)があればいいと思います。(60歳代、女性)

■訪問看護ステーションについての知識がなかったことに気づきました。市報等での紹介を何回もくりかえしてください。これまでよりは記事にも注意してみるよう努めます。アンケートの対象になったことによって、より意識を高く持って、行政に協力していきたいと思いました。(60歳代、女性)

■在宅医療には(世の中の出来事のほとんどがそうであるように)メリット、デメリットがあると思います。住み慣れた家で、聞きなれた生活音を聞き、見慣れた景色を目にしながら季節を感じ、医療を受け最後の時をむかえる、理想ではありますが、これには家族の肉体的、精神的、経済的負担が大きいと思います。今の社会体制、医療体制では在宅における緊急時の対応がスムーズにできているとは思えません。両親の最後を病院で看取った身としては、自分の家で最後をむかえさせてあげたかったという思いはありますが、反面、病院で良かったという思いがあるのも正直な気持ちです。病院ならば急変時にナースコールですぐに医療者が対応してくださる、在宅の場合、連絡できたとしてもたぶん30~40分後の到着になると思いますし、もし家族誰もいない時に最後をむかえたとしたら苦しんだ自分より(この表現は少し変ですね)最後に立ち会えなかった、ひとりで旅立たせてしまった、残された家族の心は・・・いかばかりかと考えます。そこまで十分に看護、介護をしてきたからという満足感よりも、ひとりで・・・という後悔が大きくなってしまふのではとも考えます。どちらがよいのかということは・・・老いていく自分におきかえて考えてもとても難しい問題であると思いました。考える機会をいただきありがとうございました。(60歳代、女性)

■今回このようなアンケートを記入する事によって、自分がいかに在宅医療の事、老後の生活の仕方に何も知らず知ろうという関心が薄かったが考えさせられました。人まかせではなくて今から自分で何とか準備していかないとと思っています。それには福祉事業の事を知る事が大切な事だと思います。(60歳代、女性)

<p>■私は透析をやっておりますが老後主人と二人きりになった時どちらが先にお世話になるかわかりません。その時在宅医療が気軽に簡単に利用が出来るようになれば良いと思います。(60歳代、女性)</p>
<p>■医療が安心できるなら老衰などの場合自宅が良いと思う。(60歳代、女性)</p>
<p>■がん等の病にて、在宅医療でとても助けて頂いたという話を聞き、在宅医療はとても大切なことだと切実に感じています。(60歳代、女性)</p>
<p>■家族が少なくなっている今、家で行う事は難しいと思います。病院等で長くみていただける施設が増えると良いと思います。病人本人の希望通りに自宅で療養となると個人差があり、真面目に取り組む人ほど共倒れになりやすいと思います。家で介護しましたがとても大変でした。(60歳代、女性)</p>
<p>■最期を自宅で迎える事は望ましい事ではあるが介護する人、受ける人にとって生活していく事は困難な事が多い。(経済的、身体的、精神的)地域的にも、交通手段の面でも住みにくく生活しづらいのが現状です。(60歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療も願っていますが、家族の協力負担が大きいと思います。(60歳代、女性)</p>
<p>■利用している人はわかっているのですがまだ皆さんには詳しく知っている人は少ないのではないのでしょうか。浸透していないような気が致します。(60歳代、女性)</p>
<p>■私は7年ほどヘルパーの仕事をしており60歳以上、一人暮らしの方がとても多い事を知りました。(生活保護も多いです)病気を抱え病院に行けない人も往診、薬等届けていただけたらとても助かるのではないのでしょうか。経済的に施設等に入れられない人はこれからヘルパーデイサービス、在宅医療となるでしょう。(60歳代、女性)</p>
<p>■出来れば在宅で思うが、現状家族や回りの理解がえられないのが現状である。(60歳代、女性)</p>
<p>■昨年、義父が亡くなり、自宅で車イスだった時、家の中はバリアフリーではない為、とてもたいへんでした。玄関から入る事ができず、昇降機をレンタルして、家の中の小さな段差もあり、ゴムパッドをレンタルして、家の中のリズムが狂い、家族がたいへんなので、在宅医療はしたくないと実感しました。(60歳代、女性)</p>
<p>■・高齢の人間が年々増加する現状を考えると、将来自分も子供に負担(精神的、経済的)をかけたくないと思う。・介護する人々(スタッフ)の負担が重く感じる現場を今も兄が施設でお世話になっているので、在宅医療は難しく思う。(60歳代、女性)</p>
<p>■恵まれた環境に居る方のみが受けられると思う。同居する元気な家族がいて初めて成り立つものです。昔の家族制度のもとでは皆が在宅医療で過ごしていたと思う。同居する家族も少ないし、たとえ同居していても仕事に行っていたりとても老人を見る環境には無いのが現実である。定年もどんどん延びて、親を介護したり看護したりする時間も取れない。昔の家族制度が良いとは言わないが、ある程度の年齢になれば親を看護し、若い人達が働き家の家計を助けるという様なサイクルが出来るのが一番と思う。家族皆で親や孫、子供を育てていく社会の実現が大切だと思う。0才から保育所に入れ、老人を看る時間もない程会社で働き、定年は70才近くに延ばされ、サイクルが悪い方向に向かっている。それが一番の問題である様な気がします。(60歳代、女性)</p>
<p>■義父母はデイサービスやショートステイを利用しながら自宅で看取りました。確かに先の見えない介護に家族で何度も悩みました。けれど義父母の要望、施設に入りたくない、家でとの希望、家族皆で、義兄弟妹もよく来てくれ、「家で見てくれてありがとう!!」10年たっても言ってくれます。大変だったけれど、昔からあたりまえの事をしたけれど、病院、施設に預ける方が多い中、家で看取れて本当に良かったと思う。私自身もデイサービス、ショートステイを利用しながら、自宅で最期をむかえられたらいいなと思う。(60歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療をするには、どこの病院、施設等でしているとか、どういうふうに行っているか、詳しいパンフレットなどを各地域や目につきやすい所に置くのも必要かも。あまりどこの病院でやっているか知らず人伝いに聞いて在宅している事が多いと思います。(60歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療について、もっとくわしくしくみや体制について知りたい。(60歳代、女性)</p>
<p>■家に介護をする人がいない場合でも、在宅医療はできるのですか(60歳代、女性)</p>
<p>■国の方針として健康保険を使わないようにしたいのが在宅を進めているが現実として家で介護するのは家族が働いているとなかなか難しいのではないかと思う。病院にかかりきりになれる状況が経済的にも環境的にも難しいのが現実ではないかと思っている。残念だが。(60歳代、女性)</p>
<p>■心身両面での不安は計り知れないと思います。しかし、家族の考え方や方針に心を寄せてまた、専門的な知識を指導してくだされば毎日がとても平凡に暮らせると思います。延命治療は望まないしてほしくありません。そのために毎日一生懸命に生きています。思い出作りに頑張っています。若い人たちに必要とされている今できるだけ協力して最期は手を差し伸べたいと考えています。(60歳代、女性)</p>

<p>■年齢と共に不安なことが増していくので、先々在宅医療についての情報や知識を得ることが大切だと思います。また、在宅医療についての知識等についての情報を得られるような広報誌や講演、見学会（体験）などの広い知識が得られる様、情報が必要と思います。より良い社会生活が出来ると良いと思います（70歳代、不明）</p>
<p>■在宅医療は、家族への負担が大きいため、現実的ではない。また、家族が終日付き添う体制は無理。訪問看護サービスを受けると言っても家族に協力が出来ないと不可能です。家庭の生活設備を病人用に改造する必要がある。以上、病人を終日見守る家族がいないと、在宅での医療は困難です（70歳代、不明）</p>
<p>■最後まで家族と共にいられば幸せと思いますけど、自分を初めて見てやるという思いはなかなか大変だとも思います。若い人たちも仕事を持っていますし、病院が安心できる場所かなと思います（70歳代、不明）</p>
<p>■在宅医療をして下さる先生がどこにいらっしゃるのか分からない。出来れば市からどういう先生が居られるのか発表して下さいれば嬉しいです（70歳代、不明）</p>
<p>■財源は大丈夫？交代する人がいない介護者は大変。介護のために仕事を辞めなければならない（70歳代、不明）</p>
<p>■病気の重度や、その時の家族のじょうきょうによっては、入院や施設入所を考えなくてはいけないと思っています。（70歳代、不明）</p>
<p>■介護施設が安く入れるようにならないものか。施設が少ない。高齢になると親子同居している家族が少なくなっている。子供たちは独立して出て行ってしまう（70歳代、不明）</p>
<p>■なるべくなら在宅医療の方が良いと思いますが、なかなか良くいかないものですね（70歳代、不明）</p>
<p>■私自身車で病院へ通院していますが、自分のこと、子供のこと（子供が1人になった時の事）諸々考える事がありすぎて、その時々1つ1つ考えて行く事にも考えています。自分のことも同じで、先々の事は漠然としか考えられません。子育て（現在）50才になりますが、在宅医療になると負担が体力・精神的に大きくなり今現在は深く考えられません（70歳代、不明）</p>
<p>■私は十年前に糖尿病と判断され今も3ヶ月に1回診察を受けている。これまで市の検査で胃、肺、大腸などの検査を受け精密検査を受けたが幸い異状なく現在に至っている。80才の高齢を迎え今後、風邪とかの常の病いは在宅医療で対応したいと考えている（70歳代、不明）</p>
<p>■11/17日に主人を亡くすことで、この用紙12/6頃届いたと思います。主人を10年間くらい自宅で私が見ておまして、介護施設で3ヶ月、家の都合で預けまして、3か月目に肺炎になりまして、病院に2ヶ月入院して亡くなりました（70歳代、不明）</p>
<p>■我が家の畳の上で死にたい。その希望は今でも大きい。出来るものならそれらを望みたい。ただし料金なども知っておくべくと心得ています。今後は大いに説明等を聞く機会を自ら作りたく思う（70歳代、不明）</p>
<p>■寝たきり、又は歩行困難になった場合、家に親を1人でおくことは家族の者に不安とか迷惑をかけるため、やはり入院、入所なりしてあまり迷惑をかけたくないと思っています…しかし、現実の結城市内においては老健という施設もあまりなく、番を待つ状態…経済的にも貧しい老人が安心して入所出来る場所を数多くなってくれますように思っています（70歳代、不明）</p>
<p>■子供は勤めがあります。結局、夫婦で老々介護になりかねないと思います。ですから、誰でも入れる施設を作ってほしいです（70歳代、不明）</p>
<p>■家族とともに生活がしたいからまた昔のように家族と一緒にいて最期を迎える事が一番の幸福と思うので、まずは自宅にいて老後を過ごしたいと思います。そしてやすらかな気持ちで生きていきたいそれが本当に自分にとって最高の過ごし方ではないかと心より思います。（70歳代、不明）</p>
<p>■特に期待はしていない（70歳代、不明）</p>
<p>■在宅医療支援病院を利用した際、医師から「患者は余命のないことを承知しているか」と質問を受けた。このようなやり方で対応をして支援病院、支援診療所が少ない。結城市ももう少し多くならないと改善は難しいと思う。（70歳代、不明）</p>
<p>■アンケートだけでなく、現在どうなっているかの説明がないのはどうしてか。正直な所、わからないと回答したい項目が多々あった。このアンケートはダメなアンケートではないか。（70歳代、不明）</p>
<p>■夫婦二人暮らし、主人が車の運転できなくなると病院にもいけず在宅医療に頼る事になるかも知れないので、在宅医療について勉強したい。（70歳代、不明）</p>
<p>■なるべく介護保険を使わないようにしたい。費用を無駄に使いたくない。（70歳代、不明）</p>
<p>■病院での長期療養の体制に疑問があります。行政でもっと積極的に体制作りを望む。（70歳代、不明）</p>

<p>■夫婦二人でいる時は自宅で療養するのが希望です。しかし一人になった時子供は遠くにいる場合、また今の人共働きですので見てほしいと思っても無理です。また自分の事がゆっくりでも出来るのならずと家にいたいですが体が不自由になったりトイレにも行けなくなったら自宅は無理です。これから長寿社会安心して暮らせるよう在宅医療の充実を図ってほしいです。(70歳代、不明)</p>
<p>■自分が病気になり、家に帰りたく切実に思いました。自宅程ゆっくり休める所はないと思います。最後まで元気で居たいと心から思っています。(70歳代、不明)</p>
<p>■在宅医療については講演会に参加したり関心もありますし賛成します。ただ在宅医療のすき間は当然家族でということになるとと思いますが、私の様に息子二人未婚となりますとそのすき間をどうやって埋めるのか、不安です。在宅医療に一方づくのは危険。ケース・バイ・ケースでと思います。(70歳代、不明)</p>
<p>■在宅医療体制が進んでいくという事は施設がふえていくということになるとと思います。そうするとスタッフの不足につながります。医療の質の低下が予想されますので、人員不足を補っていく体制も同時に進めなくては?と思います。(70歳代、不明)</p>
<p>■在宅医療にすると病院などで生きているかどうかかわからない様で生きるのかどうか、家族自分に良いのか?在宅医療になればそれがなくなるのではないのか?自分は自分の事が出来るように生きたい。自分の母も同じだったので、母は亡くなる時まで自分で歩き食事でもできなくなった。自分も同じで終わりたい。(70歳代、不明)</p>
<p>■在宅で希望しているのですが、病気になった時に往診をしてくれる病院とか医院とか、がわからないので心配です。(70歳代、不明)</p>
<p>■在宅で最期を迎えるという事を強く思う反面、家族に迷惑をかけたくない為入院でと、矛盾した思っている。本人が望む生活であれば在宅医療について、家族がいなければなどの考えは全ての人々が捨て去り、本人一人が静かに最期を迎えても現在の様な検死等の問題にならず、訪問医療の時や家族が偶然遭遇した時その時を本人の望んだ最期の時と社会全体が認識する必要がある。(70歳代、不明)</p>
<p>■老々介護の場合は仮りに主人の場合(その逆)介護も老いていく年令の事も加え、それまでの長い間の看病なども加え、実際には無理があるかと思う。(70歳代、不明)</p>
<p>■治る見込みがない病気になった場合や過度の治療を受けたくない場合等、在宅医療を要望していますが、24時間の安心が保たれるのか、又、往診の場合の医療費はどうなるのかが良く理解できていません。費用についてもPRが必要だと思います。(70歳代、不明)</p>
<p>■父親を自宅で最期を迎えることが出来ました。96才の父は病院がきらいで、転んで腰を痛めても病院に行くと入院させられると思ひ、入院をこぼみ、ふと見た電話帳に往診が出来るとあり、急いでTELすると、午後には先生が来て下さり、その先生が”在宅医療”の出来る先生でしたので大変助かりました。”在宅医療”可能な医療機関の情報が市報にもあるといいと思います。(70歳代、不明)</p>
<p>■・自宅、医療機関、施設等など医療費、市の援助 ・高齢者が安心して送れる結城を希望します。(70歳代、不明)</p>
<p>■自分の家族に看てもらいたいし自分の自由にしたい。(70歳代、不明)</p>
<p>■介護等の施設のマップがあるといいと思います。在宅医療について広報誌を使つての啓発。(70歳代、不明)</p>
<p>■病気やケガで長期の療養が必要になった時、在宅医療を継続したいが実際はむずかしい。①緊急時や緊急時の対応ができない。病院でいつでも対応してくれる。(早朝、夜遅くの対応、日曜等)②病院までの道のりの通院が困難(車の手配、送迎、つきそい)(老衰や後遺症の人)③1人暮らし、夫婦2人暮らしの後期高齢者は病人の世話をしたくても老々介護になり他人の手を借りなくては在宅療養はむずかしい。④一般の後期高齢者の年金では人手を依頼するほどの金銭的なゆとりがない。⑤部屋やトイレ等住環境が整っていない。・車イスで対応するにはむずかしい住居、設計である。・廊下はせまく部屋はたたみの部屋が多く、ふすまや障子で仕切られている。・ベッドをおくには部屋を改築しなければいけない。・介護用の手すりもつけなければならない。・庭木の手入れや家の掃除、洗濯、食事の用意等身の回りの世話(70歳代、男性)</p>
<p>■以前から在宅医療を希望したが、これから先どんな形で健康状態が急変するかは不明のため、体が自由に動けないなら家族に介護を依頼しようにも現在老人2人(妻と二人暮らし)暮らしの現状では妻も老身故思うように介護は不可能である事に明らかです。介護が日常的に必要な状態が続く毎日では、在宅介護を希望しても理想の老後の生活は望めないと考えています。理想と現実とはかけ離れていて、在宅介護は望めない現実を思うと非常に不安です。現実問題として家事(掃除洗濯、食事の支度、買い物等)は長続き出来ず、不安がつのり精神的に負担がかかりどんな対策が必要か分からず、不安の毎日です。より良い方策はあるでしょうか?現在は腰痛に悩まされていて、歩行もやや不自由を感じています。比較的短距離移動は車の運転にて毎日暮らして支えています(安全運転には自信あり)車の運転ができ</p>

<p>なくなった時が、自分に一番の課題です。どんな良い方策があるでしょうか。聞かせてください (70歳代、男性)</p>
<p>■自宅で療養を継続できる体制作りを社会全体で社会保険の体制を含む各種の制度の向上を推進して頂き、安心安全を目指して推進して頂きたいと思えます。以上 (70歳代、男性)</p>
<p>■ (1) ”在宅医療”とは、問4の設問の所に説明がありますが、『アンケート用紙』では無く、『調査へのご協力のお願い』の方にもう少し具体的に書くべきだったのではないのでしょうか。在宅医療とは何かインターネットで調べてみました。インターネットには「体の機能が低下し、通院が困難な方の自宅に医師が訪問して行いうい医療です。寝たきりの高齢者や回復の難しい障害者の方などの通院が困難な方のもの」とあって、入院との比較で在宅医療の長所・短所などが書いてあります (2) 在宅医療については次のような説明も書くべきだと思います。①自宅等に医師の訪問を受ける頻度は病状で決めるのか患者の意思か?②在宅と入院で経済的負担はどちらが有利か (3) 「通院が困難になった場合」とは車の運転も出来ないという事ならば寝たきり状態のことになるのでしょうか。在宅にするか入院の判断は病状を含めてケースバイケースになると思います。 (4) アンケートの目的が「在宅医療の推進」の是非を知ろうとしていると思われませんが、問9 (在宅医療を希望するか)、問15 (自宅療養で継続できる体制を社会全体で進めていくべきか) という問いは「在宅と入院どちらでも良い」と考える場合には答えにくいと思います (70歳代、男性)</p>
<p>■誰もが最後は病院ではなく自宅だと思います。けれど現実には厳しいと思います。若い人は頼れないし、老々介護になってしまい片方が倒れてしまいます (70歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療が必要な人はおそらく老人が多く、介護制度との関連が大きいと思います。結城市の要支援、要介護認定の運用が他市町村よりも厳しく1ランク下げられるような気がするとの意見が多く聞かれます。高齢者の割合が高くなり、財政上の制約や医療制度の不備未対応を高齢者負担と押し付けて病院には入院出来ないで、自宅で死ぬ!とは一方的だと思います。しかしながら、人により自宅で最期を迎えたいという考えの方もいるでしょうから、往診治療の普及、費用支援等で要在宅治療者側に立った運用を切望します。本アンケートには介護制度との関連が見られないように思いますが意図的ですか? (70歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療に積極的に取り組んでいる医療機関の説明会に参加しましたが、医療機関全体としての取り組みが今一つ物足りない感じである。結城市全体としてのそれぞれの医療機関の取り組み方針を知りたい (70歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療の強化を是非行って下さい。望みます (70歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療は家族と医者の本人の意思の疎通が不可欠で、本人の気持ちを最優先であるけど、家族の負担が多すぎても共倒れになってしまうと思う。何人か交替で見てもらえることが出来ればいいが、現実にはそうはいかないと思う (70歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療について、進んでいることは有難いと思う。今後、専門医などのスタッフが確保されるかについては心配な面もある。この機会にネットで情報を得ることが出来たのでよかった。市内の訪問看護ステーションも分かった。ただ詳細なことは分からないのもっと公開してほしい (70歳代、男性)</p>
<p>■1人暮らしで家族が遠くにいて在宅医療をどう利用していいかわからず、また経済的負担も心配である。もう少し分かりやすく、誰でも気軽に利用出来るように社会全体で進めるべきだと思う。特に市役所ではこちらから情報を要求しないと答えてくれないことが多く、不親切で他人事であり、このような体制もよく見直すべきである。もう少し、市民が要求していることにヒアリングを強化して、年寄りでも安心して暮らせるようにしてほしい (70歳代、男性)</p>
<p>■今は夫婦どちらも元気ですが…老々介護になると色々な面で難しいと思う (70歳代、男性)</p>
<p>■・在宅医療について具体的に理解出来ていません ・具合が悪くなった時、(回復の見込みのない時) 高齢の場合自らの判断がどこまで出来るか…家族に関係も皆違う難しい問題 ・高齢者、障害者が皆平等のサービスを受ける事は出来ません ⇒今日はピントがづれてますね、申し訳ない (70歳代、男性)</p>
<p>■2040年問題を考えると国の財政負担、医療機関のサービス料金等は厳しいものと考えられます。今から体力的、精神的なケアをして出来るだけ長くわが家で療養したいと思ってます。 (70歳代、男性)</p>
<p>■①病状によるが年老いてくれば看護する人も少なくなり長寿化になり老々介護になる可能性がこれから増加する傾向も考えられるので、在宅医療のよしあしも考えていく必要があると思う。②在宅医療の場合どの程度十分な看護を受けられるのかまた期待できるのか不安になるかと思う。③経済的な余裕を考えるとどの程度の費用負担がかかるのかわからないし、保険料の値上げ等も心配になる。④今後さらなる少子化の時代に対応する看護も考えなければならぬと思う。⑤市としてこのような看護、在宅医療に係る財源の確保やまた十分な医療費への賄は考えているのですか。⑥最後に私のモットーとして「健康は体の宝」と思い毎日を送ることが望ましいと思えます。 (70歳代、男性)</p>

<p>■在宅医療について、広く誰もがわかるように市広報誌等で周知をして欲しい。今回のアンケート調査はそのきっかけになりました。(70歳代、男性)</p>
<p>■通院する為交通機関が少ない。市内バスを多くしてください。(特に四川切区運転する人が少なくなっている、返納者が増えている)(70歳代、男性)</p>
<p>■絹川地区には病院、医院がないのが不安です。(70歳代、男性)</p>
<p>■問3で①に印をしていますが、その場所は県外の小山市です。他県、他市でもよろしいのですか？(70歳代、男性)</p>
<p>■今回のアンケートは大変有意義なものでよいアンケート調査だと思います。病院へあまり行ったことのない者にとっては在宅医療を充実させて欲しいと思います。最期が近づく年齢になると医療機関に知識がない者は非常に不安になるので。(70歳代、男性)</p>
<p>■①現在明日から在宅医療を実施した場合I-1部屋のバリアフリー等諸改造が必要。1-2自宅に24時間看護できる人がいない。娘夫婦に依頼することとなるが中小2人の子供がいて部分補助となり難しい。②自分の体験から患者が在宅か病院を希望について意思を伝えられなかった。実母ガン50年前大学病院から自宅(末期となり病院の配慮で自宅へ移送されその月に亡くなった)義父母高齢の為(10年前)いずれも病院で最期を迎えた。二人とも認知症も併発し胃ろうの話も出たが家族で断った。(これ以上苦しむ姿をみたくない)③両患者の家特別な裕福でなかったがよく経済的に耐えたなど考える。理想は在宅、現実には医療施設(70歳代、男性)</p>
<p>■住宅事情にもより困難な家庭も出てくると思います。(70歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療は家族が側にいればこそである。独居では困難な面が多々あると思う。問15社会全体でとなると特定の人以外が家に入出入りすることへの理解(本人も協力者にも)が得られる体制が必要である。(70歳代、男性)</p>
<p>■今の所はまだ必要としないのではっきりした要望はないです。(70歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療が理想だと思っていますが、老々介護となると介護者に負担がかかり、問題が発生します。この点を解決しないと在宅医療は進まないと思います。(70歳代、男性)</p>
<p>■今のままでは国の費用がかかりすぎて大変な事になりませんか。(70歳代、男性)</p>
<p>■・在宅医療は良いと思いますが、家族に迷惑がかかるのが一番懸念されます。家族にもそれぞれ生活があるし1人の療養者に家族全員の生活が変化するのは良くないと思います。・最後は医療のプロに任せられた方が良くと思います。ただ過剰、無駄な医療は避けるべきだと思います。そして医療スタッフの待遇(労働条件等)を向上させるべきだと思います。(70歳代、男性)</p>
<p>■小老人となっても在宅医療を受けることができれば良いですが、家族(妻)が病弱なので自分を介護することができないのでないか心配です。(70歳代、男性)</p>
<p>■在宅医療で終末を迎えられることは素晴らしい事だと思います。しかし現在の医師不足や医師の送迎等現実的な事を考えると本当に良い状態で実現できるのかと不安に思います。(70歳代、男性)</p>
<p>■・介護保険の目的が不明。・使用する場合はどのようにするのか不明。(70歳代、男性)</p>
<p>■私は85歳の老人ですが、妻に24年前に先立たれ俵夫婦は出稼ぎ、孫娘も勤め、介護する人がいない為病院にお世話になる事が一番だと思います。(70歳代、男性)</p>
<p>■問12に書いたようにその時どきの状況によって、選択肢は異なると思います。それを前提に在宅医療の在り方を充実したものにするには大いに賛成です。(70歳代、男性)</p>
<p>■誰でも一番に思ってると思います。でも現実には家の事お金の事いろいろ難しいと思います。医療費が高すぎる。これから老人が増える時代ホームに入るのも大変だと思ってる。これから私たちも考えさせられます。(70歳代、男性)</p>
<p>■夫婦ふたりの場合、実現は難しいと思います。(70歳代、男性)</p>
<p>■在宅の場合の費用についてわかるものがあると良いと思う。また費用についてもわかるものがあると良いと思う。(70歳代、男性)</p>
<p>■自分の希望と家族の希望を同じにする、またはそれを実現するにはとても無理な事だと考えます。昔は往診してくれるお医者様も多くいましたが、今は大きな病院が多く、とても治療をよくしていただいて、ただそれにかかる時間が取られ迷惑をかけています。痛みもなく穏やかにいつも過ごしている部屋で看取られたいと話していますが、いつの日かそういう在宅医療が普通に受けられたら受けられるようご尽力下さい。(70歳代、男性)</p>
<p>■緊急時及び夜間休日に往診してくれる医療機関が無いに等しいので不安がある。住み慣れた自宅で在宅医療を受けたいが、独り暮らしや二人暮らしの高齢者であっても対応できない者にとってはどうすればよいか不安である。(70歳代、男性)</p>
<p>■常に病気した時どうしたらよいか考えている。現在は2人ぐらしでやっているが心配。常に家には</p>

二人だけ共稼ぎの若い者は居留守です。別居している隣に有り。 (70歳代、男性)
■費用の負担が多いと思うので不安がある。 (70歳代、男性)
■在宅医療は家族のかかわりが必要となり、それを満たすことがなかなかむずかしい。だんだん高齢者世帯となっていくため関係者の Needs にお応えできないことが心がかりです。いろいろとお世話になります。ありがとうございます。感謝。 (70歳代、男性)
■まだわかりません (70歳代、男性)
■以前にもこのようなアンケートを出したこともありましたが内容は変わってないと思われる。アンケートをとることはいいと思うが取った後どのような結果か結果からどのような指針を出し具体的にどんなことを進めているかが大事。公報等で報告してほしい。私の地域でも高齢化が進んできており約60%が1人か2人暮らしです。平均年齢も75歳近くになります(会合、集会、缶拾い等の出席世帯者)5、10年後を写し見たとき家屋も空き家が多くなり近くに住む人も少なくなり90歳越え夫婦の老々介護となり1人残ったものはいつの間にか亡くなっているという現実が必ず来ると思っています。核家族、高齢化が進んだ現在、在宅医療に関心のない人はいないと思います。しかし、今年の市長選でも高齢者対策の公約は小さかったと思います。空施設の有効活用、人材の育成等待たなし積極的に進めてほしい。終活を始める人もいると思います。安心して相談できる窓口があったら進めやすいので設置してほしい。今まで体育館、情報館、市役所等物的なものを進めてきたと思います。住み慣れたところでもっとあんしんして暮らせるような人的なものに目を向け力を入れてほしい。 (70歳代、男性)
■在宅医療は家族が1日中いないとダメでしょう。意味が分からない。 (70歳代、男性)
■家族構成上(子供たちは共働き等)在宅医療は介護等難しいと思われる。 (70歳代、男性)
■まだ先の様に思いますが、自然に年を重ねるので、見てみないふり、考えないという訳にはいかないと思います。今から考えていかなないとと思います。 (70歳代、女性)
■突然家で死亡した場合、事件性を考えて警察や鑑定が介入してきますが、それがとても負担になっていると思われます。かかりつけの医師がいる場合、その先生が動いてくれ、確認をして頂ければ上記の介入がない方向に動いて家族への負担も減ると思い希望します (70歳代、女性)
■在宅医療については、その家族によっても出来る家と出来ない家があり、難しいことだと思います。それぞれの家庭で、自分の所に合ったもの考えるしかないかと思っています (70歳代、女性)
■在宅医療が出来る医療機関がもっと増えないと対応が追いつかないのでは?また、我が家でもそうだが、高齢のみの世帯が年々増加している。今は二人とも元気だが、どちらかが介護が必要となった場合、いつまで老々介護出来るか、現時点ではなかなか想像がつかないし、個人差も大きいと思う。地域で協力することも大切だとは思いますが、地域自体高齢化している現状ではせいぜい見守ること位しか出来ないような気がする。1人住まいになった時、在宅医療が可能かどうか、が問題である。医師を補助する看護師、介護士をより多く育て、現場で働く人たちが、過重労働にならないような体制を作っていかなければならないと思う (70歳代、女性)
■在宅医療や介護についての情報や知識を市民がもっと知ることが出来るような機会を増やしていただきたいです (70歳代、女性)
■これからは広報のお知らせ版に目を通して勉強します (70歳代、女性)
■夫婦どちらかが見られたら在宅も良いが、若い者にはそれぞれ仕事があるのに無理。自分はトイレに行けなくなったら特養にに入れてほしいと言ってある。私の夫は要介護5だったので最後の2年くらいは特養にお世話になりました。助かりました (70歳代、女性)
■在宅介護を受けると二度とかかりつけの病院には戻れないとききました?私の場合は3人家族ですが、2人ともシフト制でいつも急には変わりがいないと休みは取れないと言っております。だから家での在宅医療は諦めております (70歳代、女性)
■ひと昔前まで自宅で最後を迎えましたが、それが当たり前(常識)だったように思えます。それが戦後、核家族制になったことにも影響していると思う。ここ5.60年病院で看取るのが大勢となっています。いずれにしろ、少子化になっているので在宅医療には問題があると思います。結局子供が親の面倒を看れないのです。これは社会が関係していると思います。要するに金銭の問題です。病院や治療費はタダではないのでいくら保険があるにしても、入院したりすると莫大にかかる到底任意保険でも入っていないと賄えません。だから私には、在宅医療考える前に諸問題があると思いますので、意見・要望は差し控えたいです。すみません。 (70歳代、女性)
■子供が少なく、それぞれ仕事を持っているため、在宅医療はとても難しいように思う。医者に行くのも費用がかかるため我慢してしまう現状です。後期高齢になっても2割では、なかなか病院は行けません (70歳代、女性)
■現在、夫婦2人暮らしです。89才の夫が老衰でもう3年自宅で看ています。私が81才。今はまだ

<p>頑張っているけれど、私自身も体力が落ちてきたら不安です。その時、どうするか考えていますが、難しいです (70歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療など、医師・看護師など具体的な方法などが結城市は進んでなく、私たちはその時どういう手続きをして、在宅に来てもらい、療養してもらえるのかが今の時点では全く分からない (70歳代、女性)</p>
<p>■チームでの手厚い支援 (70歳代、女性)</p>
<p>■母が認知症の為病気になった時1人で入院が出来ない為訪問看護して下さるのでとても心強いです。 (70歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療は希望はするが、家族に負担がかかるからやはり最後は病院か施設のお世話になると思います。 (70歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療ですと世話をしてくれる人がいないと無理だと思います。訪問看護ですと週に何日くらいきてくれるのですか。 (70歳代、女性)</p>
<p>■月に2回は来る(お知らせ版)等で詳しく取り上げてほしい! (70歳代、女性)</p>
<p>■必ずいつかはこの世からいなくなるのだから、ある年齢になったら過剰な医療は受けたくない。口から食事をとることが出来なくなった時は無理に生かそうとせず自然にまかせて見守ってほしいです。痛みで苦しむことは望まないのだからその処置にはほしいです。かかりつけ医との信頼関係はとても大切なことだと思う。老衰で枯れ木が朽ちるようにいきたいがわからない。なるべく自分で出来る事(生活等)は自分で行い、どうしても無理となった時は公共のサービスを受け静かに過ごしていきたい。 (70歳代、女性)</p>
<p>■とても良いと思います。看取に入られ家族が病院に出入りするよりお年寄りから子供までが本人との最後の時間も一緒にいられ本人も穏やかに過ごすことができると思う。医療チームが本当に良く連携を取り看取ってくれると思います。 (70歳代、女性)</p>
<p>■在宅で両親を看取った時の家族の一体感があった。満足な気持ちで送れた。 (70歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療については私はあまり考えていません。すみません。 (70歳代、女性)</p>
<p>■希望する(本人)が方々が少しでも自分らしい最後になればステキな事だと思いますが、これからの時代実現できますか・・・心配します。 (70歳代、女性)</p>
<p>■一人暮らしの多い昨今、高齢による持病で病院通いの方が増加しています。今お元気でも突然倒れそのままということがあると思いますので定期的に巡回して頂くと安心です。大人数になると思いますので申請者限定とか・・・。一人暮らしの方は身内に心配かけたくないで老人ホームという結論ですかね。病気にならない為の予防、未病に全力を入れる事で医療費の削減と健康寿命の延長に繋がるのではと思います。患者の立場に立って真剣に考えるドクターは氷山の一角にすぎない。医療の目覚ましい進化と共に中村哲ドクターのような医師の教育が必要と思う。これからは特に・・・。 (70歳代、女性)</p>
<p>■12, 13の間については時や場合等その場に出会わないと決めかねる事があるのではないのでしょうか?先日、機会があり高齢者住宅の見学に行きましたが今ひとつピンとこないものがありました。自宅がある方は自宅が良いのではと思いますが、病気等の状況によっては希めない事も出てくると思いますケースバイケースだと思います。※家族に迷惑というよりも負担をかけたくないという気持ちです。 (70歳代、女性)</p>
<p>■「問15」に関してですが、2. やや思うに○を付けました。本当は1番に付けたかったのですが少しためらいがありました。現在夫は後期高齢者、私は令和2年に後期高齢者となる二人暮らしです。我が子供は共働きで子供たちを育てていますので自宅療養となりますと、夫または妻に大変な負担がかかり共倒れになっては?と考えますと現実は無理です。私たちの年齢になりますと兄弟姉妹皆後期高齢者の身です。ご近所の方々とつながっているとありますがいざという時少しお手伝いをお願いできるかと考えますと疑問です。年老いてもお元気な方もおられますのでそういう方々と絆を深めて助け合いたいと思いますが病気となりますと「小さな親切大きなお世話」になりかねません。ご近所の方々と集まって自宅療養について話し合ってお互いの心も傷つけずに済むと思いますが・・・。「言うは易く行い難し」でしょうか? (70歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療になると何かと出費がかさむので国と県で支援してもらいたい(切に思っています) (70歳代、女性)</p>
<p>■年金生活なので入院した時のお金の心配です。私は一人暮らしなのでいつどうなるかわかりませんのでそれが心配です。在宅医療は無理だと思います。 (70歳代、女性)</p>
<p>■自宅で・・・と思うのはだれもだと思ふ。しかし人の迷惑だとか、お金の面とか考えるとどうした</p>

<p>ら良いかと考える。出来る限り思い出多い場所で最後までと思うのが希望だ。今は2人きりだからそう思うが、1人ぼっちになった時はホームだろうと思う。相手の事を思う時は在宅医療にして過ごさせたい！ (70歳代、女性)</p>
<p>■今の時代若い人たちは共働きで病人がいると負担をかける事になります。それを考えると世話になる事は出来ないと思います。(70歳代、女性)</p>
<p>■夫は亡くなる寸前2週間ほど訪問介護を受けた。とても助かった。精神的にも励まされ感謝している。ただ、一人暮らしの場合、身体の状態によっては在宅できるかどうか心配！ (70歳代、女性)</p>
<p>■子供たちが仕事をしている場合、家族に負担がかかる場合、仕事をやめてまで面倒をかけたくないとは正直一番思うところです。いつまで長いきできるかはだれにもわかりませんが今後高齢の割合が増えてきた時、結局は在宅医療しか方法がなくなった場合、私たちはどうしたらよいか心配で仕方ありません。(70歳代、女性)</p>
<p>■老人ホームなど施設に入居していれば別ですが自宅となるとバリアフリーお風呂、手すりトイレ等の改良が必要になり経費がかかる。また訪問を受けた時の気遣いで家族が負担を感じてしまうかもしれない。誰もが考えるこのような問題等取り上げ意見を持ちより話し合いの場をつくり、医療者からの負担を取り除くアドバイスを提供して頂けると在宅医療に取り組む姿勢も前向きに考えられる。(70歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療を受けるには自宅に介護してくれる人が必要だと思う。子供は2人くらいで自宅から離れて住んでいることが多い為。(70歳代、女性)</p>
<p>■現在88歳幸いにして今の所は一人暮らしをしておりますが離れた所に住む娘からは90歳になったら「ホームに入ってね」と言われており、それが順当かと考えております。今の所はどうかやっております。皆さまの助けをいただいて暮らしております。(70歳代、女性)</p>
<p>■私は宮田家の両親と自分の母も自分で見ておりました。(70歳代、女性)</p>
<p>■訪問看護サービスを受けるにあたり、費用をもう少し低くしていただきたいと思います。そうすればもっと利用回数を多くすることが出来ると思います。よろしく願いいたします。(70歳代、女性)</p>
<p>■私の祖母が亡くなる時、自分の家で家族に囲まれてとても自然でしあわせそうだったから私もそうありたいと思うようになりました。でも辛い病気等で治らないとわかった場合はホスピス等にのりかえたいと思います。(70歳代、女性)</p>
<p>■自宅での療養は理想だが、家族に負担をかけることになるのは避けたい。患者に寄り添った介護を受けられる施設があれば良い。(70歳代、女性)</p>
<p>■「在宅医療」の内容をもっと市民が知る方法を考えていただきたいと思います。講演会等があってもその場までの足が確保できない方もおられると思います。出前講座はこちらが希望しないと来ていただけませんね。各町内へ包括支援センターより出向いていただけると多くの方が内容を知ることができ、自分の事として考えられると思います。(70歳代、女性)</p>
<p>■体力に自信がなくなった時に在宅医療が充実していると安心できる。老いてくると病気で動けなくなったら、どうしようという不安がよぎります。病院に通院していても何かあればすぐに入院という事になる。不安です。体が不自由になっても安心して暮らして行ける町にしてください。(70歳代、女性)</p>
<p>■答えながら自分自身矛盾してるなと思いました。色々な面で満足できる在宅医療が可能ならそうしたいと思います。息子はいますが嫁はいない等々男たちへの迷惑はかけたくないと思うのはどうなのでしょう。逆に主人を在宅で見られるかは自分の年齢にもよると思う。(70歳代、女性)</p>
<p>■・年金生活では有料や特別老人ホームには無理なんです。(入りたくても)・在宅医療も今ではとても快適で安心できるようなのですが、でも子供たちに迷惑をかけたくないので本当はホームに入りたいのです。毎月の入所金額が高くて長期は子供たちに負担をかけたくありません。・ホームの軒数を増やすとか金額をさげていただくか、自分も高齢なので心配です。老人が住みやすい市にしていきたい、皆そう思っていると思います。(70歳代、女性)</p>
<p>■有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅 (70歳代、女性)</p>
<p>■延命はやめて、自然にして朝起きたら最後だったというのが理想だが、現実はどうかわからない (70歳代、女性)</p>
<p>■訪問看護ステーションがもう少しあるといいと思います。また高齢になると免許証を自主返納しても、買い物などに行くにも不便になり病院などにも大変です。市の対応がもう少し良ければと思います。在宅医療もそうです。外へ出て動けば寝たきりなどにならずにすみます。(70歳代、女性)</p>
<p>■現在は元気でハイキング、ロードバイク、他の体力運動や家庭菜園に勤しんでおりますが体調不良になった時点で家族状況が変わっている場合には異なる事にもなるでしょう。(70歳代、女性)</p>
<p>■入院すると医療費が高いと聞いています。ならば自宅にいて通院したいです。(70歳代、女性)</p>

<p>■在宅医療が絶対ベストとは言い切れないと思う。その時の家族の状況と本人の病状によっては入院または施設入所も視野に入れなければならないかもしれないが希望としては短期在宅療養を受けて終わりになれば良いと思っている。訪問看護サービスも延命処置だけはして欲しくない。その事は元気なうちに周知しておきたいと思う。(70歳代、女性)</p>
<p>■実在者の話も聞いたこともみたこともないので、どのようなことしているのかわかりません。体験教室みたいなことがありますか。(70歳代、女性)</p>
<p>■只今のところ健康に恵まれておりますので、深く考えることを致しませんでした。はずかしい限りです。在宅医療について意識の向上に努めて参りたく存じます。教室を開所等の要望をお願い致します。(70歳代、女性)</p>
<p>■私事ですが、父は入院を拒みましたので、かかりつけ医の方の訪問医療をしていただき母が介護をしておりました。最期には病院に入院いたしました。父の死後は母は認知症になり遠方で一人暮らしをしておりましたのでグループホームでお世話になりました。病気の状態によりますが家での在宅医療が可能であれば一時期だけでも訪問医療はありがたいと思います。(70歳代、女性)</p>
<p>■私の知り合いで「在宅医療」の方もホームに入っている方もいますが、女性はホームに入っている方は色々な趣味を活かして日々楽しんでる方を多数見てきましたが、男性だとそのような方を見かけた事はありません。出来れば「在宅医療」が出来るのであればその方が良いのではないかと思います。事情で必ずとは言い切れませんが。(70歳代、女性)</p>
<p>■今往診してくれるお医者様がいらっしゃるのでしょうか。(70歳代、女性)</p>
<p>■私の主人は五年前に病死しました。在宅での訪問看護サービスを受ける前に、数年週二、三回デイサービスへ行っていました。本人も楽しそうでした。その後、だんだん身体がおとろえていき、在宅で介護サービスを受けるようになりました。定期的に訪問看護師さんが来てくださりましてよくやってくさいました。主人によく声を掛けて下さり、主人にとときどき笑顔が見られました。しかし、主人はよく誤嚥をするので最後は肺炎を患いました。訪問看護師は医者への指示を真面目に実施し、努力されました。私と主人はとても感謝していました。主人は最期を迎えるようになり、私は主人に”病院へ行きますか？”と聞きました。主人は医者と看護師の治療に満足している、と言いました。病院へは行かないとはっきり答えました。今振り返って考えれば、主人は私の協力も不可決だと知っているはずですが。将来私一人になったとき、状況は少し変わると思います。困難な問題に直面するでしょう。ですから、私本意は在宅で最期を迎えたいですが、実際は容易ではありません。ですから、自宅で療養を継続できる体制を社会全体で進めていくべきだと思います。(70歳代、女性)</p>
<p>■子供たちが近くにいますので、なんとかかなかなと思っています。(70歳代、女性)</p>
<p>■先日、自宅で受ける医療と介護の講演会に出席致しました。在宅医療についてとてもわかりやすく、素晴らしい介護を受けられるようで安心致しました。若い人達にあまりご迷惑をおかけしないように、どこまで頑張れるかわかりませんが寝込まないように頑張ります。(70歳代、女性)</p>
<p>■我家は3世帯で同居しているが、若い者達はそれぞれ職業を持っています。在宅医療・療養は我が家で過ごすことは理想ですが、現実としては無理です。(70歳代、女性)</p>
<p>■家の近くに往診してくれる医師や看護師が増えれば、最期を家で看取ってもらえると思う。(70歳代、女性)</p>
<p>■(子供が)結婚をのぞまないで、先の事を思うととても不安です。小さい頃から私の主人が兄妹や義兄弟の事を観ていて、その事がトラウマになっていて結婚をすすめてもその気になれないらしいので、今はもうあきらめています。私も病院に(入院)(退院)とくりかえしているので少ない年金で施設に入るのも無理だと思うのでお先真暗な気持ちです。(70歳代、女性)</p>
<p>■自宅で療養は望むところではありますが、家族にも諸々事情を考えると難しいと思います。実際は老人ホームにと考えざるを得ません。(70歳代、女性)</p>
<p>■毎年、栃木県自治医大の公開講座(7月中4回)に参加して講演を聞き、実際に在宅医療にたずさわる医師の体験を聞いてきますが、70代の私達夫婦にこれからの事を考えておこなうてはならない深刻な問題点であると思います。現在、このアンケートを手元に届いた時、夫が入院中、手術をして快方にむかっている最中です。病院で多くの患者さんにお会いする時、ナースステーションの中にいる患者さんをよく目にしますが、本当に良くやってくさっていると看護師さんに感謝しています。1人暮らしになった時の不安はありますが、あまり人に迷惑をかけない様、ひとりで出来る事はやる様にして、ピンピンコロリと生きたいと願っています。(70歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療は本人は良いと思いますが、家族の者が(介護する人)大変なので、病院にまかせた方が良いと思います。共倒れになるおそれがあると思います。実は私も今、主人の介護をしている身なのでよくわかると思います。(70歳代、女性)</p>
<p>■家族にあまりふたんをかけたくない。(70歳代、女性)</p>

<p>■在宅医療を受けたいが、子供や家族に迷惑や経済的に無理だと思う。施設に入るのも経済的に大変だし、社会全体が安心出来る様になればいいと思います。(70歳代、女性)</p>
<p>■1、家族の負担が大きいと思う。1、家族が病弱、高齢者の場合、お互い気遣い、ストレスで介護は困難、ケンカになると思う。(70歳代、女性)</p>
<p>■現時点では特に要望はない(70歳代、女性)</p>
<p>■自分自身思っけていても相手あつての事、現実には難しいと思います。(70歳代、女性)</p>
<p>■在宅医療について殆んど知らないまま、あつと言う間に年を重ねいろいろ知りたいです。(70歳代、女性)</p>
<p>■一昔前迄は嫁や母親が看護師の役割をし、家族の一人ひとりをよく観察しており、手に負えない時だけ、医療にたよるといふ生活が社会全体に有りましたよね。私も三十数年前に義母を家で看取りましたが、まだ介護が社会的に地域に(結城の場合)広がってない状況でした。介護休暇もなく、休職という型で数ヶ月自宅で介護し、病院へ状態を知らせ、薬をもらいに行くこんな毎日でしたが、寝たきりでもいいから、生きていて欲しいという一念でした。今は、共働きでないと生きていけない状態です。子供がいれば教育にもお金がかかる。高い教育をと望めば、親や子は、老人の介護まで手がまわらないと思います。それでも皆順番に同じ道を通って行く訳ですから、私たちの税金の使い道を改めて、産まれた時から死ぬまでの社会保障というものを考えて戴きたいと思います。(70歳代、女性)</p>
<p>■自分一人だけになったとき在宅医療は希望しません(70歳代、女性)</p>
<p>■昔は2世帯3世帯の家族が当たり前でした。年寄りの考え方として子供の世話になり死を迎えるという考えが当然としてあつたが現在は子供がいても結婚しないあるいは同居しないという時代になり自宅で一人暮らしが急増している。現在その人が安心して暮らしていくにはどうすればいいかを考えたとき、もちろん人に頼り生活することは基本と思うが電気や化学機械による介護等発展するであろうがすべて金銭的なものが必要となる。老後2000万問題も身に占めて感じている。行政ばかりを当てにしてはいけないと深く感じています。国の政策は子育てに多くの予算を立てているが国民に平らに政策を建ててほしいと思つている年寄りです。(70歳代、女性)</p>
<p>■自宅で最期をと思つていますが若い人たちが勤めていまして、それは無理かと思つています。(70歳代、女性)</p>
<p>■実際に親の希望通り両親を在宅介護で看取りました。在宅医、在宅看護師、ケアマネージャーさんの協力があつたこと、姉妹が近くに住んでいたことなど好条件がそろつていたのでできたことだと思つています。両親への恩返しができるかと嬉しく思つています。(70歳代、女性)</p>
<p>■理想としては自宅でお世話になって最期を迎えることですが現実としては世話をする人が仕事をやめなければならないので又は見てくれる人も最期になると大変だと思うので。(70歳代、女性)</p>
<p>■問15の件ですが①一にしましたが実際その時に私が病人になつた場合息子と2人の生活ですので食事、家事そのほかのことは出来ないと思つておりますので在宅医療の件につきましては心配がいっぱいです。実際にその場になりました時には考え方が変わり病院にお世話になると思つています。その節はよろしくお願ひします。(70歳代、女性)</p>
<p>■多くの方々には住み慣れて地域で自分らしく住み慣れた自宅で最期を迎えたいと思つていると思つています。ですが現在の家族構成では非常に難しい状況にあるのではないかと思つています。老々介護では共倒れになる可能性が大きく子供たちとの同居であっても時間的に難しく私も希望はするものの実現は不可能と考えております。社会全体でのかかわりはあつても24時間体制をとることは不可能であると思つています。(70歳代、女性)</p>
<p>■老老介護は大変だと思う。若いものも仕事と両立は無理。生活していく為には仕事は大切でやめられないこと。介護と仕事も大変だと思う。(70歳代、女性)</p>
<p>■1人暮らしの私にとっては一番気になる件です。現在は膝が痛いけど普通に生活できています。おかげさまで身体もどこも悪いところはなく何の薬も飲んでません。でもいつかはそれが出来なくなる日が来ると思つるととても不安です。そうなつたら自宅での療養は無理です。(70歳代、女性)</p>
<p>■・私の周辺では近所の高齢者の生存の確認や顔色のチェックや災害時の対応等、担当者を決めて行う事になっているが、私はそのような会合や話し合いには参加していなかつたのに、勝手に担当者にされて迷惑している。私は仕事をしているので昼間によく電話がかかつて来て今すぐ生存や顔色の確認をして来いとかかつてきても対応は出来ない。・各家々の在宅医療を進めた場合、地域で活動することになるため迷惑である。・老衰や後遺症等の老人を社会全体で進める話はわかりませんが、担当者がやれば良いとか集中的に攻撃されても困るので見回りは役所から出して欲しい。・また「看取りビジネス」なるものがあり、お金を取られる恐れがある。・寝たきり専用賃貸住宅というものがあるが有料老人ホームと同じ扱いが・有料老人ホームの届け出がないことを理由に施設を担当する診療所は「在宅」として高額請求をしていた(岐阜県の話)その場合役所はどこまで在宅として判断するのか、線引きが難しいかと思</p>

<p>われる。・料金が高いため国や地方で出してくれ出して欲しい、オレはカネが無い。・毎日デイリーに来てもらっているが、毎月15万円は高い、昼5分だけだよ！・マイナンバー登録にした場合、情報がもれていてキケンである。・地域の情報共有にICTシステムを整備する計画があるが、大変キケンである。悪人が多量に出てキケンである。・県、市、病院、看護する人たち、事業所、施設系、介護、移動(バス、タクシー)、患者本人その家族、その近所、保険、老人ホーム、医者、見るだけ確認するだけの人、担当者、デイサービス、補助金が何に適用されるか確認する人の資格類、看護師、介護士、助手→すべてにおいて細かく設定すべきである。介護保険について見直しをお願いしたい。40～65歳まで支払う、65以上でも支払う。支払えない、無駄か。(不明、不明)</p>
<p>■いろいろな事がそろってないとそういうことを考えると不安がある (不明、男性)</p>
<p>■在宅医療について詳しく理解できない状況です。このシステムを市民のみんながわかるように説明、周知できるようになればいいと思います。(不明、男性)</p>
<p>■老夫婦2人生活なのでどちらか先に在宅医療になった場合の健康な者が当分は面倒を見て様子を見る (不明、女性)</p>
<p>■自宅医療は希望ですが家族の負担が大変だと思います。いまだ迷っています。(不明、女性)</p>

Ⅲ 調査票

令和元年度 在宅医療に関するアンケート調査 <市民>

該当する番号に○、必要欄に記入をお願いします

- 《性別》 1. 男 2. 女
 《年齢》 1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代
 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳代以上

問1 あなたの家族構成について伺います (○はひとつ)

1. ひとり暮らし	2. 夫婦ふたり暮らし
3. 2世代同居 (親や子どもと同居)	4. 3世代同居
5. その他 ()	

問2 あなたは日頃、医療や介護についての知識や情報を何から得られていますか (○は3つまで)

1. テレビ	2. 新聞
3. ラジオ	4. インターネット
5. 専門誌・雑誌	6. 講演会・介護予防教室等
7. 医療機関(病院・診療所・薬局など)	8. 介護サービス事業所 (ケアマネジャー・通所介護・訪問介護など)
9. 市役所 (市報・広報誌など含む)	10. その他 ()

問3 あなたはかかりつけ医を決めていますか (○はひとつ)

1. 決めている (病院)	2. 決めている (診療所)
3. 決めていない	

※かかりつけ医：具合が悪くなったとき、いつも診てもらった医師。自分の疾患や体調を把握し、あらゆる分野で診てくれる医師

問4 あなたは、「在宅医療」についてご存知ですか (○はひとつ)
「在宅医療」とは医師や看護師などの訪問を受けながらお住いのところ(自宅・有料老人ホームなど)で治療や療養する医療のあり方です

1. よく知っている	2. ある程度知っている
3. 言葉だけは知っている	4. 知らない

問5 あなたは、在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所についてご存知ですか (○はひとつ)
在宅療養支援病院・在宅療養支援診療所とは、24時間365日体制で往診を行う

1. 実際に利用したことがある (家族も含む)	2. 利用したことはないが、どこか病院・診療所で行っているか知っている
3. 聞いたことはあるが、どこか病院・診療所で行っているか知らない	4. まったく知らない

問6 自宅で療養する高齢者などに訪問看護サービスを提供する訪問看護ステーションがあることをご存知ですか (○はひとつ)

1. 実際に利用したことがある (家族も含む)	2. 利用したことはないが、どこに訪問看護ステーションがあるか知っている
3. 聞いたことはあるが、どこに訪問看護ステーションがあるか知らない	4. まったく知らない

問7 訪問看護サービスの内容について知っていますか (○はひとつ)

1. 知っている ⇒ [問8へ]	2. 知らない
--------------------	---------

★問7で「1. 知っている」と回答された方に伺います
問8 知っているサービスの内容は何ですか (○はいくつでも)

1. 病気を悪化させないための生活指導 (予防)	2. 医療機器の管理 (在宅での酸素、人口呼吸器などの管理)
3. 医師の指示による医療処置 (点滴、注射等)	4. 床ずれの予防・処置
5. 在宅療養のお世話 (入浴介助や排せつ介助)	6. 在宅でのリハビリテーション
7. 病状の観察、異常の早期発見 (病気の進み具合、血圧・体温・脈拍等の観察)	8. 家族等への介護支援・相談 (介護方法の助言、相談等)
9. 様々なサービス (社会資源) の使い方の相談	10. その他 ()

問9 仮に、あなたが、病气やケガで長期の治療・療養が必要になった場合、在宅医療を希望しますか。また、その実現は可能だと思いますか (○はひとつ)

1. 希望するし、実現可能だと思う ⇒ 【問10へ】	2. 希望するが、実現は難しい ⇒ 【問11へ】
3. 希望しない ⇒ 【問11へ】	4. 現在、在宅医療を受けている ⇒ 【問12へ】

★問9で「1. 希望するし、実現可能だと思う」と回答された方に伺います
問10 あなたが、自宅で療養生活を送る場合、実現可能だと思える理由は何ですか (○は3つまで)

1. 家族が協力的だから	2. 経済的な理由から
3. 緊急時や救急時に対応できる環境が整っているから	4. 見てくれる人 (家族等) がいるから
5. 部屋やトイレ等住環境が整っているから	6. 近くで診てくれる医師がいるから
7. 訪問看護や介護が受けやすい体制が整っているから	8. すでに利用したことがあるため
9 その他 ()	

★問9で「2. 希望するが、実現は難しい」「3. 希望しない」と回答された方に伺います

問11 あなたが、自宅で療養生活を送る場合、実現は難しいまたは希望しない理由は何ですか（〇は3つまで）

1. 家族に負担（肉体的・精神的）がかかるから	2. 経済的な理由から
3. 緊急時や救急時の対応ができないから	4. 見てくれる人（家族等）がいないから
5. 部屋やトイレ等住環境が整っていないから	6. 近くに診てくれる医師がいないから
7. 訪問看護や介護が受けやすい体制が整っていないから	8. 医師・看護師の訪問が負担になるから
9. その他（ ）	

問12 あなた自身が将来、最期を迎える場所として、居住の場（自宅やグループホーム）と医療機関（病院や診療所）のどこを希望しますか（〇はひとつ）

1. 自宅	⇒【問13へ】
2. 病院・診療所	⇒【問14へ】
3. 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設	⇒【問14へ】
4. 有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅	⇒【問14へ】

★問12で「1. 自宅」と回答された方に伺います

問13 それはなぜですか。今のお考えに近いものを選んでください（〇は3つまで）

1. 過剰な医療を受けたくないから	2. 人の手を煩わせたくないから
3. 家族に看取られたいから	4. 家族との時間を多くしたいから
5. 住み慣れた居住の場で最期まで自分の好きなお家に過ごしたいから	6. 病院・施設で最期を迎えるのは経済的負担が大いから
7. その他（ ）	

★問12で「2. 病院・診療所」、「3. 特別養護老人ホーム・介護老人保健施設」、「4. 有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅」と回答された方に伺います

問14 それはなぜですか。今のお考えに近いものを選んでください（〇は3つまで）

1. 十分な医療を受けたいから	2. 十分な介護を受けたいから
3. 自宅で亡くなると家族に迷惑がかかるから	4. 家族がいないから
5. 自宅で最期を迎えるのは経済的負担が大いから	6. 最期に痛み等に苦しみかもしれないから
7. 自宅で最期を迎えるのは一般的でないから	8. その他（ ）

3.

問15 老衰や後遺症等で通院が困難になった場合に、病院には入院せず、自宅で療養を継続できる体制を社会全体で進めていくべきだと願いますか（〇はひとつ）

1. とても思う	2. やや思う
3. あまり思わない	4. まったく思わない

〇在宅医療について、ご意見・ご要望を記入してください。

御協力ありがとうございます

4.

結城市 在宅医療に関するアンケート調査報告書

- 発行日 令和2年2月
- 発行者 結城市役所
- 編集 結城市役所 保健福祉部
長寿福祉課 地域包括支援センター
〒307-8501
茨城県結城市大字結城 1447 番地
TEL 0296-34-0324